

ORIGAMI

TANTEIDAN

折紙探偵団

M A G A Z I N E

定価 600円

イベント情報

ミンゲイ インターナショナルミュージアム 折り紙展示作品募集

A Call for Participation in the Mingei
International Museum Origami Exhibition

クローズアップ Close-up : Introductory Comments on Icarus - Extension of Bases -

Hojyo Takashi

イカロス作品解説

—基本形以降の可能性—

北條高史

折り図 Eupatorus Gracilicornus

Model and Diagrams by Robert J. Lang

ゴホンヅノカブト

ロバート・J・ラング

展開図折りに挑戦!

Crease Pattern Challenge : King PolyPouch

Chris K. Palmer

多面体ポーチ・キング クリス・K・パルマー

好評連載

Tomoko in the Box : Fuse Tomoko / Tomoko's Shikishi-Hyakka : Tanaka Tomoko / Let's Enjoy Math through Origamics : Haga Kazuo /
 Tomokoのびっくり箱: 布施知子 / ともさんの色紙百花: 田中具子 / 数理を楽しむオリガミクス
 Takagi Satoshi's the Origami Reference Room : Takagi Satoshi / Origami Sampo Still Goes On : Maekawa Jun
 芳賀和夫 / 高木 智の折り紙資料館: 高木 智 / も少し折紙散歩: 前川 淳

通巻

70

号

日本折紙学会 (JOAS) の理念

The Purpose of Japan Origami Academic Society

第一章 名称と目的

第一条 会の名称

1. 本会の名称は日本折紙学会とする。
2. 本会の英語での名称は、Japan Origami Academic Societyとする。
3. 本会の略称は、JOASとする。

第二条 会の目的

1. 本会は、折り紙の専門研究と折り紙の普及の促進、ならびに、それらを通しての広く国内、外の折り紙愛好家との交流の促進を目的とする。
2. 第一項の折り紙の専門研究とは、折り紙の創作、折り紙の創作技術の研究、折り紙に関する批評・評論、数学研究、教育研究、歴史・書誌研究、先取権の研究、工学・商業デザインの研究等を意味する。
3. 第一項の折り紙の普及とは、折り紙の社会的認知度の向上活動、折り紙愛好者層の拡大活動、折り紙に関する人材の育成と発掘等を意味する。

規約第1章より抜粋

Chapter 1: Name and Purpose

Article 1: Name

1. This society is to be called Nihon Origami Gakkai in Japanese.
2. This society is to be called Japan Origami Academic Society in English.
3. The abbreviated name of this society is JOAS.

Article 2: Purpose

1. The purpose of JOAS is to promote studies of origami, diffusion of origami, and both domestic and international association of all origami-lovers.
2. The studies of origami mentioned above includes designing, designing techniques, criticism, mathematical studies, educational studies, history, bibliography, studies on the preferential right, studies of industrial and commercial design, and so on.
3. The diffusion of origami mentioned above includes widening appreciation of origami, expansion of the community of origami-lovers, scouting and rearing the origami talent, and so on.

●折り方の約束記号 SYMBOL FOR FOLDING

谷折り線
Line indicating
valley fold.

山折り線
Line indicating
mountain fold.

手前に折る
Fold forward.

後ろへ折る
Fold backward.

折り筋を
つける
Fold and unfold.

段折り
Pleat.

裏返す
Turn over.

引き出す
Pull out flap.

図の見る
位置が変わる
Rotate.

図が
大きくなる
Diagram enlarged.

見えない
ところ
X-ray.

押す。
押しつぶす
Push here.

切る
Cut.

表紙作品解説

イカロス (2001年改修版)
作: 北條高史 (P.11)
Icarus 2001 Version
Hojyo Takashi (P.11)

■発表から3年を経て、「イカロス」に大幅な改修が加われました。折りやすさを追求し、デザインのバランスを再構築してたどり着いた新しい姿をご覧ください。これまでにない多様なポーズ付けも楽しめる、自由度の高い作品になりました。

編注: 「イカロス」の折り図は第12期日本折紙学会会員の配布物に含まれる予定です。

(解説: 北條高史) Comments: Hojyo Takashi

■ 好評連載陣

Series

Tomokoのびっくり箱 4

Tomoko in the Box

「五角箱・十(プラス)シリーズ」

A Pentagonal Box : + Series

布施知子 Fuse Tomoko

ともこさんの色紙百花 8

Tomoko's Shikishi-hyakka

シオン Asters

田中具子 Tanaka Tomoko

数理を楽しむオリガミクス 14

Let's Enjoy Math through Origamics

幾何図形折りに、これは便利! <Z型おりがみ定規>

Simply made Z-type origami ruler is useful to fold various geometric figures.

芳賀和夫 Haga Kazuo

高木 智の折り紙資料館 16

Takagi Satoshi's the Origami Reference Room

高木 智 Takagi Satoshi

も少し 折紙散歩 18

Origami Sampo (Origami Walk) Still Goes On

Origami from Ancient Capital to Zen

前川 淳 Maekawa Jun

■ カラーページ

ORIGAMI PHOTO GALLERY 20

解説・北條高史 Comments : Hojyo Takashi

「シオン」田中具子/「五角箱・十(プラス)シリーズ」

布施知子/「ゴホンヅノカブト」ロバート・J・ラング/

「十放射型多面体ポーチ(星型ドームシリーズ)」

「多面体ポーチ・キング(四放射星形アーチ反復型)」

「八面体ポーチ・バージョン2」クリス・K・バルマー

Asters : Tanaka Tomoko / A Pentagonal Box :

+ Series : Fuse Tomoko / Eupatorus Gracilicornus :

Robert J. Lang / 10-fold PolyPouch (Stellated Dome Series), King PolyPouch (Stellated Arches Recursion,

4-fold), Octahedron PolyPouch V.2 : Chris K. Palmer

■ クローズアップ

Close-up

イカロス作品解説 11

—基本形以降の可能性—

Introductory Comments on Icarus
: Extension of Bases

北條高史 Hojyo Takashi

■ 折り図

Diagrams

ゴホンヅノカブト 22

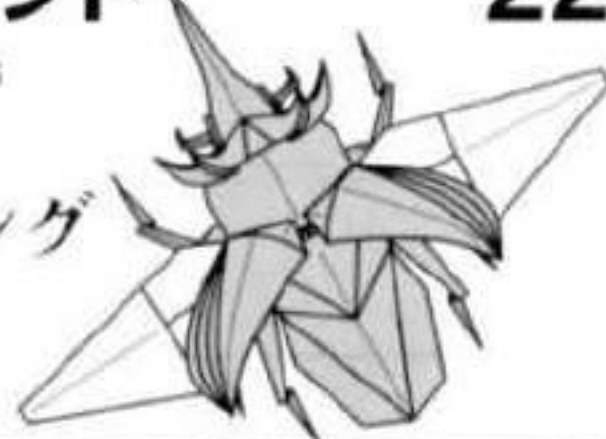
Eupatorus Gracilicornus

作・折り図:

ロバート・J・ラング

Model and Diagrams

by Robert J. Lang



展開図折りに挑戦! 33

Crease Pattern Challenge

多面体ポーチ・キング King PolyPouches

クリス・K・バルマー Chris K. Palmer

■ エッセイ・コラム

Essay & Column

おりすじ ———— 村木 陽子 31

Orisuji ("Fold-Creases") Muraki Yoko

折紙三昧 ———— 西川誠司 32

Origami-Zanmai Nishikawa Seiji
(This Origami and That)

世界の折り紙団体 羽鳥公士郎 34

World's Origami Organizations Hatori Koshiro

アメリカの地方団体 Regional Origami Groups and
Circles in the United States

■ インフォメーション

つまみおり Rabbit Ear (Information) 35

ミンゲイ インターナショナルミュージアム

・折り紙展示作品募集

A Call for Participation in the Mingei International
Museum Origami Exhibition

・第4回折紙探偵団静岡コンベンションレポート

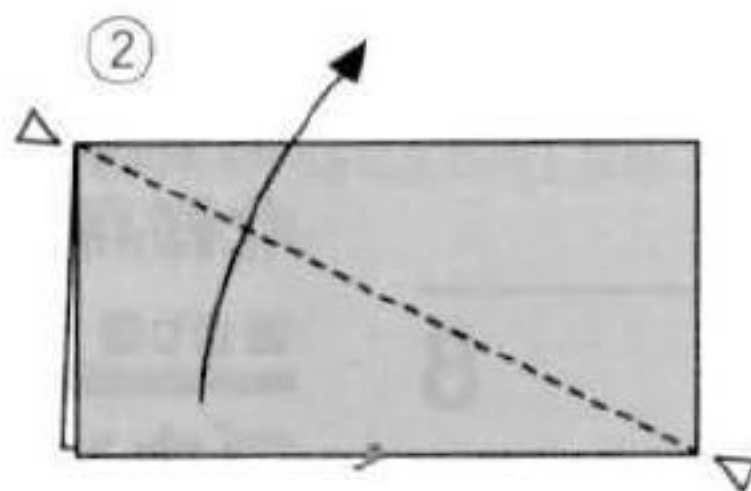
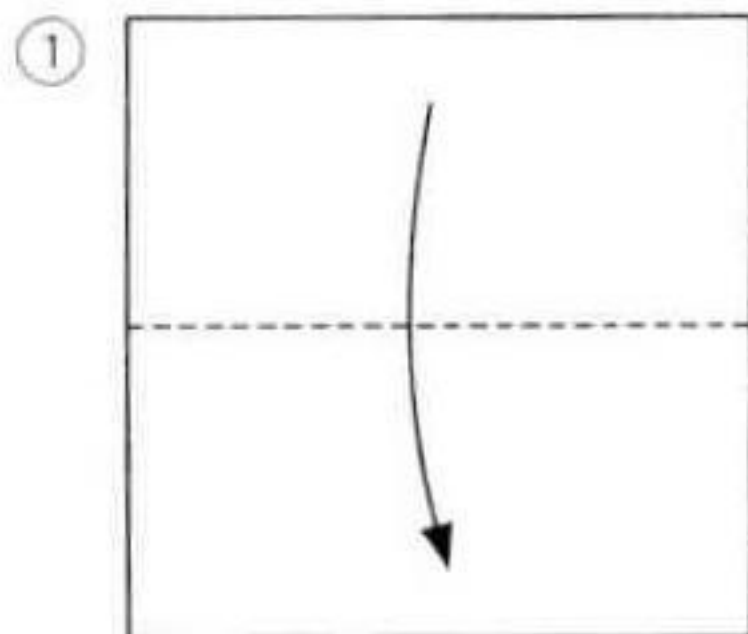
The 4th Origami Tanteidan Shizuoka
Convention Report

五角箱・+シリーズ

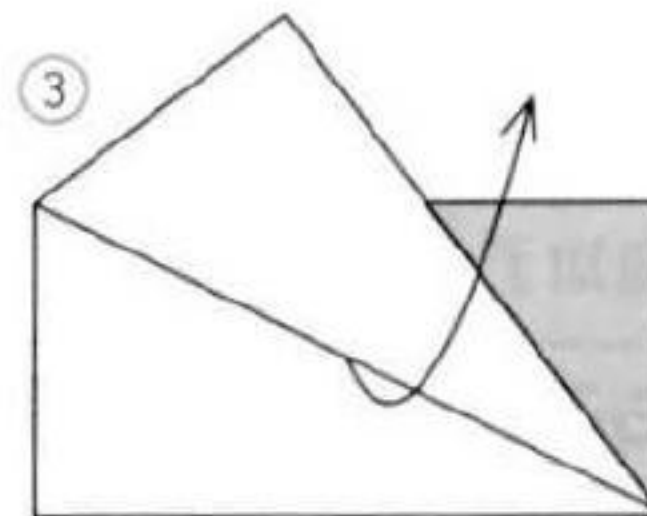
新しいユニット五角箱です。ふたはいろいろなバリエーションが可能ですが、紙面の関係で、基本だけを紹介します。なお角度の折り出しは誤差がありますが、ほとんど気になりません。旧作のユニット五角箱は正方形を対角に折って作っており、それを「Xシリーズ」として、これを「+シリーズ」としました。また「箱」がなんて言わないで、どの辺が新しいのか折って感じてください。



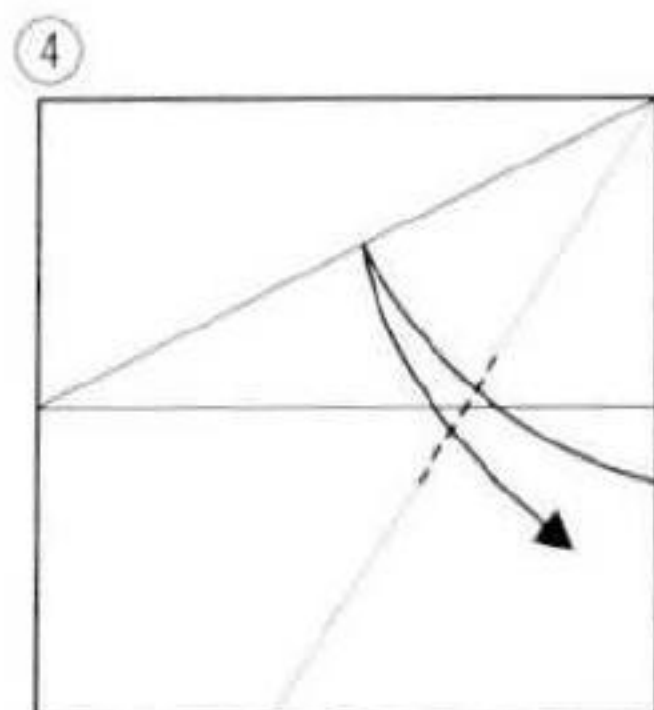
ふた



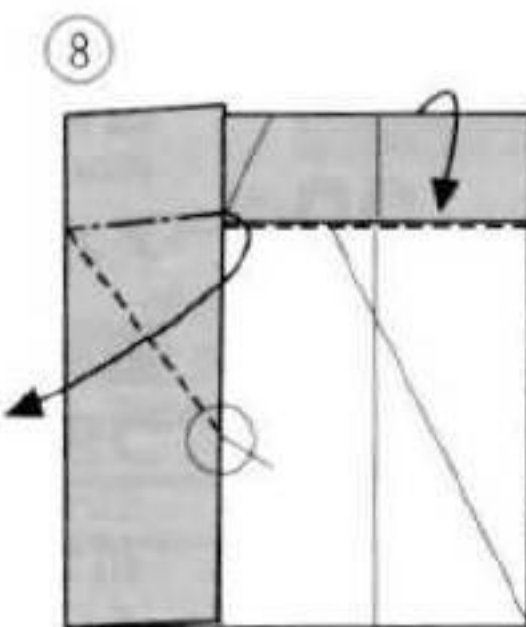
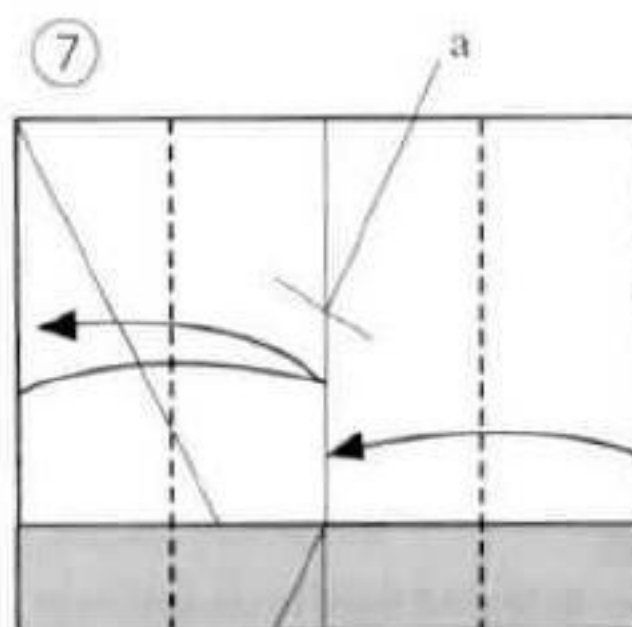
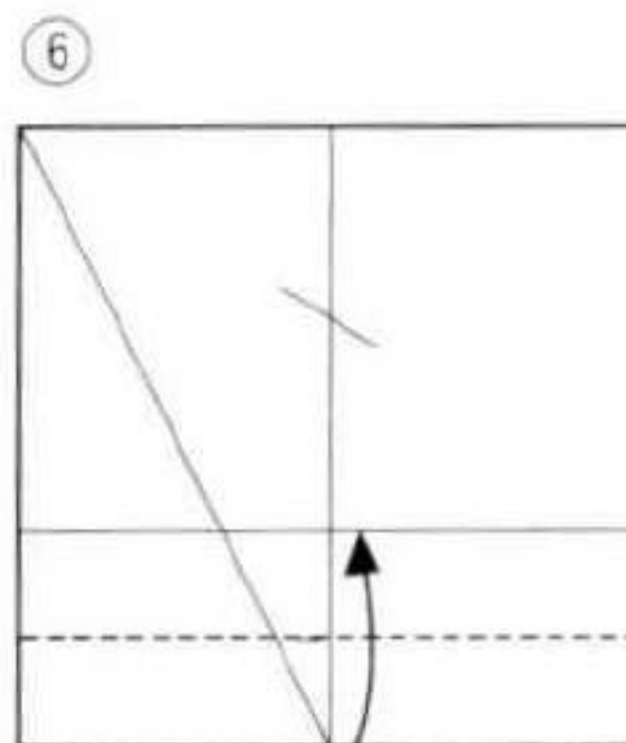
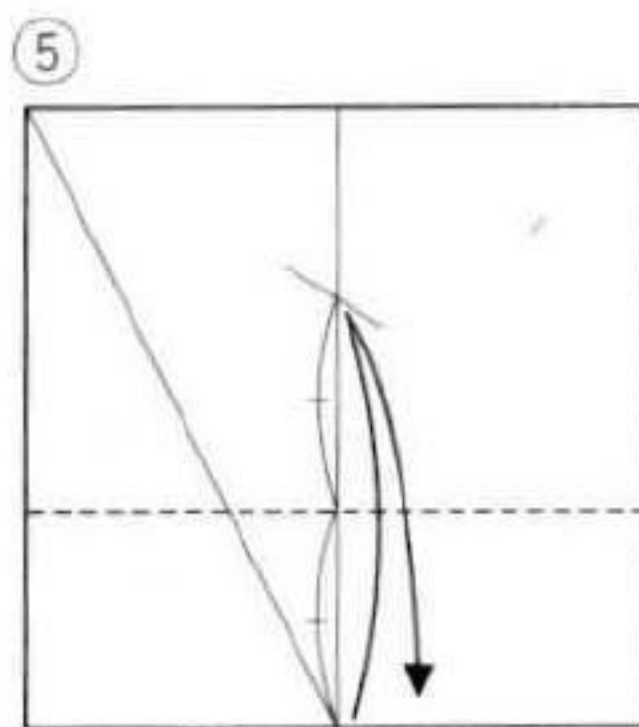
△印を結んで一枚だけ折る



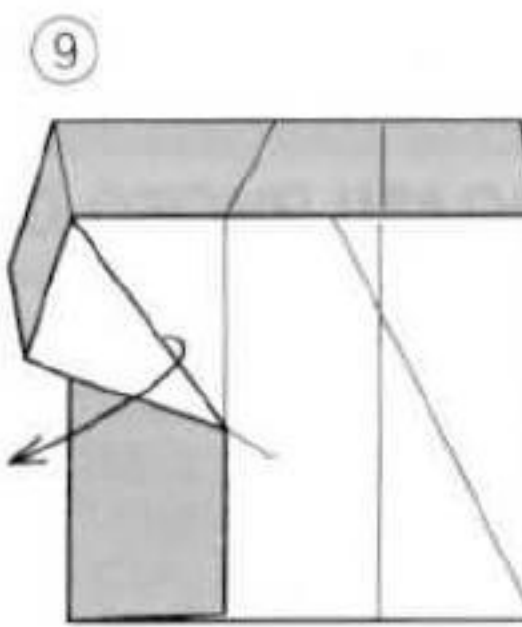
開く



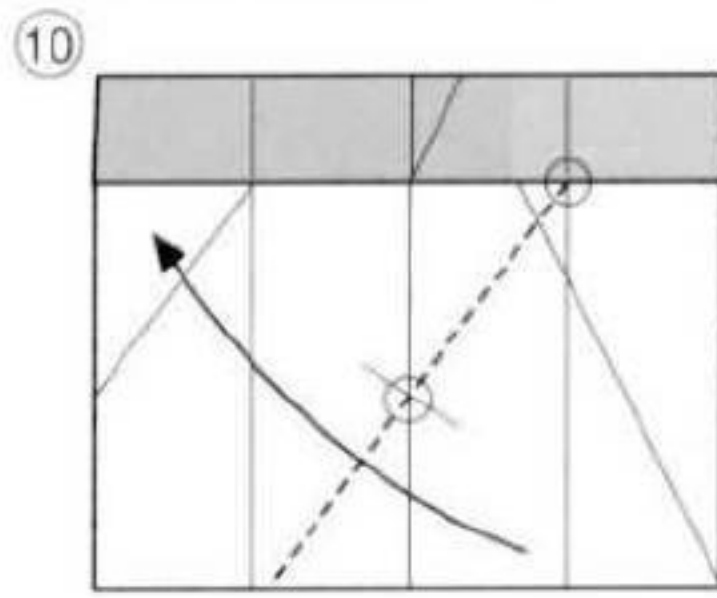
交わった所を少しだけ折る



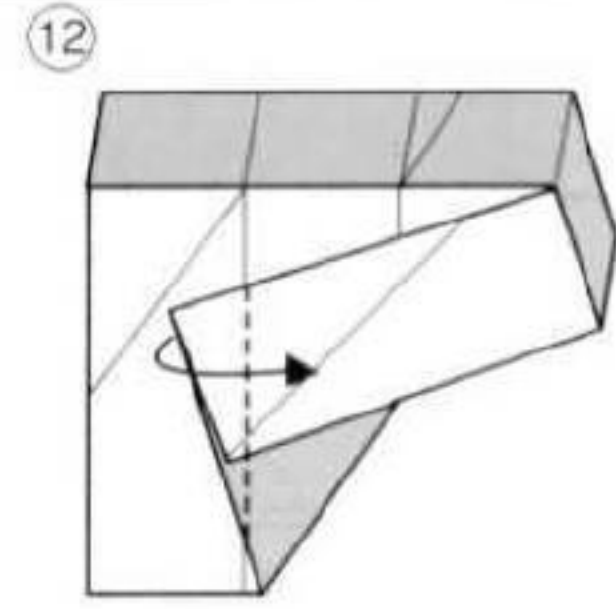
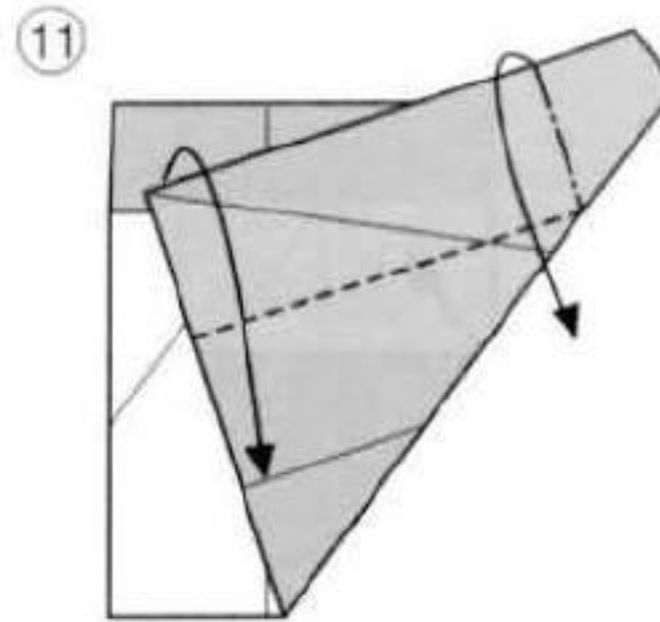
⑦のaの交点の所で、開くように折る



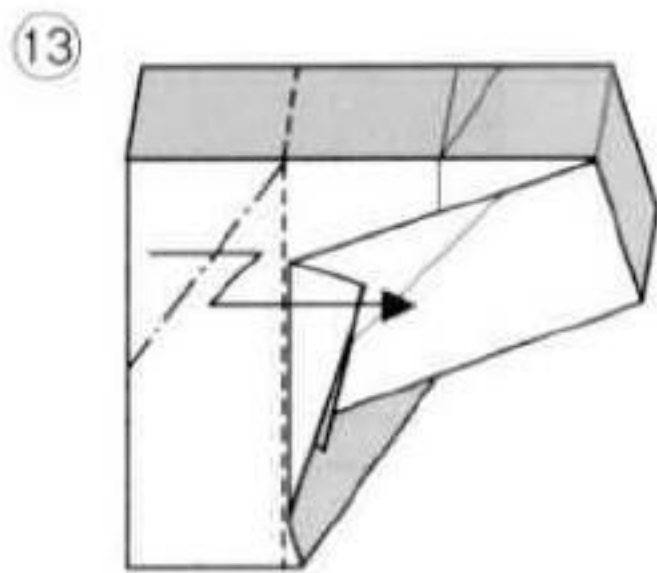
もどす



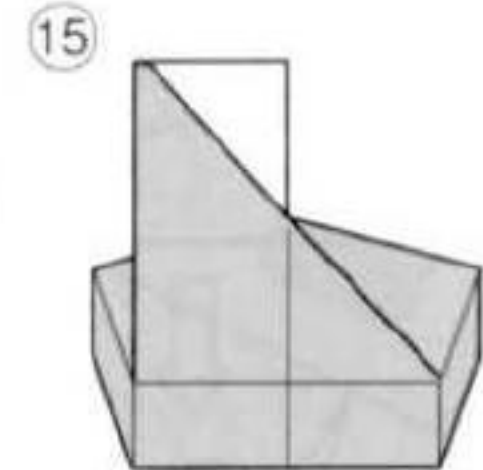
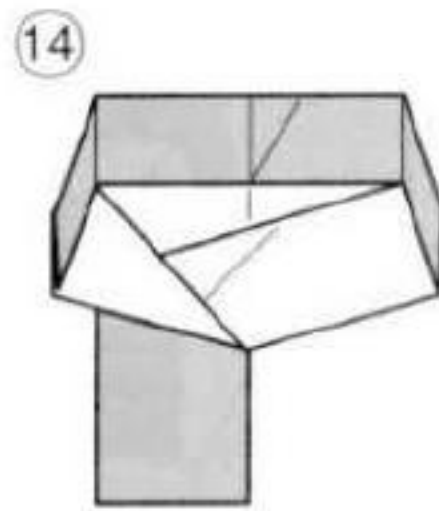
○印を結んで折る



下の線に合わせて折る
少し多めに折るのがこつ

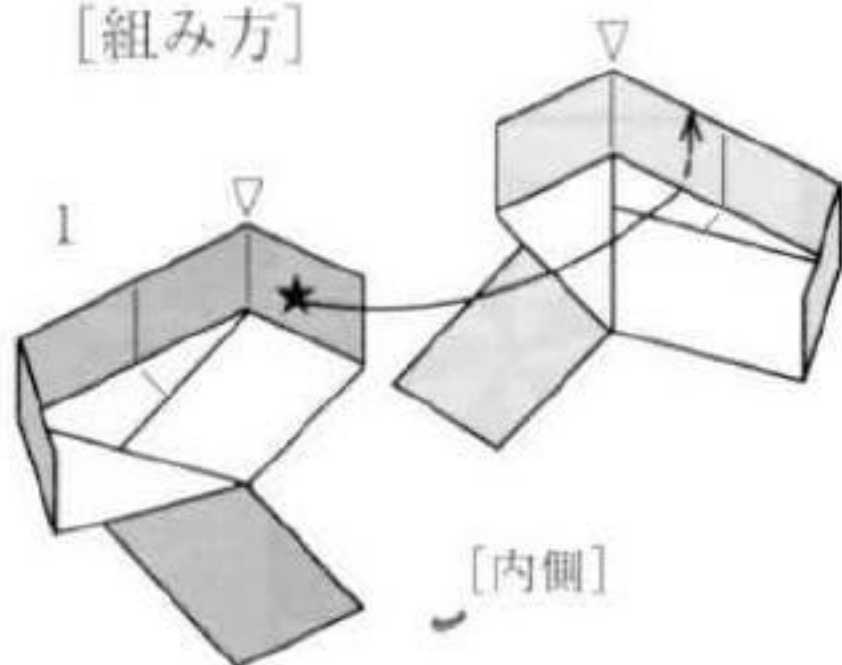


ひだを寄せて折る

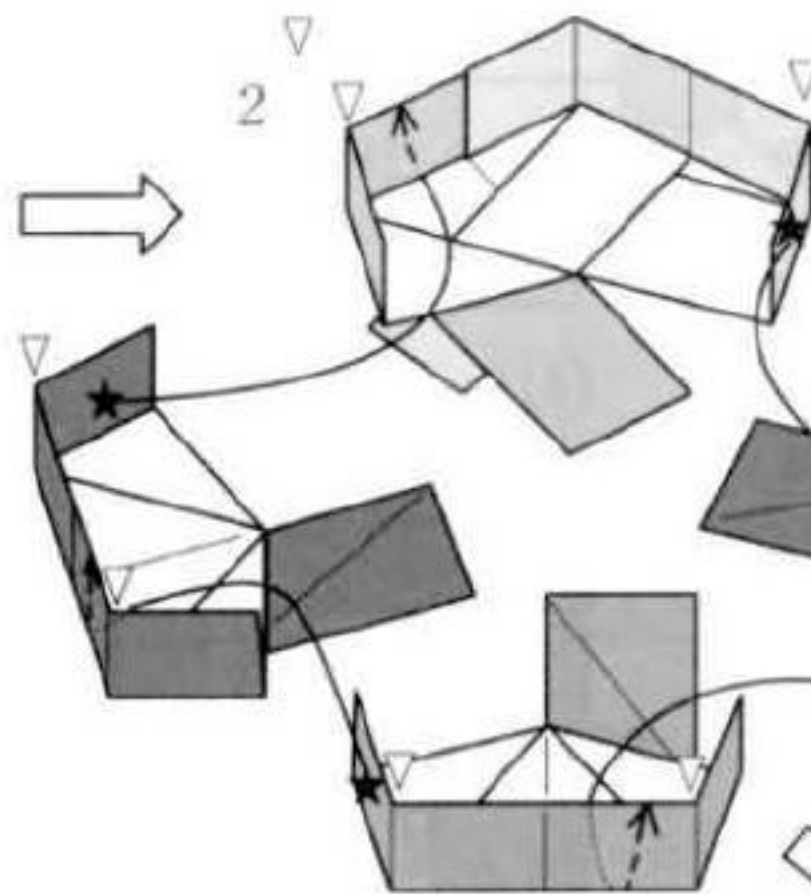


(×5)

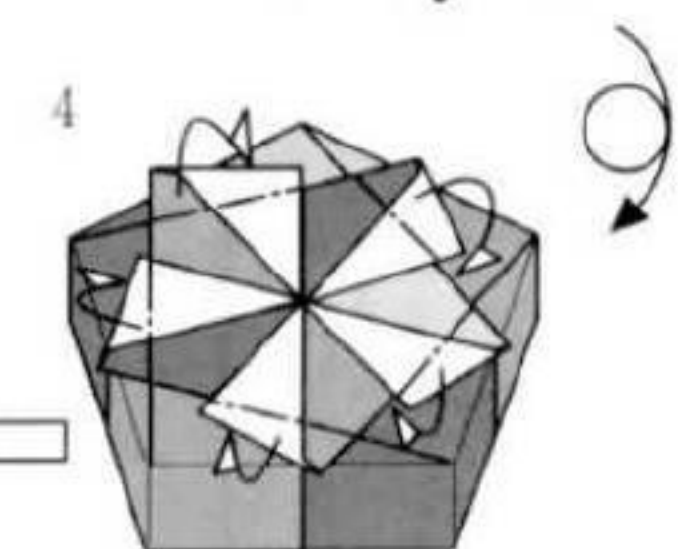
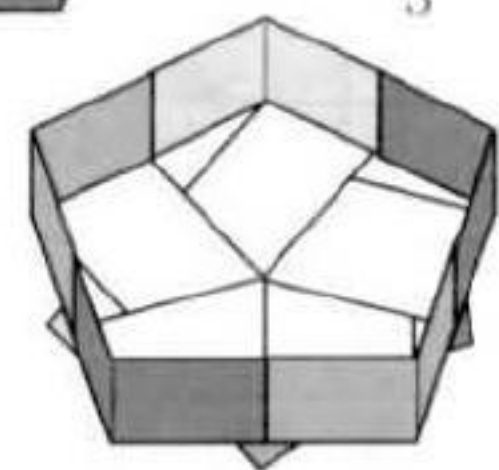
[組み方]



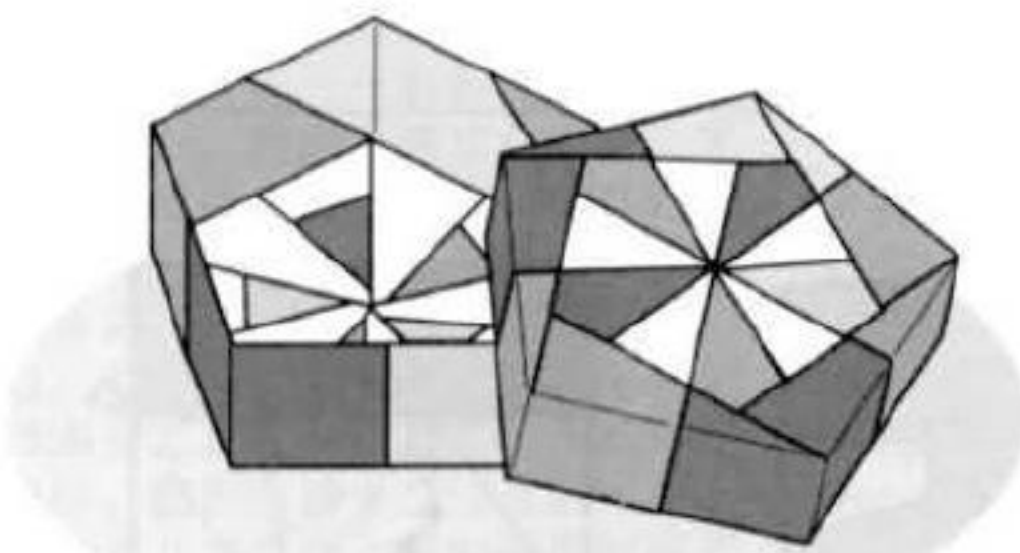
△印のかどを合わせるように
下から差し込む



この要領で5枚
を組んでいく



はさんでとめる

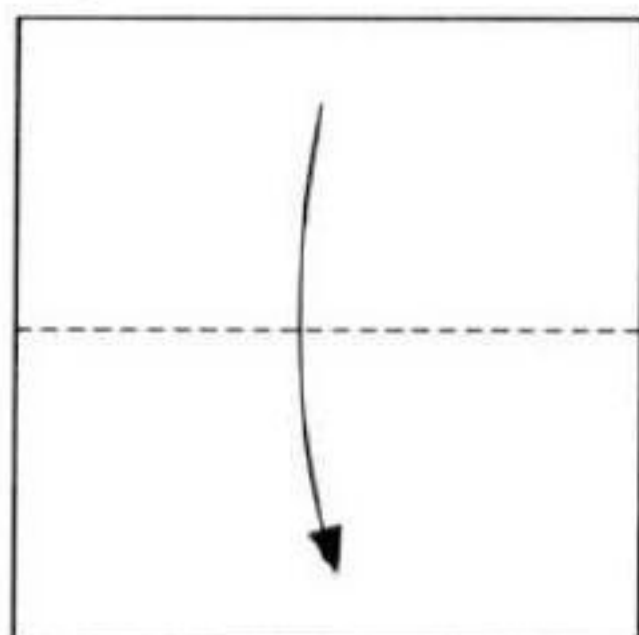


本体の折り方は
次のページ

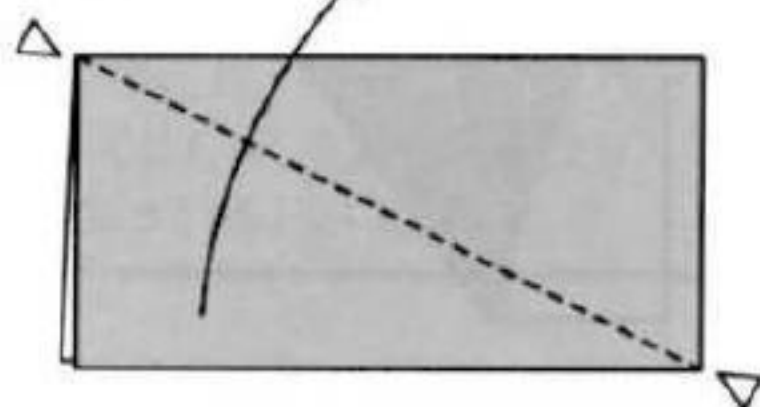


本体

①

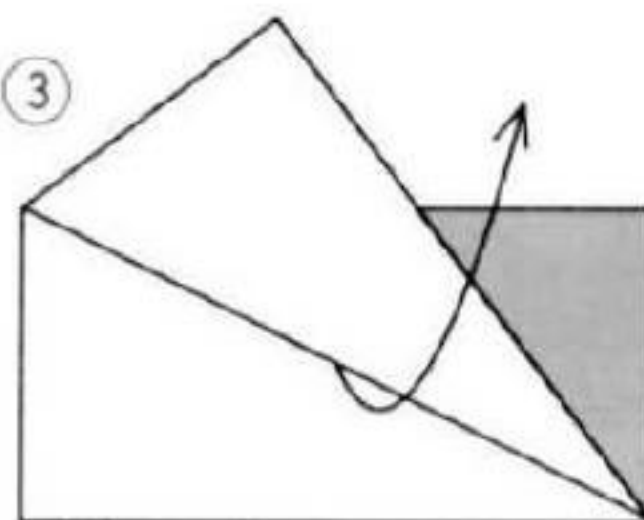


②



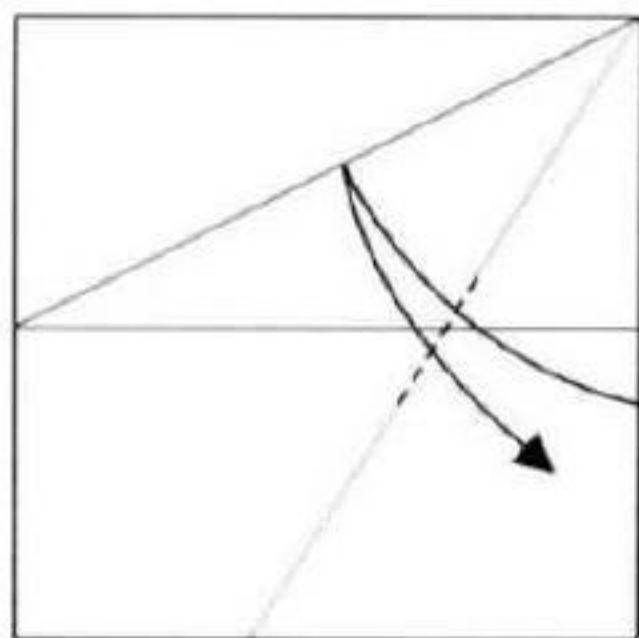
△印を結んで一枚だけ折る

③



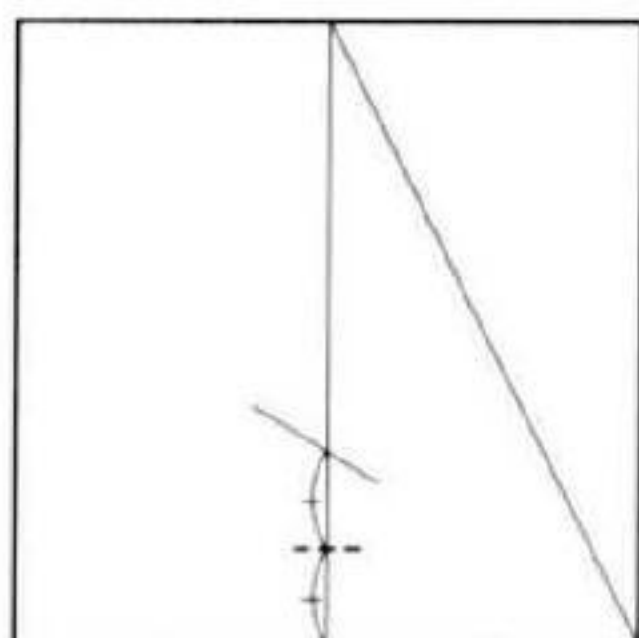
開く

④



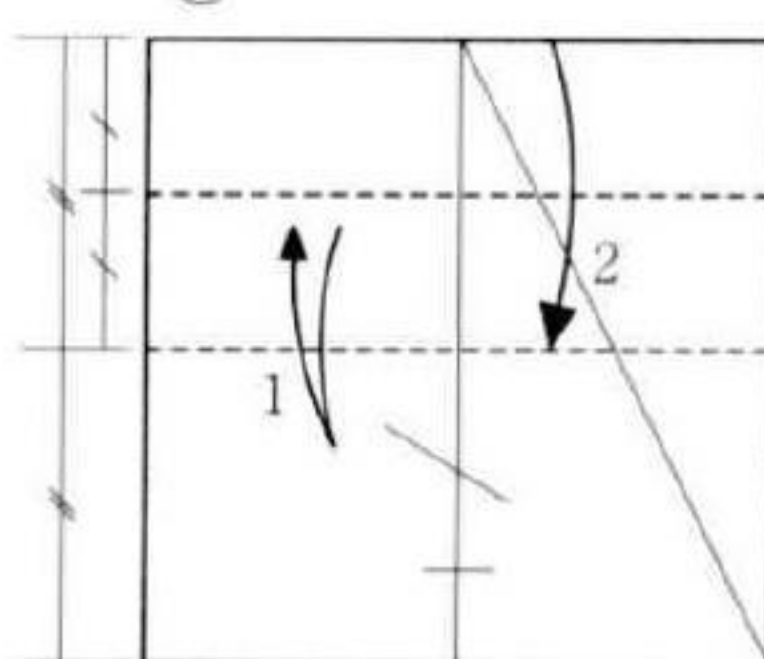
交わった所を少しだけ折る

⑤



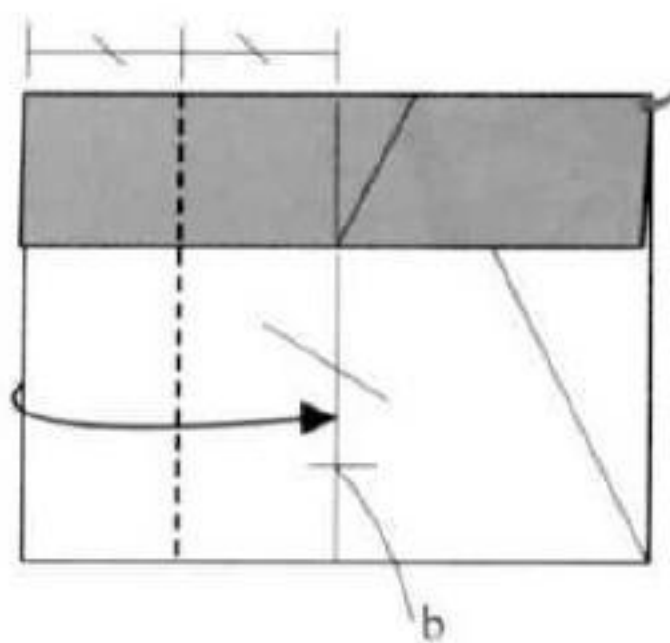
少しだけ折る

⑥

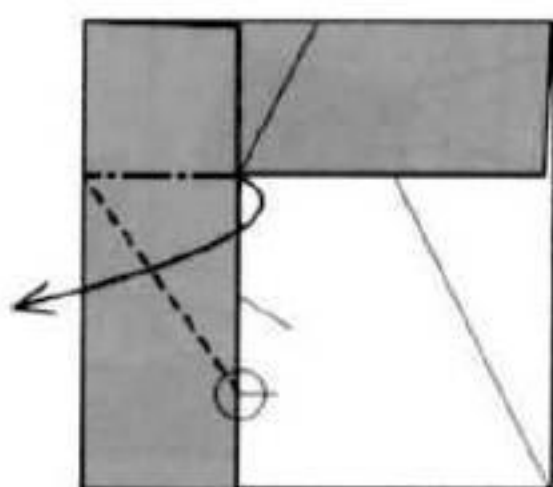


番号順に折る

⑦

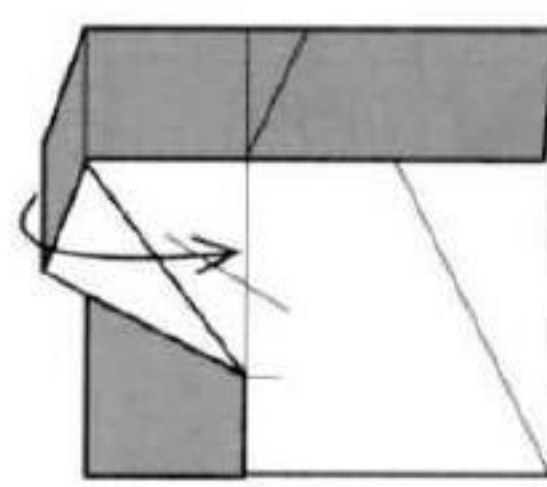


⑧



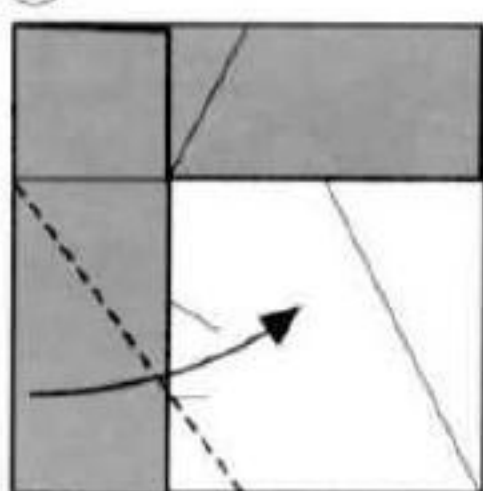
⑦のbの交点の所で、
開くように折る

⑨

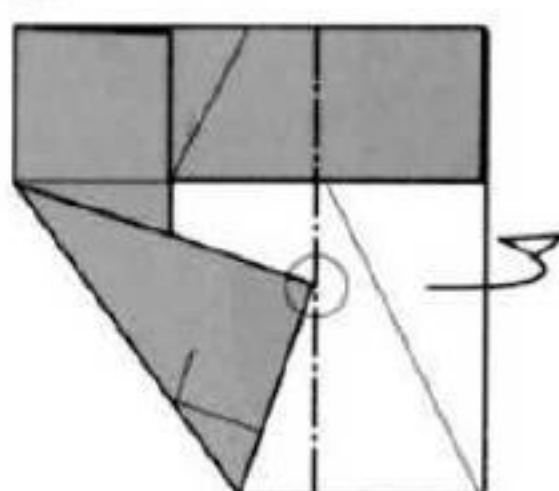


もどす

⑩

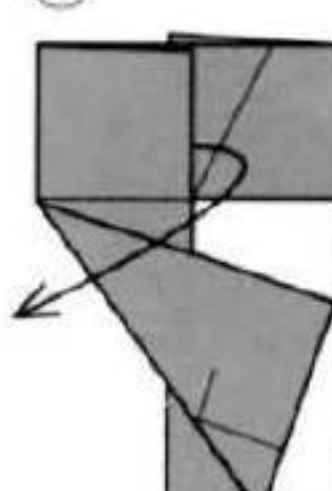


⑪



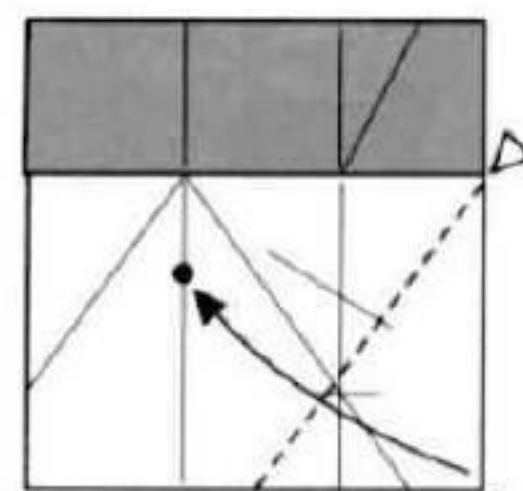
○印の所で折る

⑫



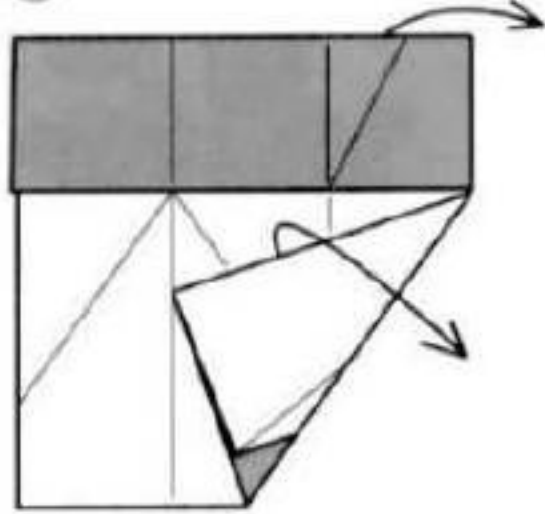
左を開く

⑬



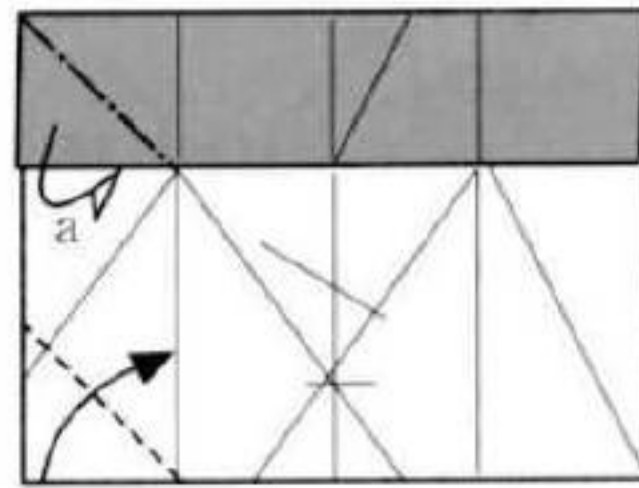
△印を軸に●印
を合わせて折る

⑭



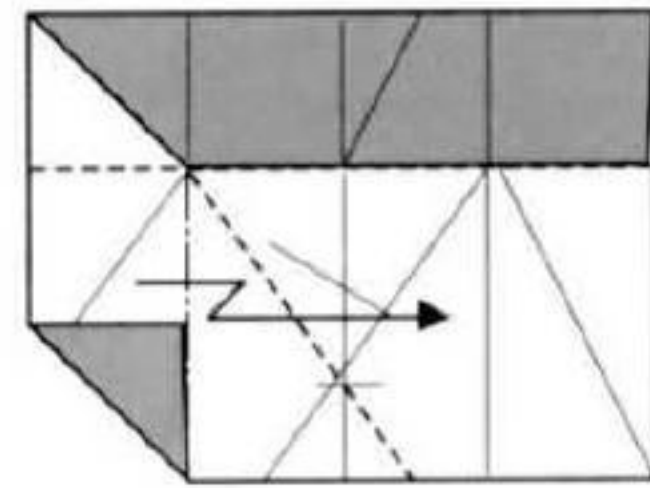
開く

⑮



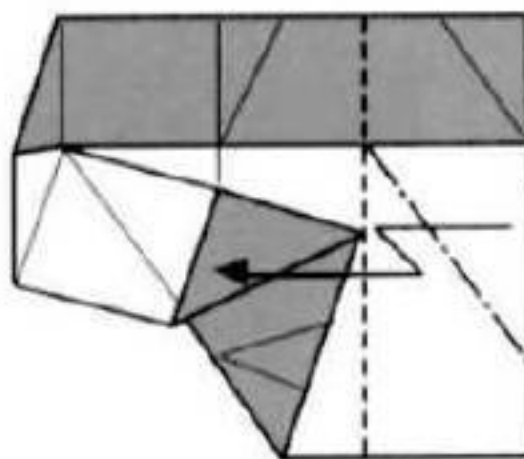
aは折らなくてもよい

⑯

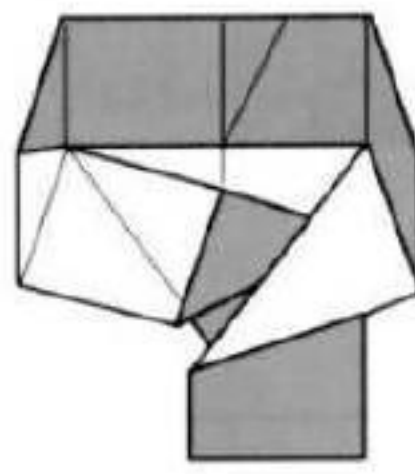


ひだを寄せて折る

⑰

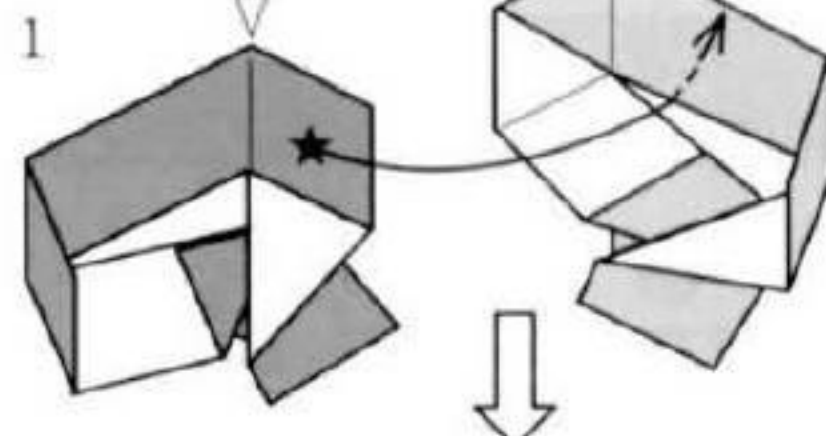


⑱

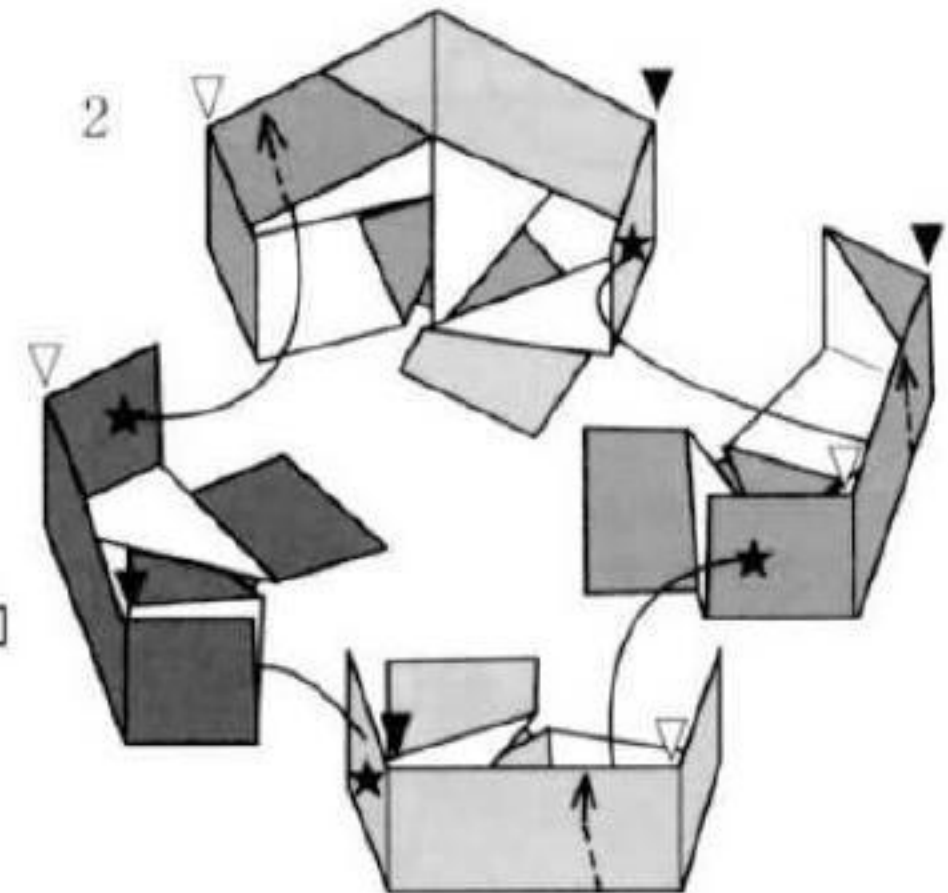


(×5)

[組み方]



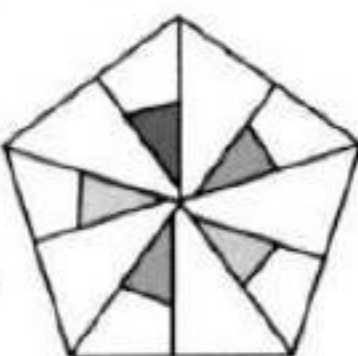
2



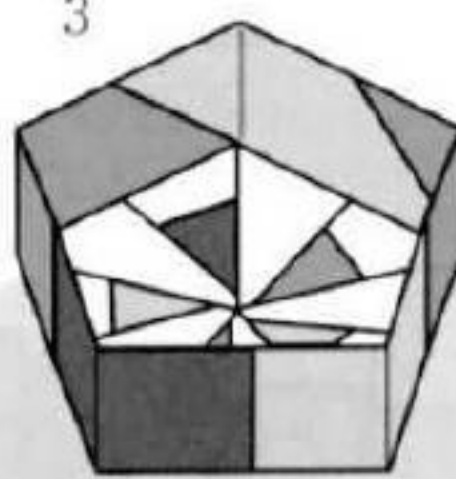
[外側]



[内側]



3



ショートエッセイ「ダルジャン」

この秋、ごく短い、6日ほどのことであったが、真っ白なアマガエルが、私たちの生活を潤した。

『白満』という白いダリアの花びらにもぐり込んでいたのである。花びらが動きだして……おお、魔法か！目を疑った。視線を感じたのか、アマガエルはあくびをした。きれいなピンクの口。連れ合いを呼んで二人で覗き込むと、またあくびをした。うむ。これはどこぞの高貴な王子がわけあって身をやつしているにちがいない。私たちはうなづきあった。

このダリアはサカタの通信販売で『朱雀』『悠遠』などという名前のもので買ったもので、その丈高く豪華な花々は山暮らしのなぐさめとなっていた。

ダリアの花には、ツユムシやフキバッタやさまざまな昆虫が訪れ、カマキリも常住して、それらを捕食していた。アマガエルもここをねじろにしているらしかった。歌麿の画本虫撰を見るような景色。

白いアマガエルは夜にはダリア城を離れて茶の間のガラス戸に移動し、灯火に集まる昆虫を捕らえた。朝、障子にとまっているのをシルエットで見つけたり、城に帰らずサッシの銀色に寄り添って日中もいることがあった。部屋からは呼吸と共に膨らむ腹側が見え、その規則的な運動はこちらの視線を感じるとしばらく止むので、お互いに息をつめるのはよすことにした。長くサッシにいと、白は銀色に同調してくるようだった。

私たちは伝説で銀という意味らしいダルジャンという名前を奉った。

今年はクスサンという蛾が大発生した。これについて述べるには誌面がないが、それがモスラのような成虫になり、大挙してサッシに狂い舞うようになると、夜の居場所をうばわれたダルジャンは、いつかダリア城からも姿を消した。

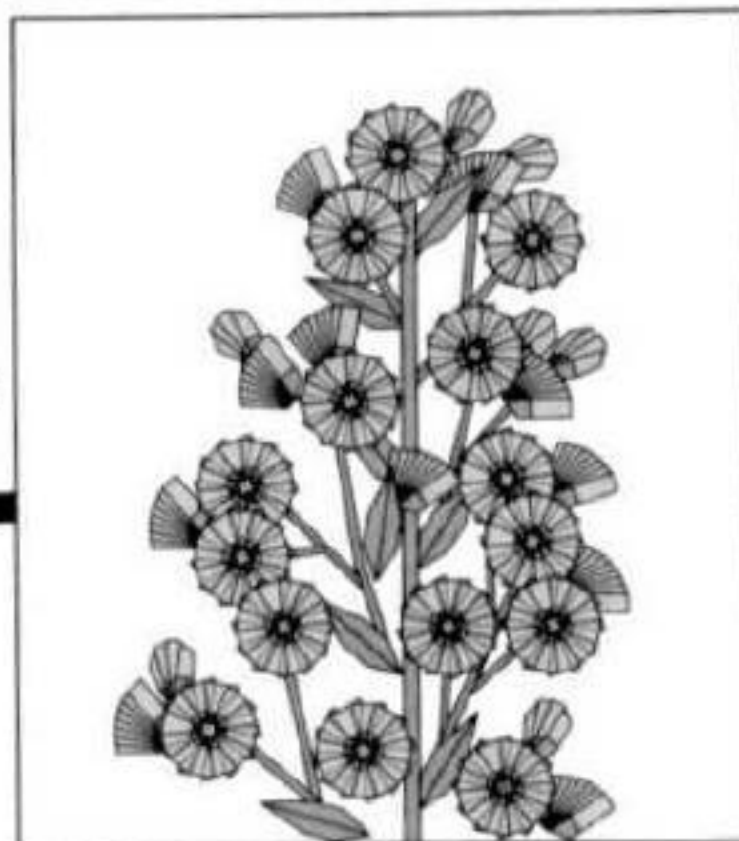
どこにいた、ここにいたとたわいなく喜んでいた私たちは、王子はまた旅に出られたにちがいない。白いお姿のままだろうか。それとも民にまぎれて当たり前の色になられただろうか、またいつかお目もじはできるだろうか、などと、夢のようだったひとときを語りあっている。

ももこさんの 色紙 しきしひゃっか 百花

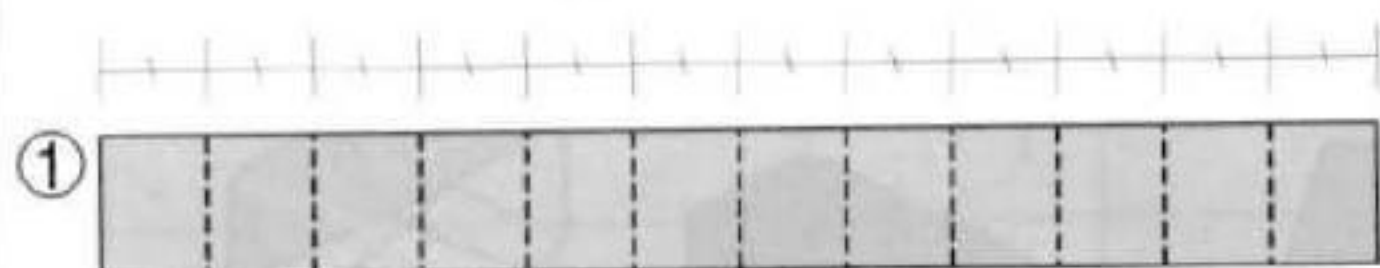
シオン Asters

田中具子
Tanaka Tomoko

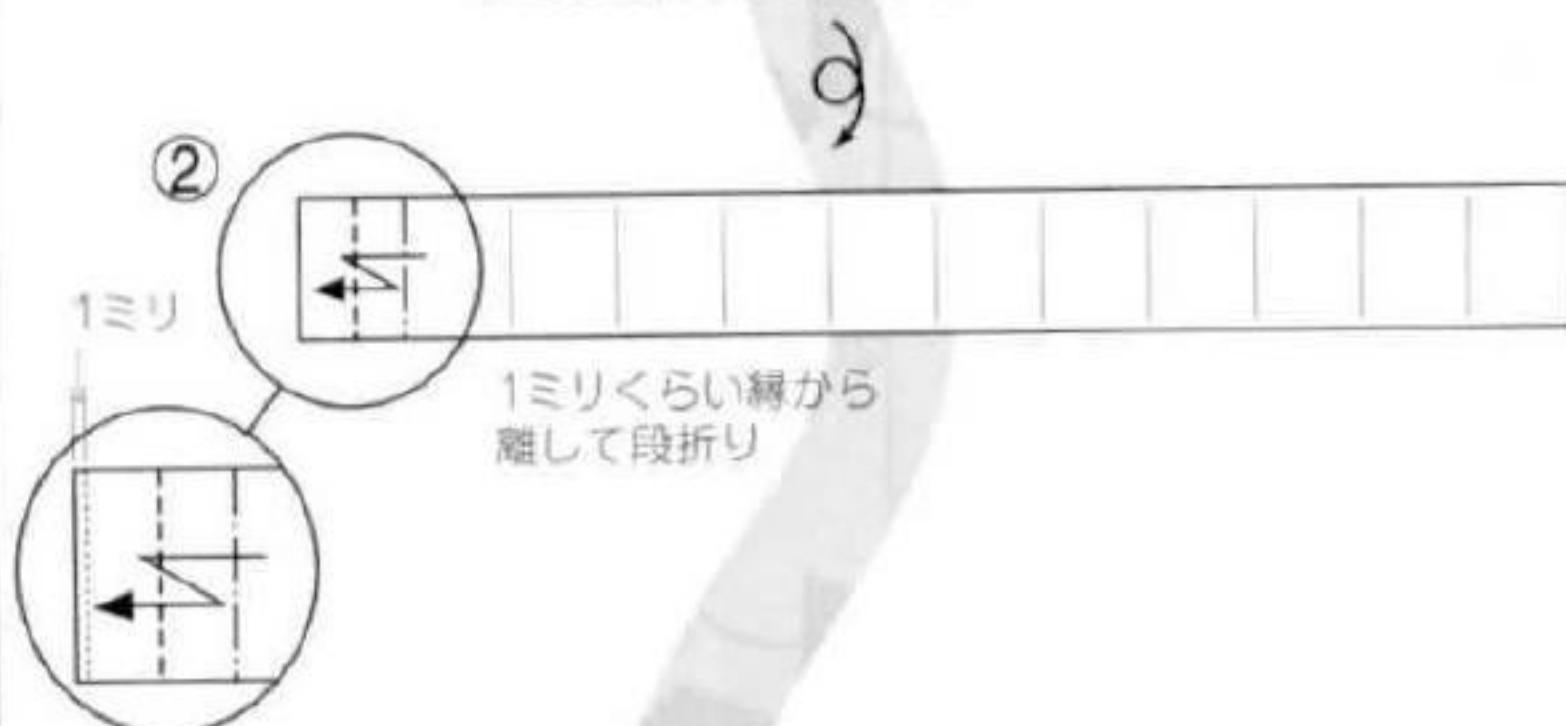
〔花〕は紙の裏が出るので、両面同色の紙を使うと良いでしょう。作品が小さく、細かい折が多いので注意しながら折って下さい。



〔花〕の大きさ
2cm×18cm 15枚



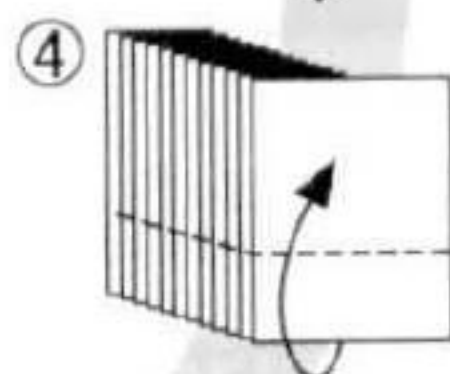
12等分で折り筋をつける



1ミリ
1ミリくらい縁から
離して段折り



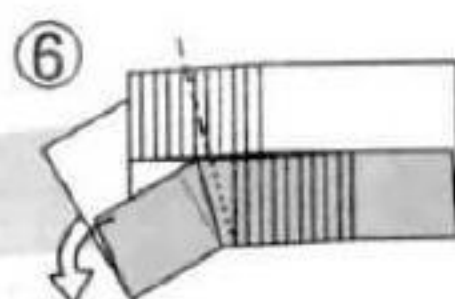
残りも同じ



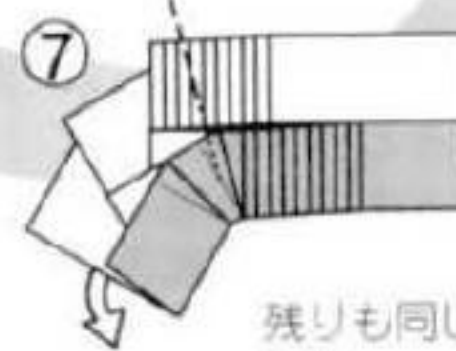
1/3くらい
縁を上へ折る



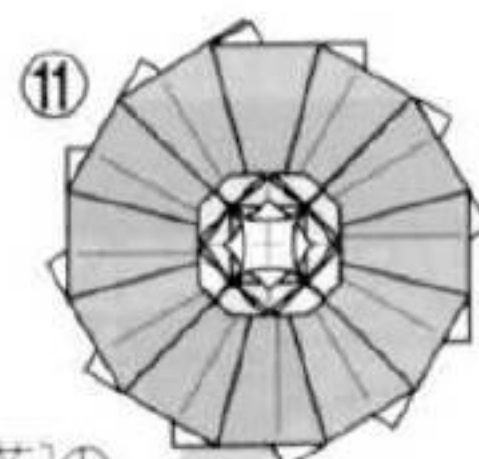
一番下の紙をつまんで
引き下げるように
ずらして折る



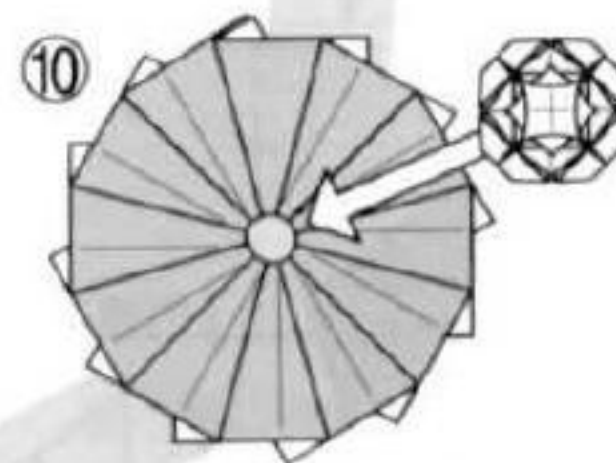
同じように紙をつまんで
引き下げるように
ずらして折る



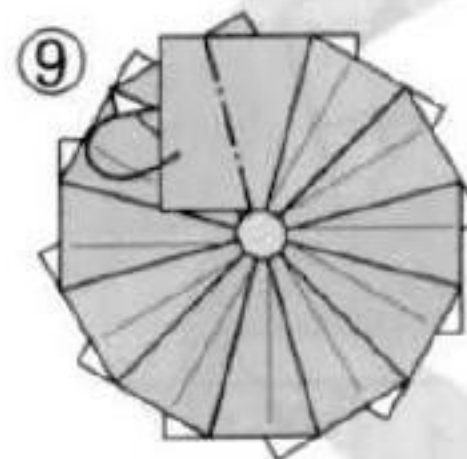
残りも同じに
折る



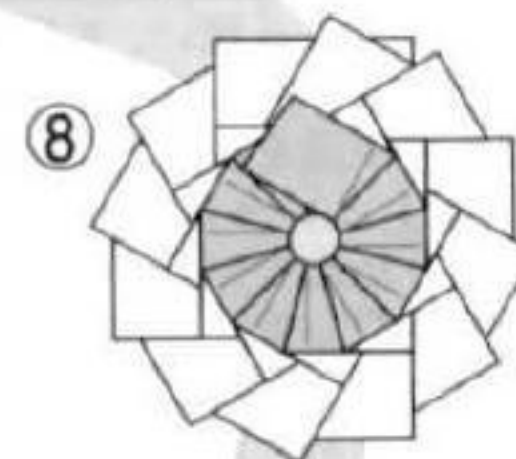
〔花〕の
できあがり



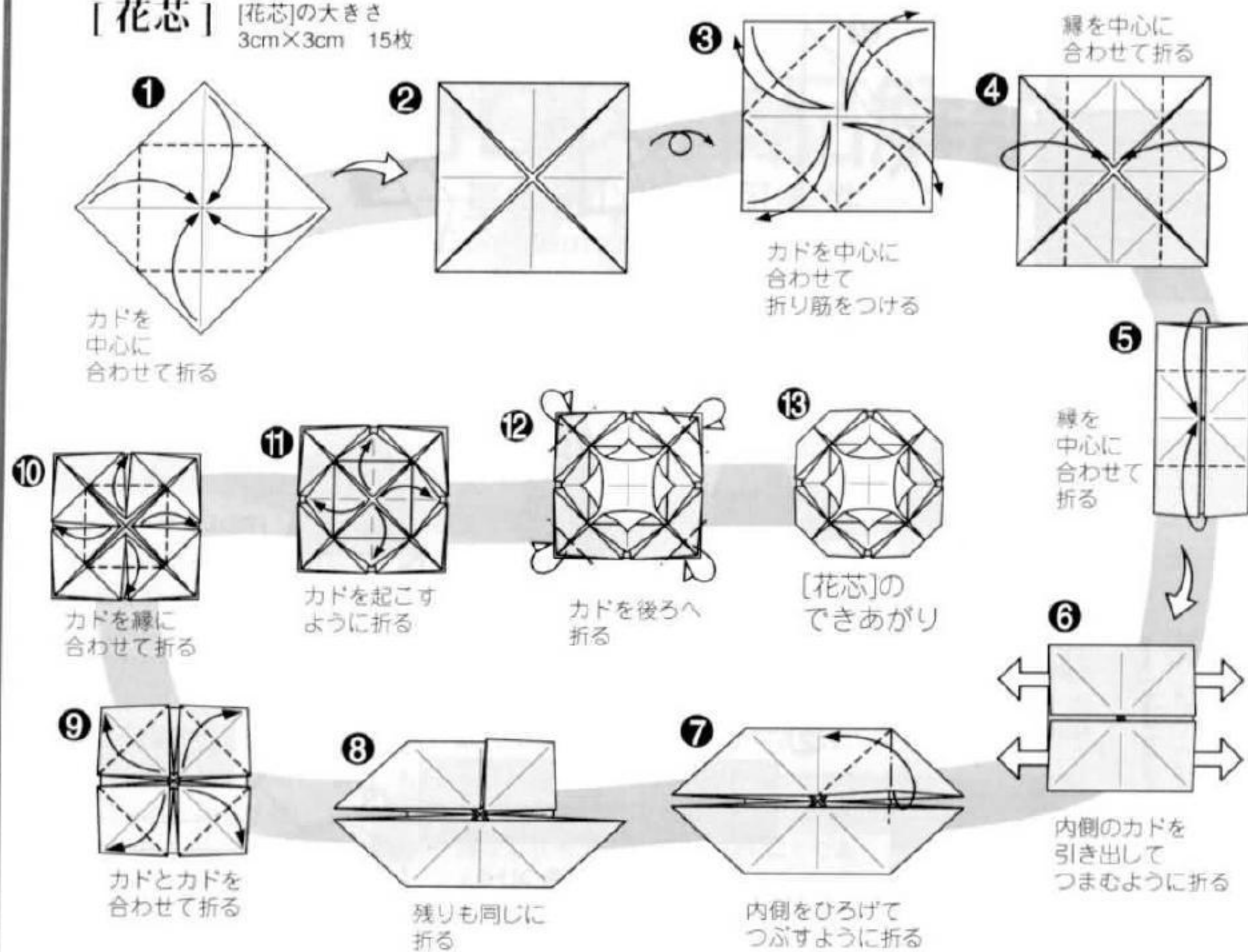
〔花芯〕を重ねて
のりづけ



縁を後ろへ折る

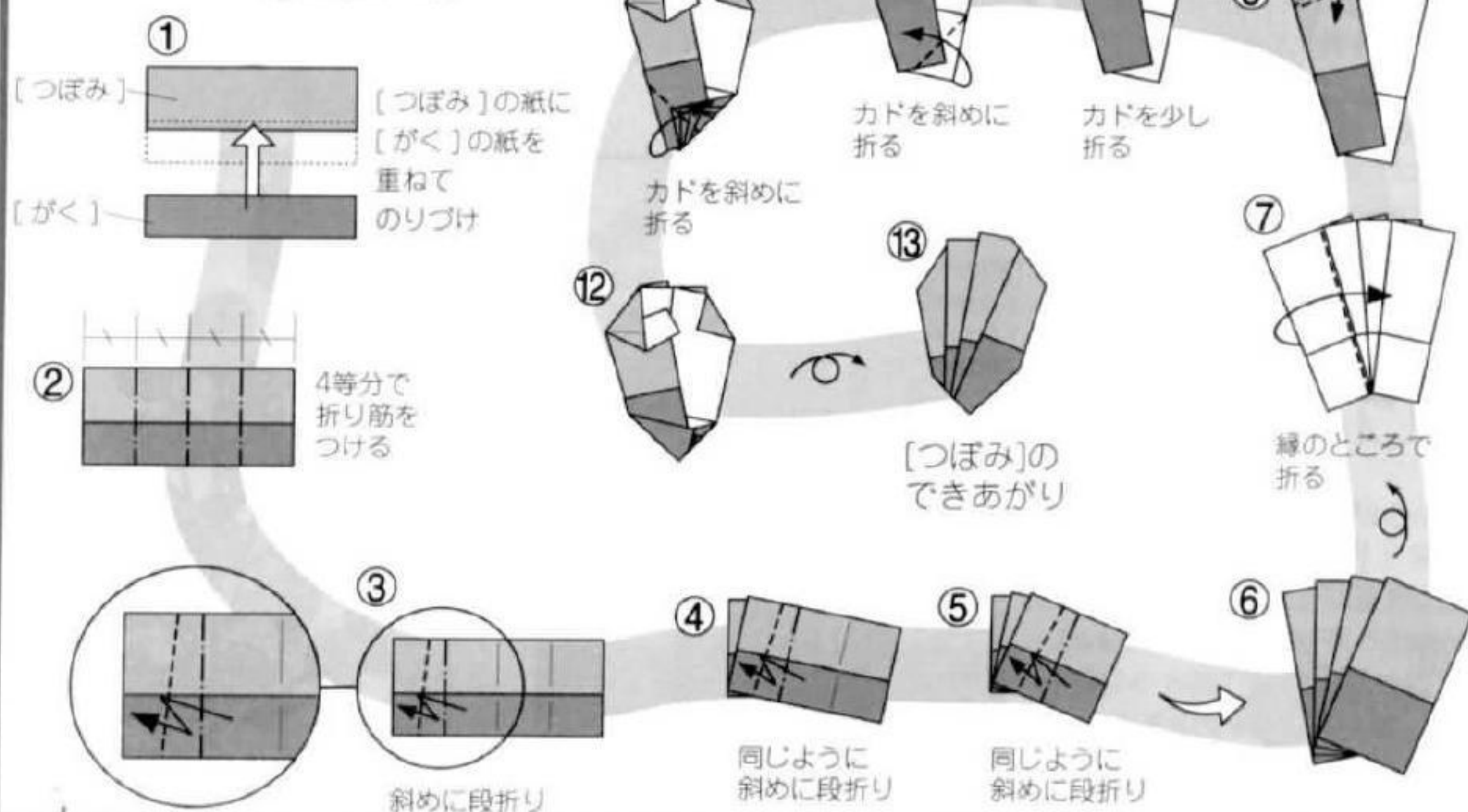


〔花芯〕 [花芯]の大きさ
3cm×3cm 15枚

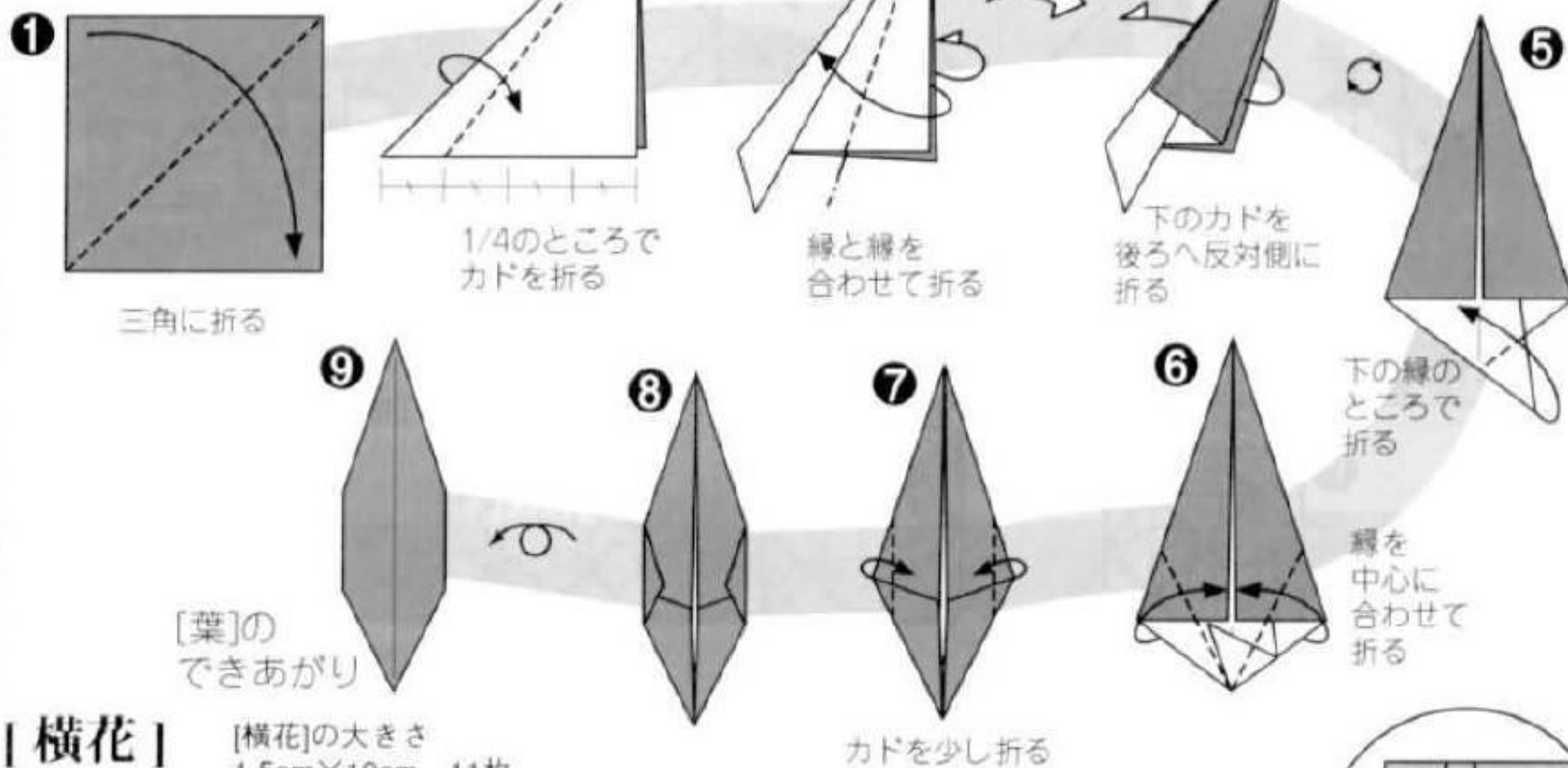


〔つぼみ〕 [つぼみ]の大きさ
1.5cm×5cm 7枚

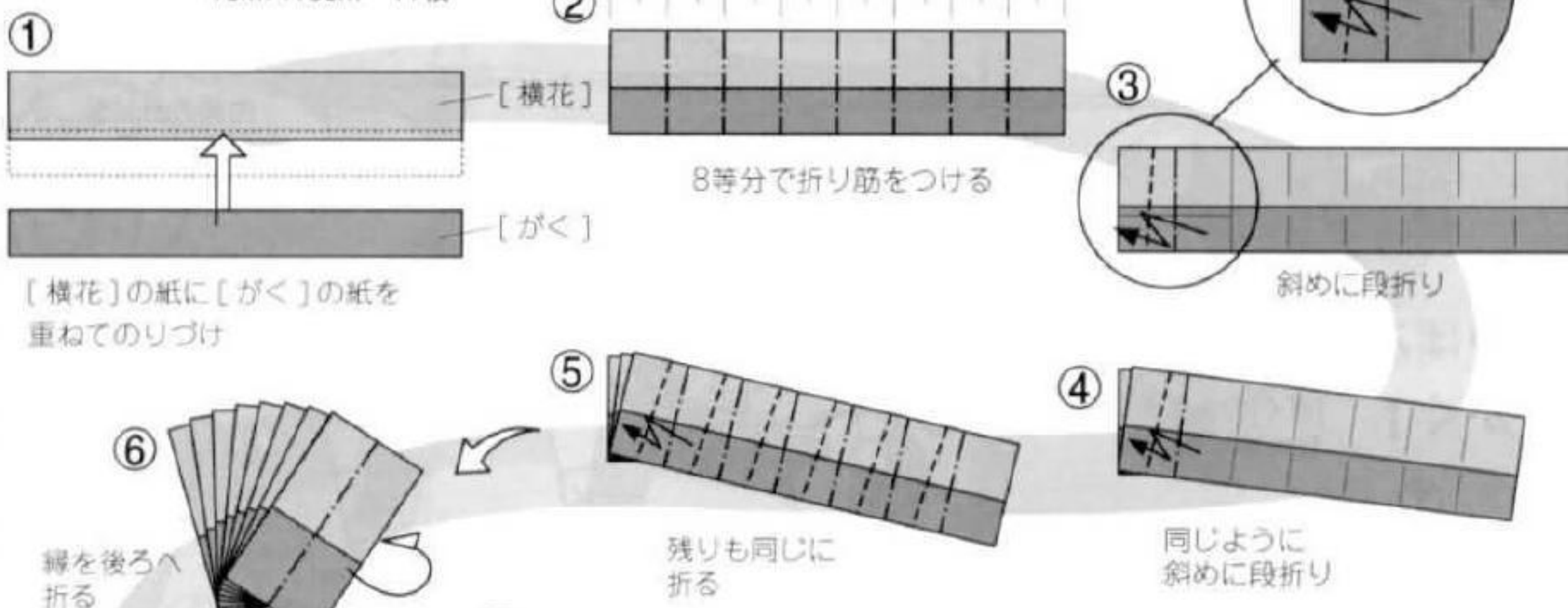
〔がく〕 [がく]の大きさ
1cm×5cm 7枚



【葉】 [葉]の大きさ
3cm×3cm 8枚

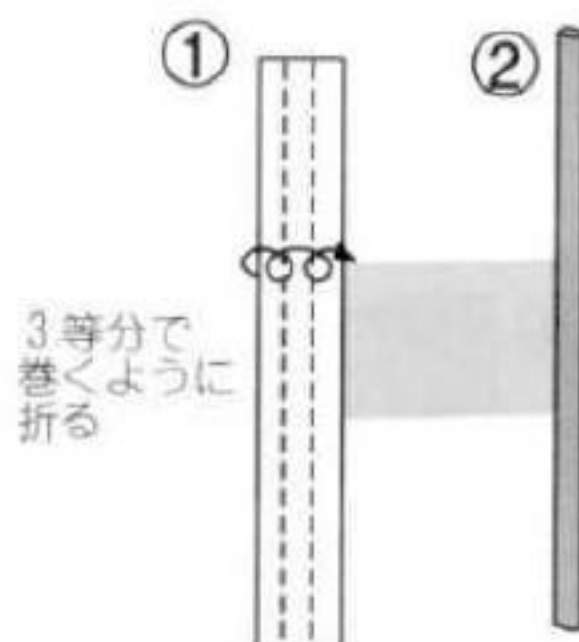


【横花】 [横花]の大きさ
1.5cm×10cm 11枚
【がく】 [がく]の大きさ
1cm×10cm 11枚

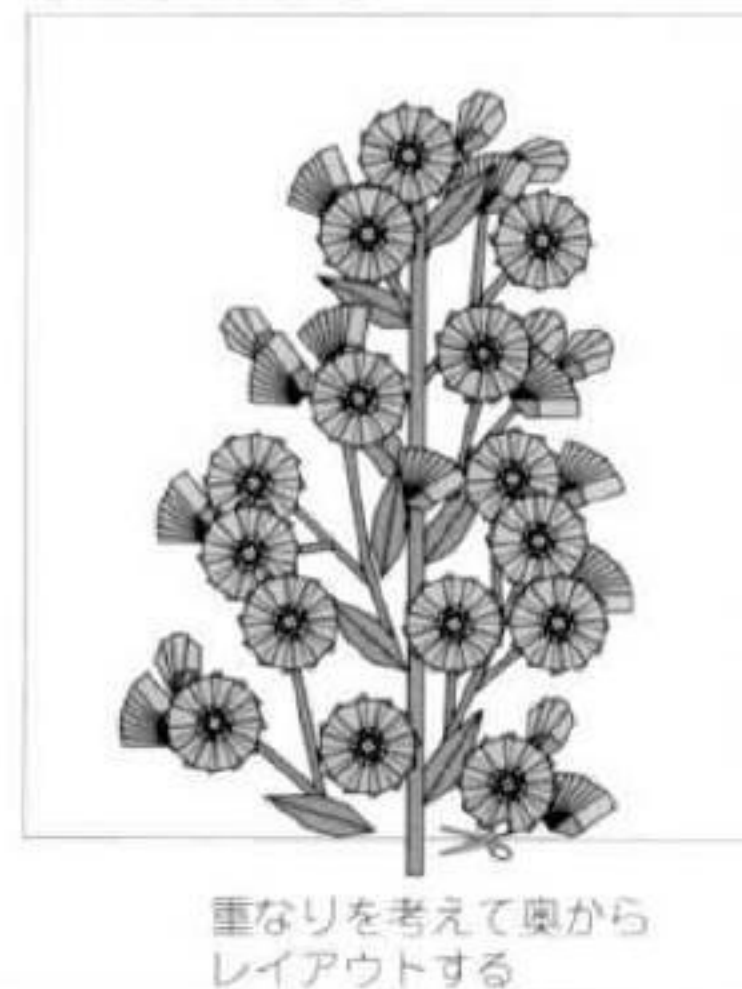


【茎】

[茎]の大きさ
1.5cm×20cm 1枚
1.0cm×30cm 1枚
0.8cm×30cm 1枚
[茎]は適当な長さに切ってから折る



【組み方】



イカロス作品解説

—基本形以降の可能性—

Introductory Comments on Icarus: Extension of Bases

北條高史

Hojyo Takashi

はじめに

拙作「イカロス」(図1)は、3年前にギャラリーおりがみはうすで開催した個展で初めて発表した作品である。この作品は、同時に展示した「金剛力士像」(図2)「増長天」(図3)と同様に、自作の「人物の基本形」(図4)を基本構造として用い、当時の筆者が持つ技術を存分に盛り込んだ会心作であった。最近、あるきっかけから本作を見直し、いくつかの部分に改修を加え、「2001年版」(図5、表紙写真)として折り図作製を開始した。幸いにも今回このクローズアップ記事を担当する機会に恵まれたので、本作品の基本的な制作方針と改修点について述べてみようと思う。



図1 イカロス(旧作)

旧作品の解説

ここでは、上記の個展で発表したバージョン(図1)ができるまでの過程をおおまかに紹介する。

個展開催のひと月ほど前のことである。「人物の基本形」をさまざまな角度か

ら手の中で回して遊んでいるうちに、腕部分をひろげると翼の形状をつくれることに気がついた。これなら鳥人のような作品ができそうだ。しかし、「鳥人」という題名では漠然としていて、このままでは印象が弱いかもしれない。そこで考え出したテーマが「イカロス」だった。

この「イカロス」というテーマで作品を制作するにあたって注意すべき点は、実在の動植物・人物、設定のあるキャラクターものなどを模した作品と異なり明確な形状モデルが存在しないことである。このようなモチーフを設定した場合は、伝説・物語から作者の自由な発想のもとに想像してつくることになる。こういったケースでは、ディテールに関して作者の自由がきく一方で、「万人に共通



図2 金剛力士像(咩形)



図3 増長天

する定められたイメージ(=形態)」がない。よって、鑑賞者は作品を前にして、「この作品は、〇〇を折り紙でつくったものだ」という「明確な回答」を出しにくいのである。このため本作では、「イカロス」が「イカロス」であるための形を追求し、作業時間の多くをこの模索に充てた。しかしこれは決して完成形ではなく、さらに変化し続けるということを作者は予想していた。以下、各部の解説である。

＜左右非対称のフォルム＞

本作品の焦点である、「片腕のみが翼」という形状の発想は偶然に生まれた。もともとは、「両腕が翼の形のもの」と「通常の人物の形」の二つを並べて展示する予定で制作を進めていたのである。ここで試作品を用いて工程の整理とバランス調整をしていたときに、ひと

イカロス作品解説

—基本形以降の可能性—
Introductory Comments on Icarus:
Extension of Bases
北條高史 Hojyo Takashi

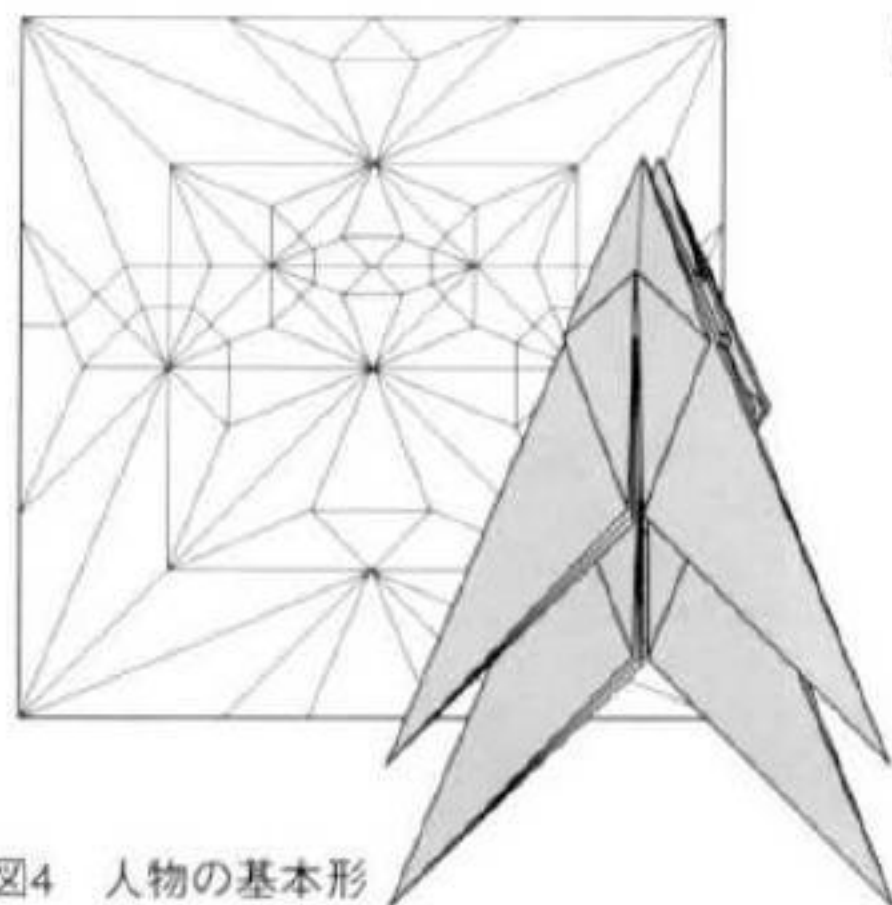


図4 人物の基本形

つの作品の左右でそれぞれ腕と翼をつくって見比べてみたのがきっかけだった。これをそのまま完成形としたことにより、上記の二作品を並べるよりもはるかに印象が強烈になっていると思う。ひとつの作品のなかに多くの情報量を盛り込むことに関しては、左右非対称造形は非常に有用である。

<頭部>

これまでは仏像など日本的な作品にばかり用いていた「人物の基本形」だが、イカロスというテーマであれば当然、西洋的な雰囲気を出すことが要求される。人物像の雰囲気・性格は頭部形状によって大きく左右される。一見して「古代ギリシャ」をイメージさせる頭部の形が必要なのである。本作品の頭部領域は用紙の内部に鶴の基本形を埋め込んだ構造になっていて、これを沈めたり引き出したりして整形していく(図6はおおまかな展開図)。これは故・吉野一生氏が「虎」などの作品で先鞭をつけた、「用紙内部から生じたカドを活用する」という技術の応用例である。多く

図5 「イカロス」2001年改修版



の層の重なりを使ってウェーブのかかった髪イメージを表現してみた。

<全体イメージ>

全身のポーズに関しては敢えて手をつけず、足の先までまっすぐに伸ばし両手を真横にひろげたポーズをとることにした。当時の作者には、「翼を失ったイカロスが、己の無力を悟った瞬間」を表現するにはこれが最上ではないか、と思えたからである。本作を上下逆さに設置して頭から落ちてゆく配置にするとさらに悲愴感が増し、このほうが神話のエピソードの再現に近づくかもしれないが、作品としてあまりにも暗く痛々しいものとなるため、この案は不採用とした。

2001年改修版について

今回の制作・改修にあたって、以下に示すいくつかの部分再検討した。それらの意図の大部分は、翼や頭部へ集中しがちな情報量を分散し、全身の力の流れを再構築することにあつた。

<胸部・腰部>

旧作の衣装はセパレート型(腹部が露出する)だったが、改修版では完全に胴体を覆うようになっている。これは複雑だった腰部の作製工程を簡略化し、粘土細工的で不明瞭な折りを極力排除する過程で生じた大幅なデザイン変更である。その結果、胴・腰部は作品の形状の中で『締め』の役割を果たす重要なディテールとなり、これが全身の力の流れを集約してトータルな造形に至ることに成功した。

<胸部>

旧作での胸部は、剣闘士の鎧や胸当てに見立てたデザインとして構築した形状である(図1)。しかしこれは今見直すと具象性が希薄で、造形的に練り込みが甘いと感ずる箇所でもあった。

今回の改修では、「明確で詳しい折り

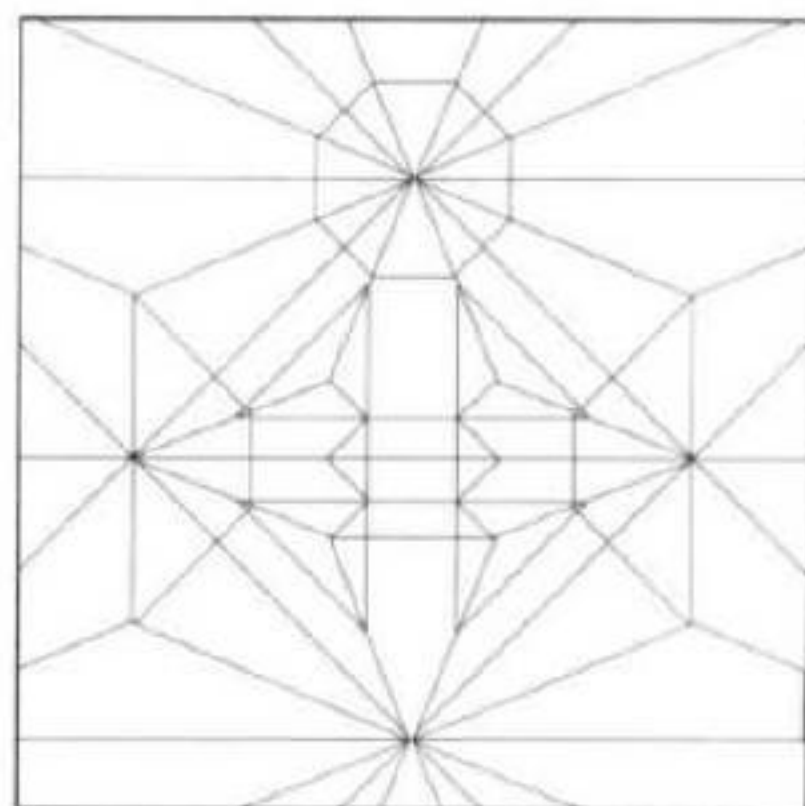


図6 頭部周辺の詳細

○北條高史(ほうじょう・たかし)＝栃木県生まれ。人物作品を中心とした創作活動を行っている。普段は製薬会社の研究員として、日夜実験動物と格闘中。



図の作製』を意識したので、全工程にわたって「ぐらい折り」を削減した。しかし、一箇所は「ぐらい折りの権化」とも呼ぶべき工程を盛り込みたいという矛盾した遊び心もあった。図5と表紙の写真はその結果を示すものである。あやめの基本形の中央部と同じ構造を引き出してずらすことで、ギリシャの民族衣装のイメージを再現すべく苦心した部分だった。神経をつかう加工だが、ぐらい折りならではの空間感、重厚感を備えている。胸部の表現は、翼と同等に視線を魅きつける新たな焦点となった。

＜ポーズ＞

本来「人物の基本形」には、関節の自由度が高いという大きな利点がある。試作を繰り返すうちに、「この作品が直立不動のままではもったいない」という結論が出た。今回の作例は、そうした模索のなかで得られたポーズのひとつである。

この作品は手足の曲げ伸ばし以外にも、腰をひねるといった大胆なポージングが可能である。こうした特徴を活用すれば、「イカロス」は折る人によって、其処に置いてあるだけで劇場空間を想起させるような作品へと発展する可能性を持つ。折り図が完成した際にはぜひ、折り手のみなさん自身でオリジナルのポーズを考えて制作していただきたい。

「暫」との比較検討

「折紙探偵団」59号で解説した拙作「暫」は、「イカロス」と同様の「人物の基本形」を作品の骨格として使用している。粘土の塑像で言えば、芯の針金に

あたるところに「人物の基本形」がおさまっていることになる。こうして「人物の基本形」の周囲に追加された用紙の部分を用いて、衣装や太刀などの装飾を施した。展開図通りに折りあげれば、これらの装飾の部分はカド(突起物)として、完成形とはほぼ同じ状態で現れる。よって「暫」は、「展開図から完成形をイメージできる」作品であると言える。

それに対し、「イカロス」は展開図を折っただけでは人物の基本形状が出来るのみであり、完成形には至らない。基本形から出ているカドをさらに細かく加工してはじめて成立する作品なのである。

折紙作品を味わいのあるものとする方針のひとつとして、作品に盛り込む情報量・表現の多彩さを増やすということが考えられる。このための手段として、上記の説明はふたつの全く別々な方向性を示している。つまり、必要なだけの情報量を「展開図で示される基本的な構造を複雑化すること」によって導き出すか、それとも「基本構造の作製以降に施す追加の加工」で実現するか、ということである。(こうしたことは、「をる」3号で川畑文昭氏が「表現技法」という用語を用いて説明された内容にも重なるところがあるので参照されたい。)

これらの別々な方向性には、それぞれの特徴がある。

「暫」は、いわゆる「スーパーコンプレックス」に属する作品である。こうした作品はまず最初に、「多数の突起」が目を引き、これによって構成されるシルエットの迫力で、鑑賞者に強く訴えることができる。また、複雑な構造を持つがゆえ

に、必然的に紙の重なりが多くなる。これを活用して、作品に重量感・ボリュームを盛り込むことが可能である。

対して「イカロス」のような、追加の加工が重要な位置を占める作品の場合について考えてみる。こうした作品は、より簡潔な基本構造からできているにもかかわらず、仕上げ次第で十分な説得力を持つ作品になりうる。また、基本的な構造を折った時点で用紙の重なりが少なければ、関節の自由度が高くなるため、さまざまなポーズをつけることが可能となるのである。そうして導き出される完成形は、スーパーコンプレックス作品では実現が難しい「動き」「軽さ」「優雅さ」などのイメージを備えたものとなる。

今回「イカロス」の制作に際しては、シンプルな基本構造を用いて、すでにある構造を最大限に活用することを目指した。「基本形を使った遊び」の可能性を前面に押し出し、ディテールの工夫とバリエーションの創出を楽しむスタイルの作品になったと思う。

作品を折り図通りに折るだけでは決して味わえない、独自の改造・工夫を加えることの楽しさ。筆者は折紙探偵団コンベンションなどの講習で、このことを提案してきたつもりである。こうした作業の出発点のひとつとして、「人物の基本形」が役立っていくことを願っている。

筆者の目下の課題は、「暫」と同じ、あるいはそれ以上の密度を持つ基本構造をもとにして、「イカロス」のように自由自在なディテールとバリエーションを引き出すことが可能な作品を創作することである。

数理を 楽しむ

オリガミクス④

芳賀和夫

Let's Enjoy Math through Origamics.
Haga Kazuo

○芳賀和夫(はが・かずお)

♂, 1934—

(非常勤)埼玉短期大学講師(生物学)

(非常勤)国土交通省河川調査アドバイザー



幾何学図形折りに、これは便利!

<Z型おりがみ定規>

Simply made Z-type origami ruler is useful to fold various geometric figures.

不切正方形2枚折り?!

1枚の正方形のおりがみで幾何図形を折る際、必要な線や角度を得るために補助的な折り線や点マークを必要としますが、それらが図形を折るのに邪魔になったり仕上がりの美観を損ねたりします。それを避けるために、同じ大きさの別の1枚で作った「定規」を使い始めたらやめられなくなりました。

「定規」といいましたが、センチ目盛りがあるわけではありません。おりがみをちよっと折っただけの簡単なものです。それがとても便利なのです。

折り紙の真髄は「不切正方形1枚折り」、つまり、切ったり貼ったりせず、素手で折るだけで作り上げるところにあり、私もそれを目指しています。ところが、この場合は定規用と本体用のおりがみ2枚を使うことになってルール違反ですが、もともとは1枚でできることなので、お許しください。

仮称「Z(ゼット)定規」

これから幾何図形を作ろうとする正方形のおりがみと同じ大きさの別の1枚を定規にします。もちろん繰り返し使えますから1枚作っておりがみの袋に入れておけばよいのです。

作り方は簡単です。まず、横の中線を折ります。折り線がついたら開いて、今度は縦の中線を折ります。さらに縦の中線の両側を半分に折って4分の1の折り線をつけます(図1a)。この横1本、縦3本の線は慎重に正確を期さなければなりませ

ん。また、折り線は爪でなぞって細くしっかりとつけ、返し折りをして山にも谷にも折れるようにしておきます。この左右の4分の1部分を一方はうしろ側に、他方は表側にたたんで、裏と表にひだを作ります(b)。この切り口がZ字型になるので「Z定規」と呼びますが、通常は(c)のように平らにしておきます。

中点に 60° を作る

Z定規を使った幾何図形づくりの最初の例として、辺の中点に60°を作りましょう。新しいおりがみをZ定規のうしろ側のひだの奥まで差し込みます。この場合、横の中線は関係がないので定規とおりがみを上下に少しずらせた方がやりやすくなります(図2a)。おりがみの上部を定規のところで折り曲げ、かどが定規の真ん中の縦線(色の変り目)に乗るように、たるみがないように位置を調整し、その位置でしっかりと折ります(b)。

これで上辺の中点に60°ができました。上辺の他方も60°の線にあわせて折って、ぴったり180°が3等分されていることを確かめましょう(c)。

こうして作った60°からは、正六角形、正六角星、正四面体、正八面

体、デルタ十面体などを1枚折りすることができます。

頂点(かど)に 60° を作る

今度は頂点(かど)に60°を作ってみましょう。上と同様に裏側のひだにおりがみを差し込んだら、おりがみの上の頂点がZ定規の端の線に接する状態で下の頂点に折り線が行くように位置を調整して折ります(図3a)。これを同じ頂点の他の側でも行います(b)。こうして、頂点中央に60°がとれるほか15°、75°も得られます(c)。

△ △ △

Z定規を使って60°、30°、15°、75°ができるわけは、三角定規三角形(図4a)にあります。この三角形は直角をはさむ短い辺、長い辺、斜辺の長さが1:√3:2の直角三角形で、直角以外の角が60°と30°になっ

図1

便利な「Z定規」作成は簡単。ただし、正確に折らなければならない。

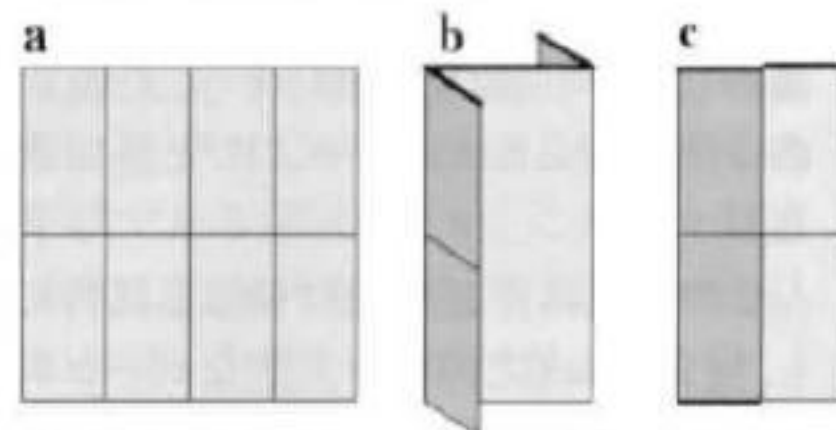


図2 おりがみの上辺中点に60°を作る。

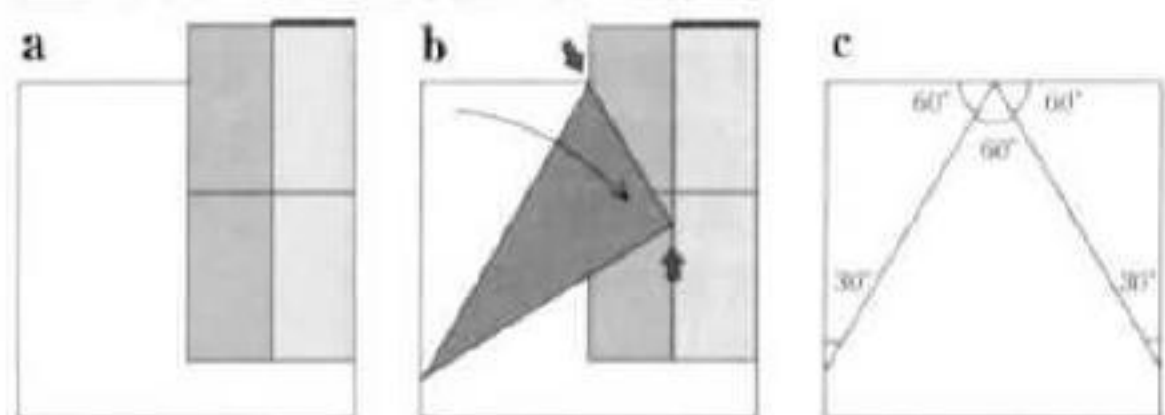


図3 おりがみの頂点(かど)に60°を作る。

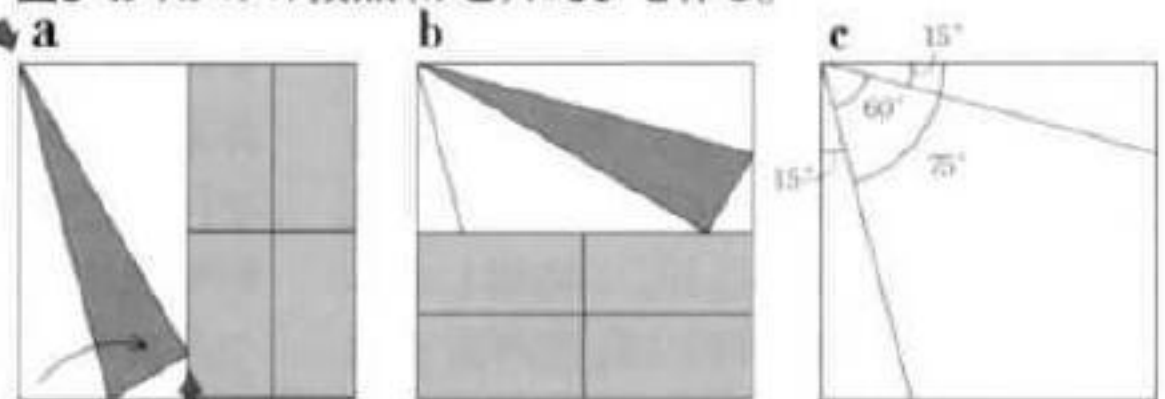
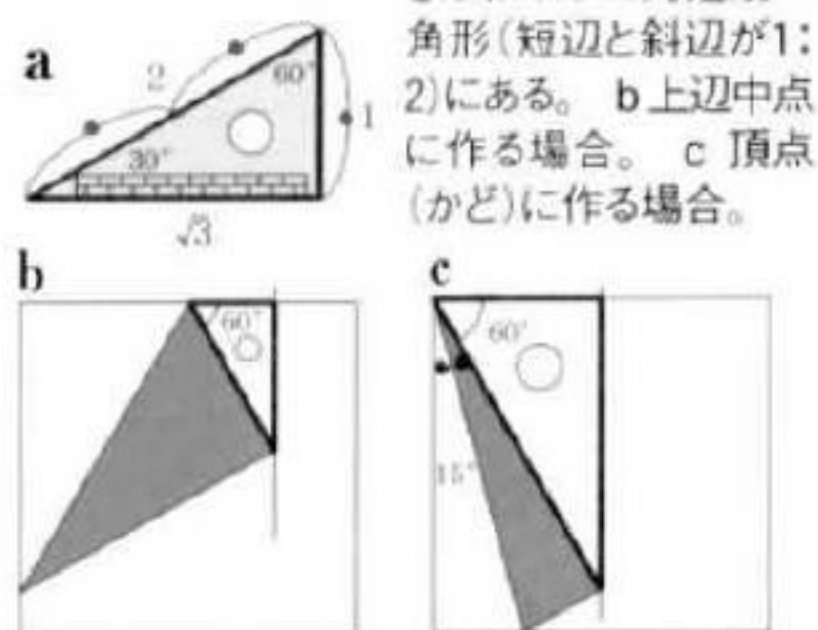


図4



a Z定規で60°などができるわけは三角定規三角形(短辺と斜辺が1:2)にある。b 上辺中点に作る場合。c 頂点(かど)に作る場合。

す(b)。定規をはずすと図5cのようになっているので、はみ出している三角部分4か所を折り曲げ(d)、それを開けば内接最大の正八角形ができています。裏返して見るとよく分かります(e)。

黄金比はひと折りで!

もっとも美的な比とされる黄金比は図6aのように線分を内分したとき、 $p:q=q:r$ になる比で、正五角形の辺と対角線の比がそうです。 $p=1$ とすると、

$$q = \frac{\sqrt{5}-1}{2} \approx 0.618$$

つまり q は p の6割強になっています。

この長さを正確にとるには、Z定規のうしろのひだ下半分におりがみを差し込み、その下のかどを支点に下辺を移動させ、Z定規真ん中の縦線下端を通る位置で紙を折ります(図6b)。このとき、折り線によっておりがみの1辺が黄金分割され(c)、折り線は黄金比長方形の対角線になっています(d)。この対角線は、たとえばテレホンカードや運転免許証が黄金比になっていることを確かめる場合に使えます。

この折り方の数理の説明にはかなりの行数を費やしますので、ヒントの図(c)にとどめます(拙著『オリガミクス①』日本評

論社のpp.113-114参照)。

この黄金分割を利用しておりがみに内接する最大の正五角形を折ることもできます(図7、同書pp.120-124参照)。

正立最大の正五角形を折る

面が正五角形の正十二面体を1枚の正方形で折る場合などに必要な正立の正五角形(図8)は、その対角線がちょうどおりがみの1辺の長さになっているため、上記の黄金分割が使えます。

まず、Z定規を半分に折って、前ひだにおりがみを差し込みます。そのとき、図9aのようにZ定規の中線下端におりがみの頂点が、定規の上の端におりがみの辺が接する位置にしたとき、定規の中線上端とおりがみの上辺中点を結ぶ線が正五角形の1辺の長さになります。この長さがおりがみの上辺中点と右辺にまたがるように位置を決めればよいのです(図9b)。無駄な折り線をつけないように行うにはちょっと技術が必要で、図でもうまく表せませんが、この1本さえ折れれば、比較的容易に図8の折り線作図が完成します。

Z定規の効用はまだまだあります。幾何図形折りにも、また学校教育にぜひ活用してください。

最大正八角形は簡単

おりがみは正方形ですから、その4つのかどを少し折り曲げれば正八角形ができるはず。ではどのくらいどの方向に折ればよいのでしょうか? 手を拱いてしまいますね。Z定規を使えばワンタッチで位置が決まります。

おりがみをZ定規の下半分の前ひだに差し込みます(図5a)。おりがみの反対側(図では右側)の下のかどを持ち上げてZ定規の右端の線上をすべらせ、折り線がちょうど定規のその線の下端(○印)を通るように位置を決めて紙を折りま

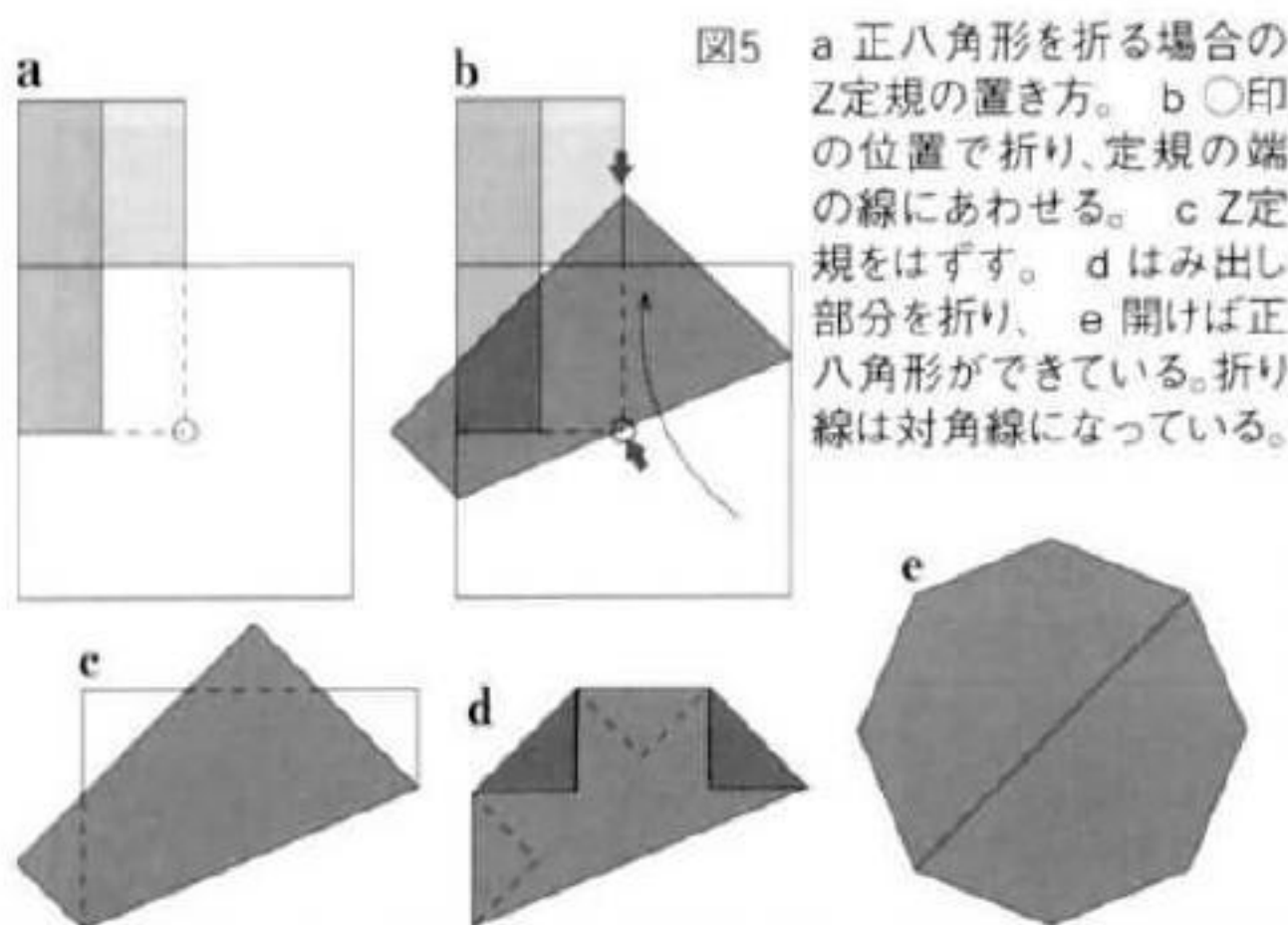


図5 a 正八角形を折る場合のZ定規の置き方。b ○印の位置で折り、定規の端の線にあわせる。c Z定規をはずす。d はみ出し部分を折り、e 開けば正八角形ができています。折り線は対角線になっている。

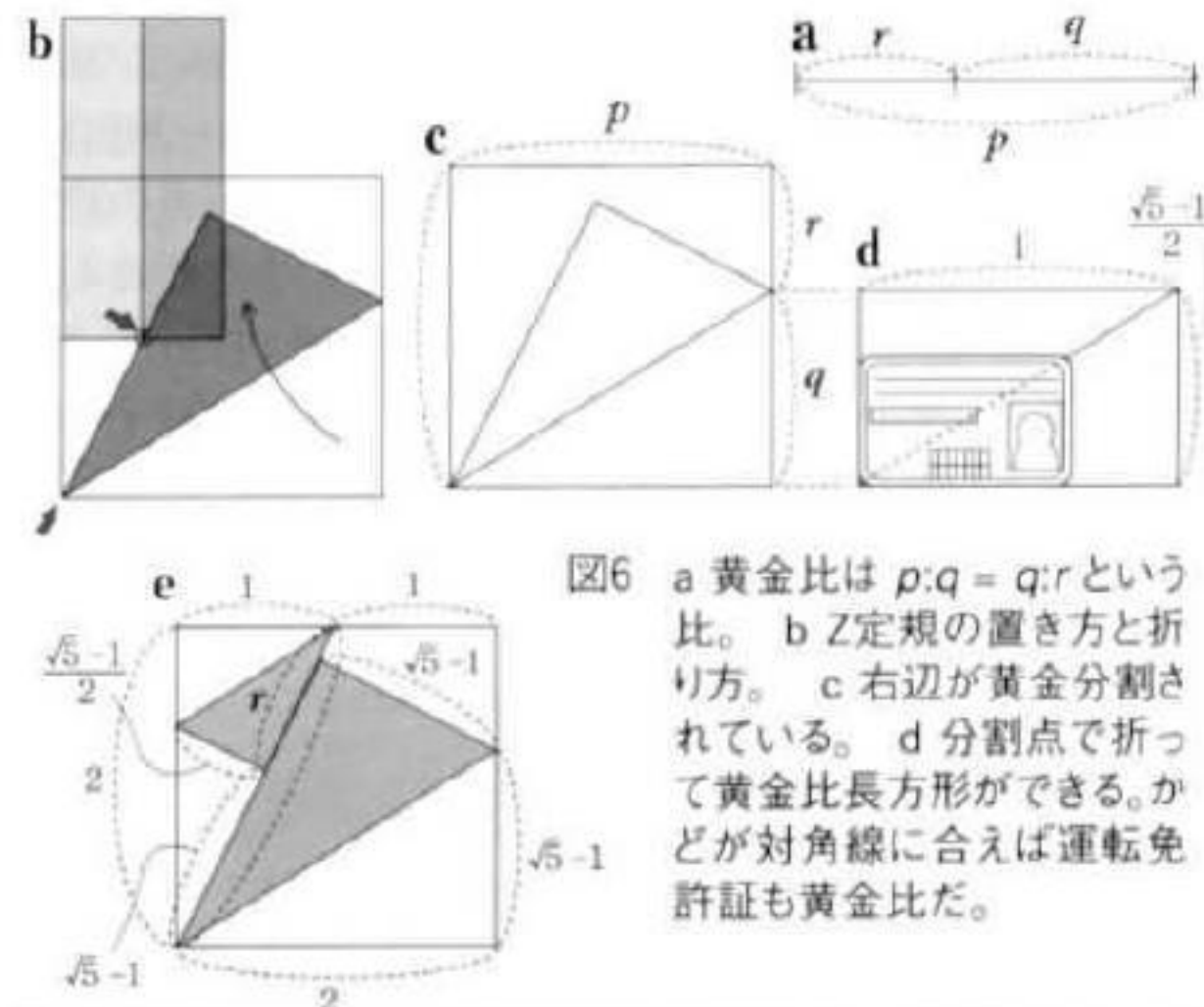


図6 a 黄金比は $p:q = q:r$ という比。b Z定規の置き方と折り方。c 右辺が黄金分割されている。d 分割点で折って黄金比長方形ができる。かどが対角線に合えば運転免許証も黄金比だ。

図7 黄金分割を使って内接最大の正五角形を折ることができる。

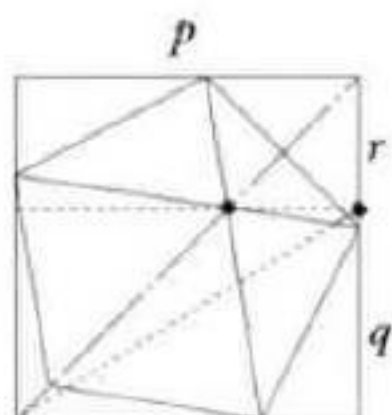


図8 正立正五角形は図7よりやや小さいが、正十二面体折りの基になる。この10本の線のどれか1本が折れれば、全部折れる。

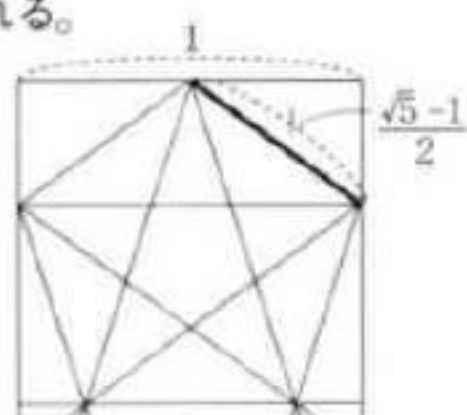
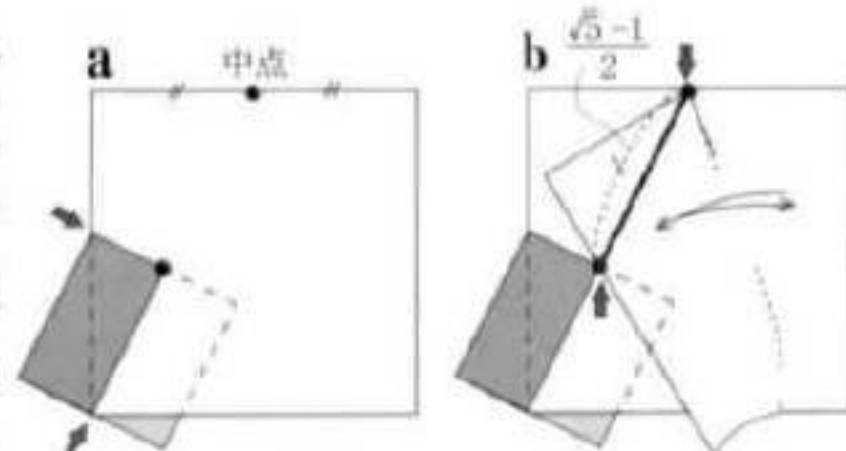


図9 正五角形の上右の辺(太線)を折るときZ定規の置き方(a、Z定規は横の中線で折って半分になっている)と折り方(b、太線だけを折る難度が高い折り方)。



折り紙資料館

2

Takagi Satoshi's the Origami Reference Room

高木 智

Takagi Satoshi

仮宅の遊女

— 溪斎英泉画の折り紙資料 —

今回も最近入手した資料をお目にか
け、作者の他の作品についても触
れてみる。

溪斎英泉画の大判浮世絵(藍摺絵)三
枚続き「仮宅の遊女」と仮称されるもので、
天保6~8年頃(1835~37)の制作と考えら
れている。

藍摺絵(あいすりえ)は、「紅嫌い」ととも
に、度々布告された奢侈禁止令に対抗す
るために考案された浮世絵の一技法で、
一色に見せて実は濃淡の藍を何度も重
ねるものである。文政12年(1829)、西洋よ
り輸入されたペロリン藍を使って、英泉が
団扇絵などを描いたのが涼し気であるこ
とから評判を呼んで、以後定着した。

タイトルの「仮宅」とは、吉原が火災など
で営業不可能な時、臨時に廓外での経
営が許可されたもので、大門内のしきたり
や規則に縛られず、やや自由がきくところ
から、いろいろな情景も見られた。この絵
は、妻海老屋の姿野、七人(ななひと)の
二人の花魁が、寿がのと、寿がその、寿が
うり、寿がゆふの四人の新造、ますげ、阿さ
じの二人の禿(かむろ)とともに、隅田川の
川床に出て、対岸の向島の三田稲荷を望

んで遊びをしているところである。

このうち左の一枚に描かれている禿の
阿さじが、おりがみにうち興じている。阿さ
じの周囲には、定番の「折り鶴」と「舟」が
置かれ、阿さじ自身は次の紙を折ってい
る。その折り様が、単に二つに折り畳んで
いるのではなく、左右から挟んで、紙の中
央を盛り上げるように折っているのが注目
される。その中央部分は、さらに二重に折
られており、立体か、より複雑なものを折っ
ていることを意図して描かれているようであ
る。しかし、見るかぎりでは、その完成形
は知る由もなく、おそらく画家もそこまでは
意識していないのであろう。



溪斎英泉は女絵の画家として知られ
ているが、おりがみを扱った作品
はあまり多くはない。わずかに大判錦絵
「御利生結ぶの縁日 白銀臺町」(化政
期=1804~29刊)に、茶店女の前垂れに
「折り鶴」と亀の絵を散らし書きしたもの、
為永春水作の人情本「春色恵の花」(天
保7年=1836刊)上巻の口絵にお蝶が「折
り鶴」を持ち、その前に姉様人形と紙、鋏を
置く姿(いずれも「折るころ」に掲載)、お
よび「艶画地色指南」(文政期=1820頃刊)
の一枚かと思される大判の春画で、腰元

が主人に迫られる図に「折り鶴」と紙、鋏が
置かれているもの(この絵は当然のことな
がら落款はないが、書き込みの文字の書
体からみても英泉であることは間違いな
いと思われる)の三点を家蔵しているほ
かは、大判錦絵の「東都名所見 浅草観
音」の女の着物の裾に「折り鶴」が散らさ
れているものを管見しているに過ぎない。
それだけに、今回の資料は、貴重なもの
となったわけであるが、その制作年次が
「春色恵の花」と同時期であることに興味
が湧く。

英泉は、大変な遊蕩児で廓に入り浸り
で、一時期は自ら根津に遊女屋を経営し
た程であったが、それだけに、廓内の絵
は綿密な写生であり、國貞の女絵が歌舞
伎の女形に取材したものであることをあ
ざ笑っていたというエピソードが伝わる程
の自信だったという。したがって「仮宅の
遊女」が写生であることは十分に考えら
れ、その内容の信憑性もかなり高いもので
あるといえよう。そのことは、禿がおりが
みで遊んでいるという貴重な絵を残す結果
となった。実際、遊女がおりがみを持ち、あ
るいは折っている絵は、鈴木春信画の「青
楼美人合」をはじめとして、けっして少な
くない。また、禿の着ている着物に折り鶴柄
が描かれていることも多い。が、禿がおり



▲「仮宅の遊女」 全景



▲部分図

○高木 智(たかぎ・さとし)＝昭和10年6月10日京都市生まれ。京都大学教育学部卒。昭和42年頃荒木京子に師事、折り紙を始める。現在日本折紙協会理事。著書に『古典にみる折り紙』他実用書多数。



がみを楽しんでいる姿は、山東京山の合巻『先読三国小女郎』(文化8年＝1811刊)に歌川國貞が挿し絵を描いているほかはちょっと思い当たらない。その挿し絵は、太夫が抱く嬰兒に「鶴を折ってあげるぞへ」といっている。



この絵の制作年代の判定について、まず藍摺絵であることから文政12年以降であることが分かりますと同時に、絵柄からも場所の設定がなされ、それが前述のとおりであるところから、隅田川端に仮宅の設置された時期として判断されたものと思われる。

その頃、彼は人情本作者の為永春水と深い交わりがあった。人情本といえど、今でいう少女小説で、春水は、草双紙や、読本とは違った形の口絵画家を求めているのが、女絵の画家である英泉とびたりと呼



▲「春色恵の花」



▲部分図

吸が合ったのだろう。そこで、『春色恵の花』が制作されたとき、英泉が口絵を描いた。

その主人公お蝶は可憐な少女である。したがって、当然、彼女はおりがみ遊びをすることとして描かれる。というのは、当時、國貞の描く『修紫田舎源氏』の表紙絵が空前の人気を呼んでおり、やがてその絵柄は源氏絵というジャンルを生んで、大判錦絵に書きかえられていく。一方、天明3年発行の第六巻には、おりがみを持った少女が描かれていて、未通の乙女を描くには、おりがみを持たせるという形もパターン化されていくのである。英泉がいかに

転換だったともいえる。なお、姉様人形が描かれているのは当時の処女表現におりがみとともに散見され、当時女の子の遊びとして流行していたものと思われる。



次に、大判錦絵「御利生結ぶの縁日 白銀臺町」は、清正公の門前の茶店の女が着けている前掛けに、数羽の「折り鶴」と亀を描いているもので、着物の柄として「松に鶴」はまことに多いが、「鶴亀」がセットになった図柄は多くない。これまで私の気付いた資料としては、喜多川歌麿の「書初」と題する大判錦絵三枚続き(見立て宝船の図、『古典にみる折り紙』、『折るころ』に掲載)に海中の亀と対比して描いているものくらいである。

『艶画地色指南』の一枚と目される春画には、完成した「折り鶴」が置かれていて、殿様に迫られる腰元が、「あれ、鶴が悪くなりますよ。」と逃げ口上に使っているが、年齢的には十代半ばに達しているようである。従ってこの「折り鶴」は、単なる遊びではなく、殿様に命じられて、実用のために作ったとも考えられる。



▲「御利生結ぶの縁日 白銀臺町」



▲部分図

▼「艶画地色指南」か 部分図



も少し

折紙散歩

前川淳の

第4回

Origami from Ancient Capital to Zen

表題は、Peter Engelさんの本「Origami from Angelfish to Zen」から取りました。「AからZまで」のAを、古都（ancient capital）にした、ということです。



筆者紹介＝東京生まれ。折紙創作・研究者。折鶴モノコレクター。「一足めのわらじ」は科学技術計算。阪神タイガースの熱狂的なファン。

The historic city Kyoto has many places related with Shinto and Buddhism. We can find "origami" and origami-like design senses there.

This article has been entitled after Peter Engel's "Origami from Angelfish to Zen."

稲荷なり

♪きょーとおー、山科、西野山。折紙紙に憑かれた男がひとりー。

てなわけで、今回は、インターネットの地名検索によって探り当てた、京都市山科の、その名も「おりがみ稲荷神社」の調査結果を中心に、本誌読者のために特化した京都名所案内をお贈りする。

以前この連載で、青森県大鰐町の折紙という集落に、小さな社・折紙八幡があることを紹介し、「世界でただひとつ、オリガミの名で呼ばれる宗教施設」と書いた。しかし、それは誤りだった。北の地にある折紙八幡が、折紙好きのロマンを刺激するのは変わらないが、神社仏閣といえば京都。あの京都を詳しく調べていなかったのである。

京都市山科、折上稲荷神社。冒頭「おりがみ稲荷神社」とひらがなで書いたが、正しくは「折上」と書く。由来書きではさらに字が異なっていて、「降り神」ではないかということだ。しかし、「おりがみ」は「おりがみ」。最寄り駅（市営地下鉄柳辻駅）の案内看板や、神社近くの信号機に「ORIGAMI」の字があるのを見ると、「やったー」という気持ちになるし、神社で求めた「学業成就、芸上達」のお守りは、折紙技術の向上に霊験がありそうだ。参拝した際は、わたしも気合いがはいり、ミニチュアの鳥居（この神社では、絵馬の代わりに鳥居を使う）に、「折紙界の発展」と書いて、奉納してきた。

これだけでもなかなかの話題だと思うのだが、話はまだ先がある。参拝の折りに、神社の宮司さんと話をする機会に恵まれたのだが、会話が進むうちに、「三嶋大社に折紙神像（注）を求めに行ってきました」とか、新聞の切り抜きを示して「このひと（吉澤章さん）の展覧会に行きました」とか、果ては、「インターネットで折紙について調べてみたのですが、カブトム

シの飛んでいるものなど、たいへんなものですねえ」とかいう話題がでてきたのである。宮司さんは、最近神職についたばかりでまだお若いかなのだが、折紙の世界がどういうものかは暗中模索ながらも、社名の縁で、かねてから折紙に興味を持っていたのである。神社では最近、長年途絶えていたお神輿を復活させたそうだが、それに折紙の飾りを使いたいという希望もあるという。「鳳凰や干支、いくらでも凝ったものができます」と応じたところ、「折紙神輿」がすぐにでも実現しそうな勢いがあった。なお、「折紙神輿」と言っても、全部紙でつくるわけではない。軽くて担いだ気がしないだろうし…。

境内には、地域の子供たちが集まる児童館もあり、そこでの折紙の扱いにも大いに興味がある、といった話もあり、とりあえずわたしは、狐と鳥居の折紙作品を奉納する約束をし、また、折紙探偵団関西友の会のメンバーにも接触を取るように頼んだので、折上稲荷神社、今後の展開が楽しみなことになっているのだ。



折上稲荷神社と神社近くの信号
Origami Inari shrine and a traffic signal nearby

神の紙

折上稲荷神社は大きなトピックだったが、京都にはまだいろいろと面白いところがあるので、駆け足でそれらを紹介しよう。

折上稲荷神社とも関係が深い、稲荷の総元締め、伏見稲荷大社。大社の東に位置する稲荷山は、全山に鳥居が並ぶ一種独特の庶民信仰の場である。その稲荷山に少しはいったところに、神宝(しんぼう)神社という社がある。この神社に奉納するのは鳥居でも絵馬でもない。千代紙でつくった人形だ。これはかなり珍しい。

紙でつくった細工物と言え、御所の蛤御門前にある、和氣清麻呂公を奉った護王神社の猪の紙絵馬もそうだ。同神社には、紙絵馬のほかにも小さな紙の猪もあり、紙垂と共に竹串につけて、ご神木の下に奉納する習わしになっている。神宝神社の「叶ひ雛」とともに、いつごろから始まったのかは不明だが(そう古くはないと思われる)、他ではあまり見られない折り紙的な奉納物である。

木でつくった普通の絵馬では、伏見稲荷大社のすぐ横にある東丸(あずま丸)

神社に注目したい。同社には、折鶴の描かれた絵馬があり(案外珍しい)、折鶴好きには見逃せない。



神宝神社の叶ひ雛と護王神社の紙絵馬
Votive dolls of Shinpo shrine and
votive cards of Go-oh shrine

庭には

1200年の都を2000字で手短かに紹介するのはもったいないのだが、次は庭園である。京都に名苑が多いのはよく知られているが、中でもぜひ訪れて欲しいのは東福寺である。方丈(僧院長の居所)を囲む枯山水の庭園は、昭和の作庭だそうだが、名苑の誉れ高いもので、とりわけ北側の庭が折紙者の琴線に触れる。それは、苔と石からなる、折り紙を散らしたような意匠で、秩序から無秩序への変移の幾何学は、見ていて飽きることがない。

同じく東福寺の一角にある芬陀院(ふんだいん)。そこには、画聖・雪舟の作庭と伝えられる庭があり、寺の解説書に注

目すべき記述がある。

曰く、「鶴島は折鶴を表徴させております」

雪舟と折鶴は時代的には合わないはずであり、「折鶴」は単に「鶴」の誤植なのかもしれない。しかし、「これが鶴か。どこが鶴なんだ。」などと考え、縁に座って鶴島と亀島を眺めていると、「鶴であってなくてもいいか」という気分になる。つまり、心が軽くなるというか、風景の力を感じる庭なのである。

折鶴と庭園ということでは、平安神宮の御苑に、「折鶴」という品種の杜若もある。残念ながら、これはまだ見る機会を得

折紙辞典

折紙神像 【おりがみしんぞう】名詞

静岡県三島市の三嶋大社で入手できる、畳紙の中にはいった恵比寿と大黒天の像。内山光弘氏考案で、折り手は中西康夫氏。

いくらでも凝ったもの 【いくらでもこったもの】名詞

ここで言う「いくらでも」の「いくら」は、時間と技術に関することで、値段のことではない。タラちゃんの親戚でもない。なお、「ばぶ」しか言わない(正確に言えば、イクラちゃんは他の言葉も発するらしい)年齢にとって、折り紙用紙はやぶくものである。

季刊『をる』幻の第2号 【きかん『をる』まぼろしのだいにごう】名詞

季刊『をる』16冊のうち、在庫のない号。雑誌の第2号というのは、部数を減らすことがあるためと思われる。



東福寺 方丈内苑 北庭
The north garden of Hojo (abbot's
hall) in Tofukuji temple



東福寺 芬陀院 内苑 鶴島と亀島
The crane islet and the turtle islet
in the garden of Hundain in Tofukuji
temple

ていないが。

このように、京都は奥が深い。京都文化博物館にある紙ショップ・楽紙館に、季刊『をる』のバックナンバーが揃っていたりするの、侮れないところである。ただ、さすがの京都にも幻の第2号(注)はなかった。

■秋の憂いを強くおびた風景が、次第に冬へと移り変わってゆきます。おちついた色彩と端整な表情でありながら、シオンは力強い精神をも内に秘めているかのようです。

■今回のびっくり箱作品からは、華やかで洗練された「和」の雰囲気を感じられます。インサイドアウトによる色彩のコントラストで、鮮烈に迫ってくるようなデザインが実現されました。

■わき出るような生命力を難解な作品に盛り込む作風で、世界的に人気の高いラング氏。本誌63号表紙のヘルクレスオオカブト(神谷哲史氏作)にひきつづき、重厚で威厳にみちたゴホンゾノカブトムシの飛び姿を披露してくれました。

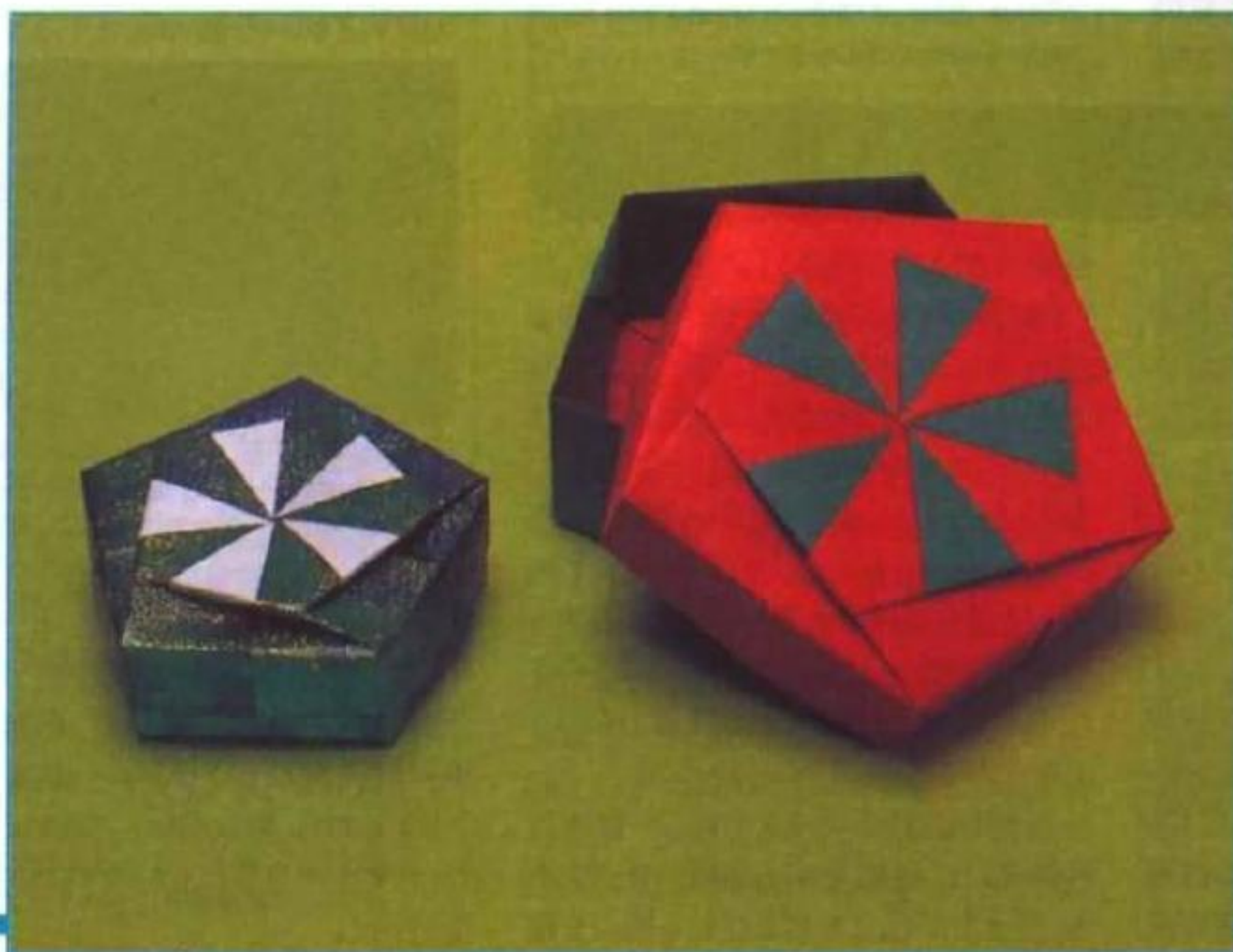
■今年の折紙探偵団コンペションでは、バルマー氏の幾何作品が多数展示されました。印象的な立体作品群のなかから、内部に小物を包むパッケージとして使用できるものをいくつか紹介します。



「シオン」作:田中具子(P.8)

Asters : Tanaka Tomoko (P.8)

■平安時代から栽培され続け、名実ともに秋の花の代表格と言えるシオン。作例では平面の色紙の中に、多数の花を立体的なイメージで効果的に配置しています。これを参考にして、さまざまに試行錯誤してみましょう。



「五角箱・十(プラス)シリーズ」
作:布施知子(P.4)

A Pentagonal Box : + Series
: Fuse Tomoko (P.4)

■蓋の象眼のような模様は、木の実や花、野菜の切り口などを連想させます。配色の工夫や用紙の選択によってどんな新しい表情を見せてくれるか、とても楽しい作品ですね。

「ゴホンツノカブト」

作：ロバート・J・ラング(アメリカ)(P.22)

折り手：羽鳥昌男

Eupatorus Gracilicornus

: Design / Robert J. Lang (U.S.A) (P.22)

Fold / Hatori Masao

■今回の作例は、世界でも有数の折り技術で注目される羽鳥氏によるもの。脚の先まで繊細に調整された緊張感が、和紙ならではの柔らかい色調と相まって、磨き抜かれた宝石のような存在感を醸し出しています。作者と折り手、第一人者同士のコラボレーションをご堪能ください。



左)「十放射型多面体ポーチ(星型ドームシリーズ)」

中)「多面体ポーチ・キング(四放射星形アーチ反復型)」

右)「八面体ポーチ バージョン2」

作:クリス・K・パルマー(アメリカ)(P.33)

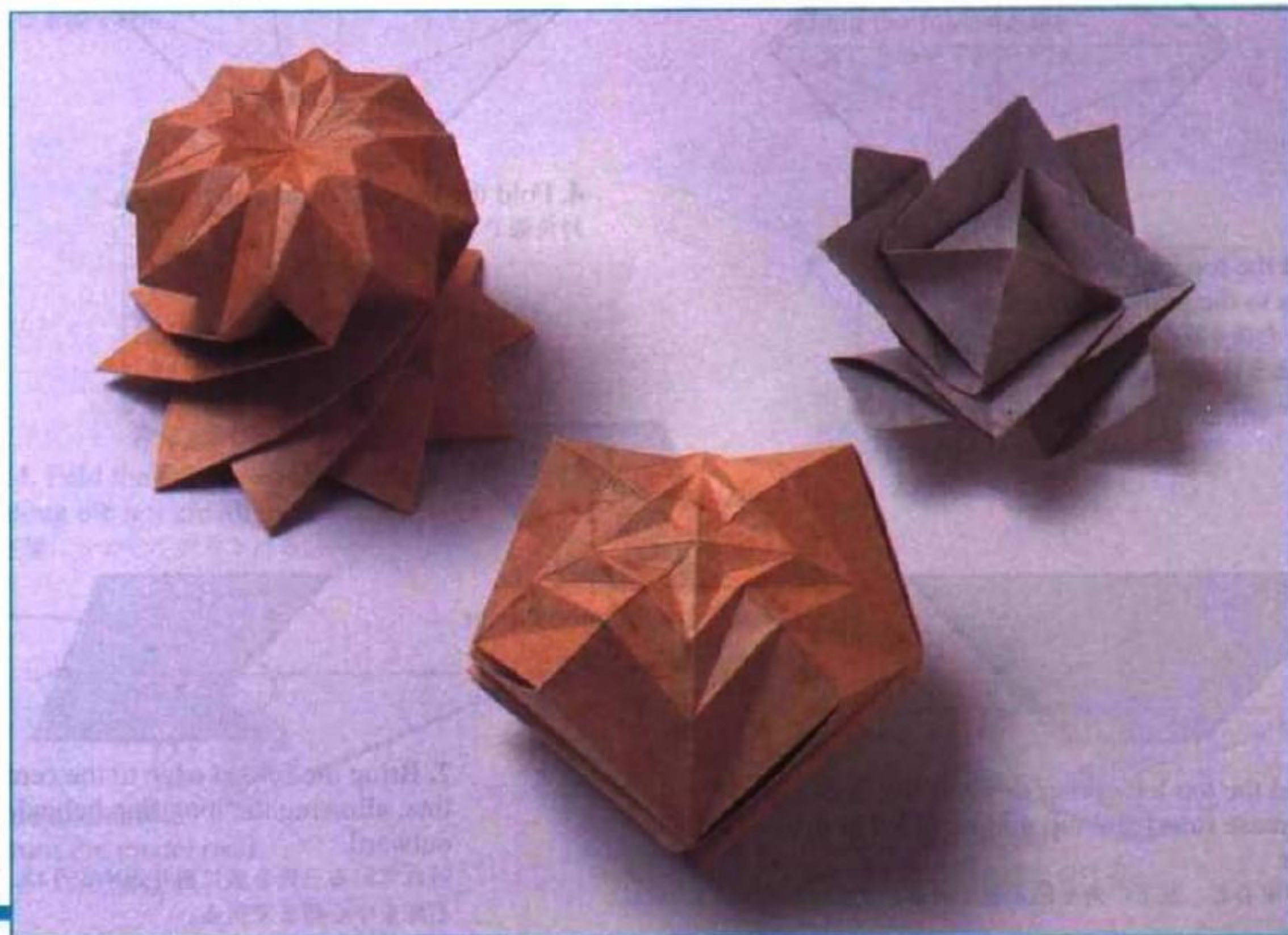
Left: 10-fold PolyPouch (Stellated Dome Series)

Middle: King PolyPouch (Stellated Arches Recursion, 4-fold)

Right: Octahedron PolyPouch V.2

: Chris K. Palmer (U.S.A) (P.33)

■正多角形の用紙をねじり折りすることにより、非常にモダンな包装が生まれました。緻密に計算された折り線がシャープな陰影をかたちづくり、さらに紙の質感を存分に引き出すことにも成功しています。



Eupatorus gracilicornus

Designed by Robert J. Lang

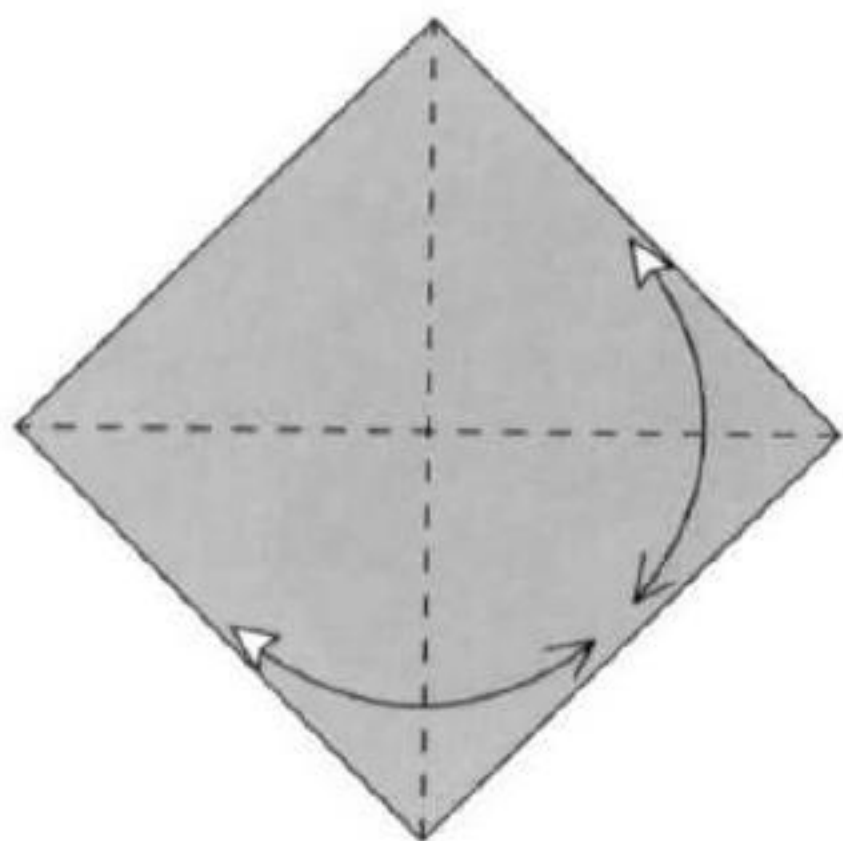
Copyright ©1999. All rights reserved.

Translated by Tateishi Koichi

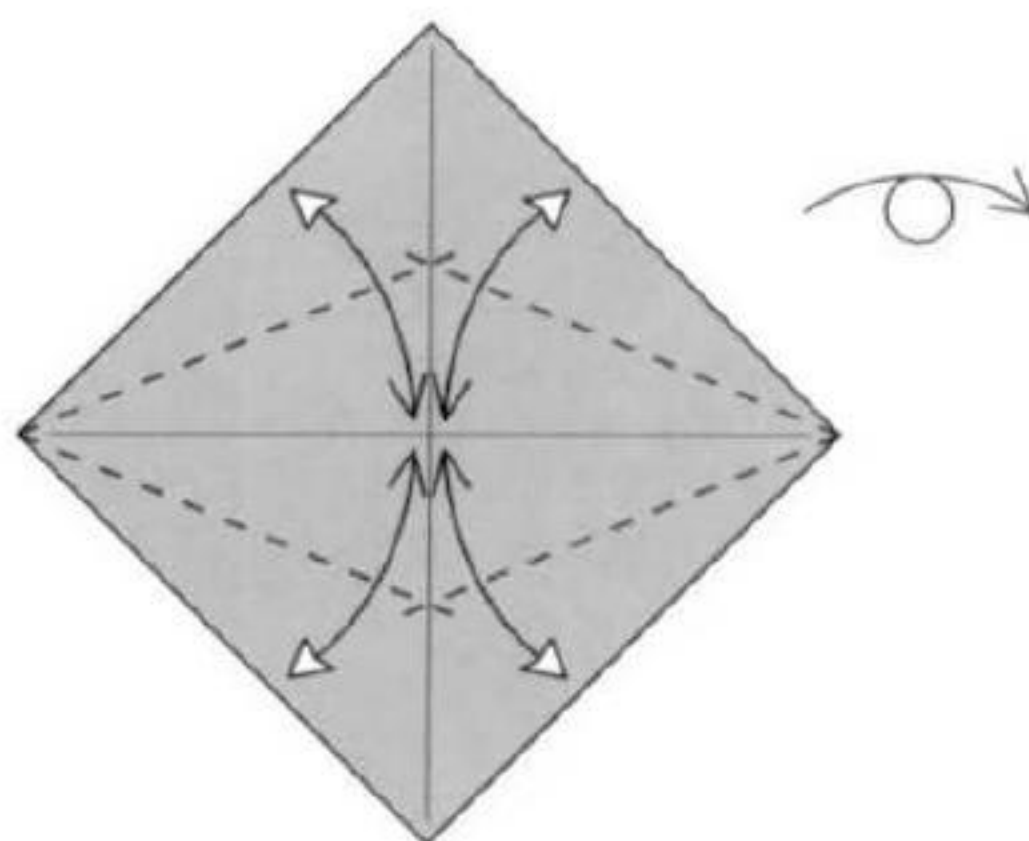
ゴホンツノカブト

創作・折り図：ロバート・J・ラング

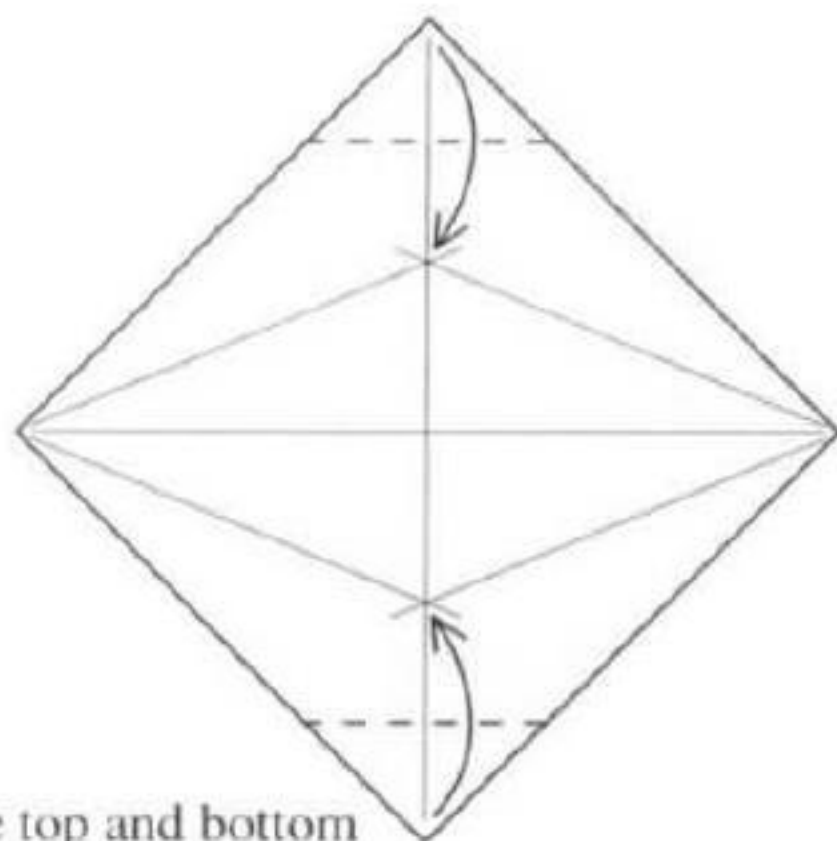
訳：立石浩一



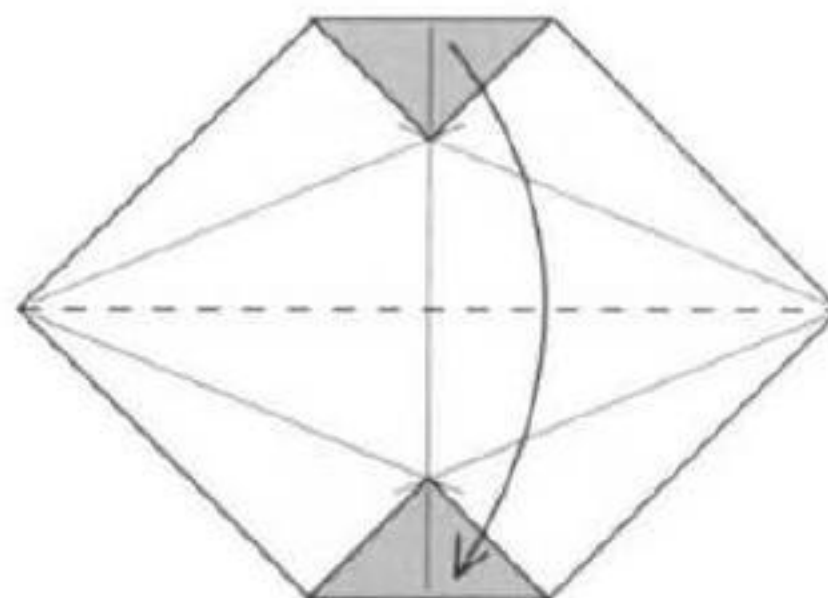
1. Begin with a square, colored side up.
Fold and unfold along both diagonals.
色面を上にして、対角線に折り目をつける。



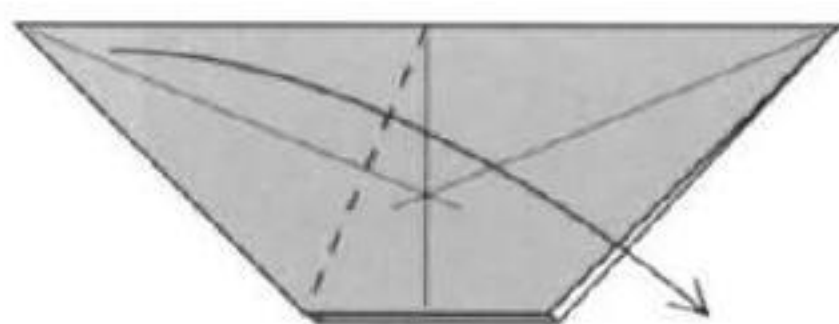
2. Fold and unfold along angle bisectors,
both top and bottom. Then turn the paper over.
角を2等分する折り目を上下4箇所につけ、裏返す。



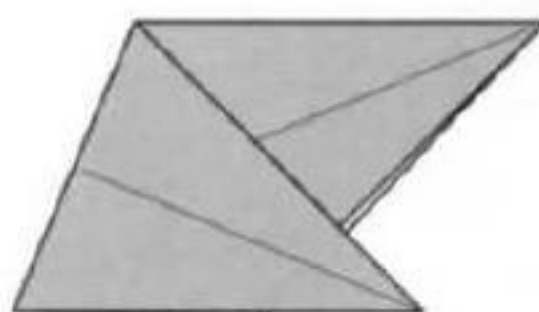
3. Fold the top and bottom
corners to the point intersections.
2で折った折り線の交点と上下の角が
接するように折る。



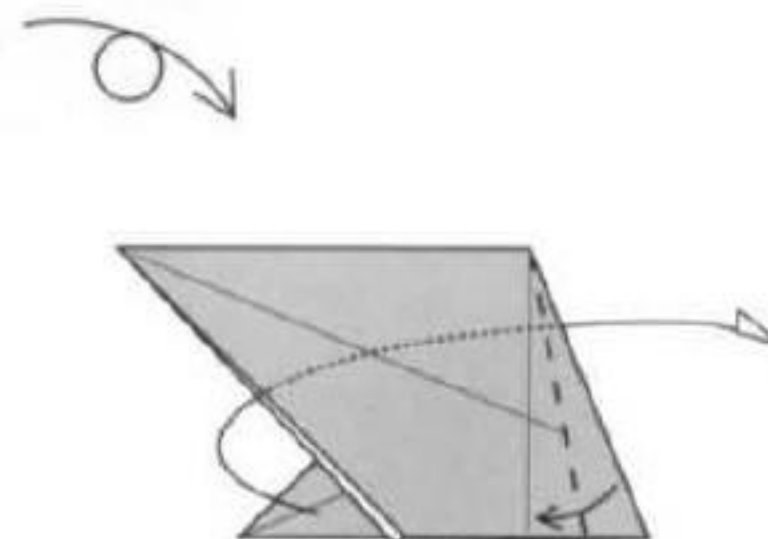
4. Fold the top half of the paper down.
対角線で半分に折る。



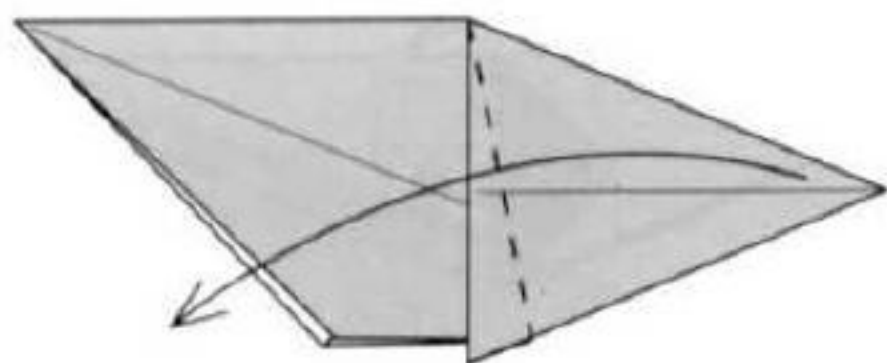
5. Fold the top left corner down to the right.
The crease runs from top middle to lower left
corner.
上辺の中心と、左下の角を結ぶ線で折る。



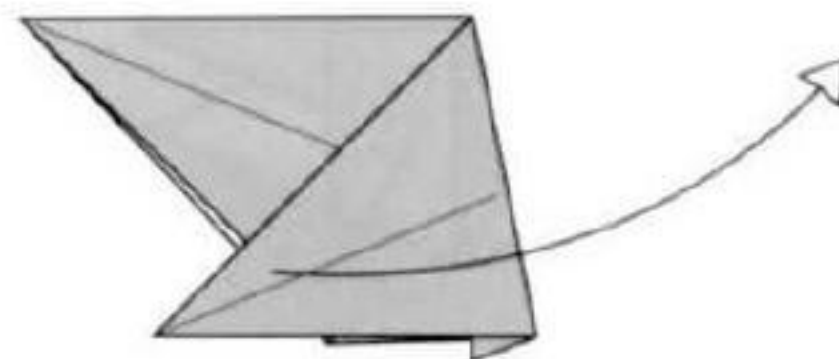
6. Turn the model over.
裏返す。



7. Bring the folded edge to the center
line, allowing the long flap behind to flip
outward.
隠れている三角を表に折り返すように、
右縁を中心線まで折る。



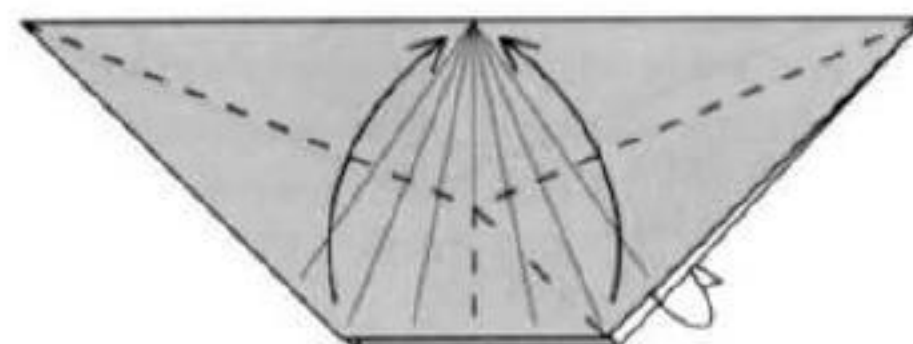
8. Fold the flap back down to the left. The crease lies on top of a folded edge.
後ろ側に隠れている縁に合わせて左に折る。



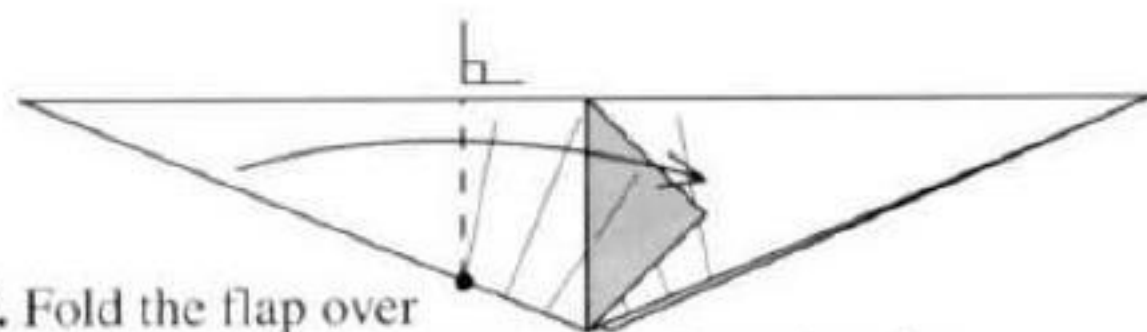
9. Unfold to step 5.
5の形に戻す。



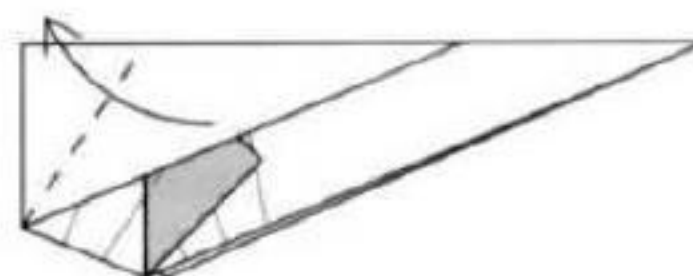
10. Repeat steps 5-9.
反対側で5-9をくり返す。



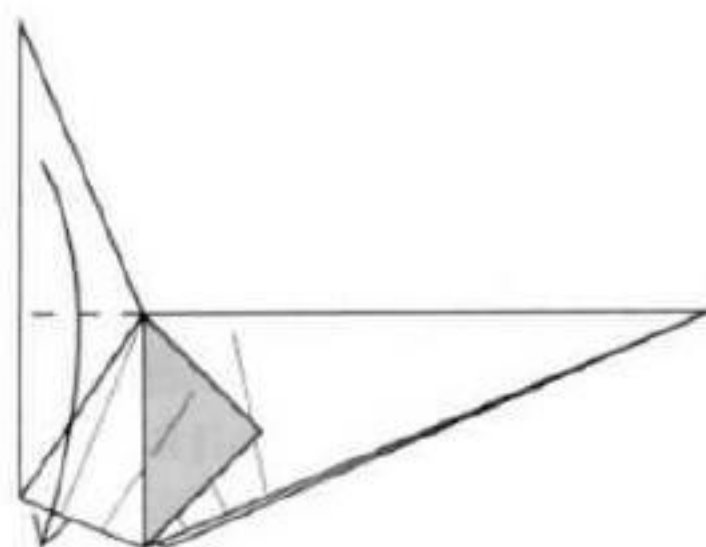
11. Fold a rabbit ear, using the existing creases. The rabbit ear on the back side points in the same direction as the one on the front.
付いている折り線を利用して、つまみ折りの要領で。「つまみ」の三角形は表裏同じ方向に出す。



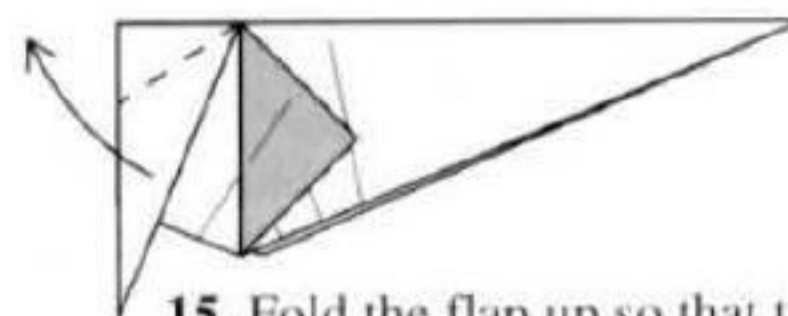
12. Fold the flap over the right along a vertical crease. Note that the crease hits the bottom edge at an existing crease.
付いている最も左の折り目の下端を起点とする上辺と直角になる線で折る。



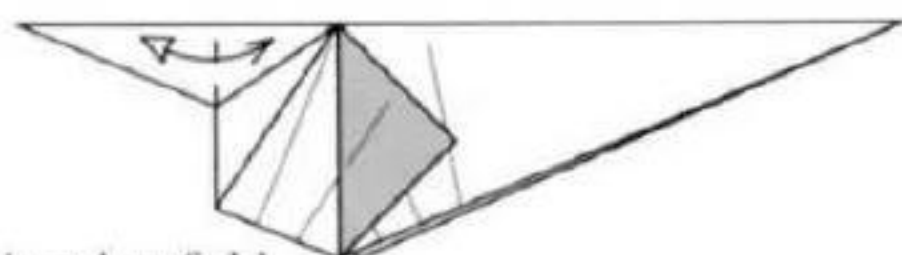
13. Fold the flap up so that its edge aligns along the folded edge.
左縁に合わせて折り上げる。



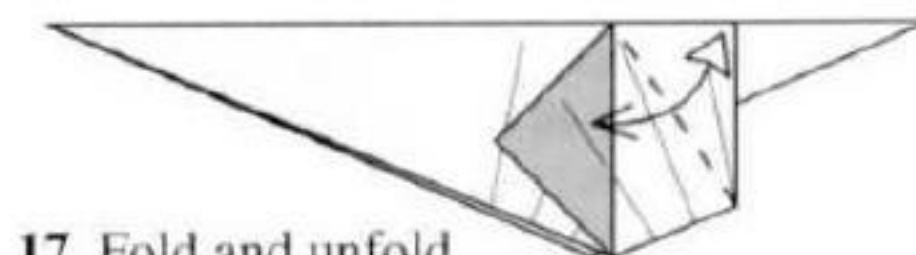
14. Fold the flap down so that the edges along the left are aligned.
左縁に合わせて折り下げる。



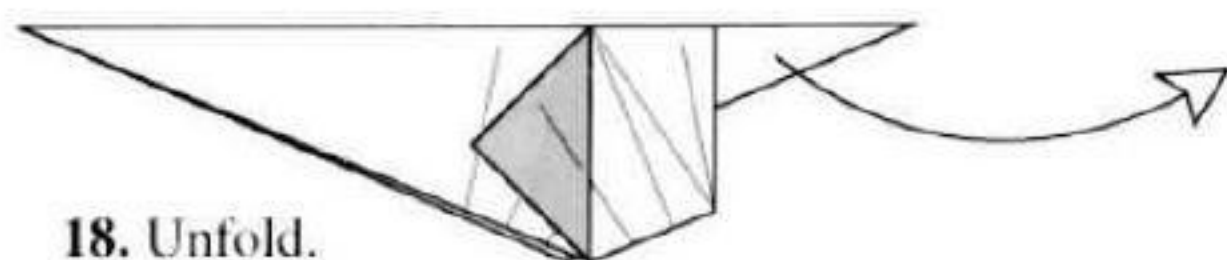
15. Fold the flap up so that the top edges are aligned.
上縁に合わせて折り上げる。



16. Fold and unfold. Then turn the model over.
折り線をつけて裏返す。

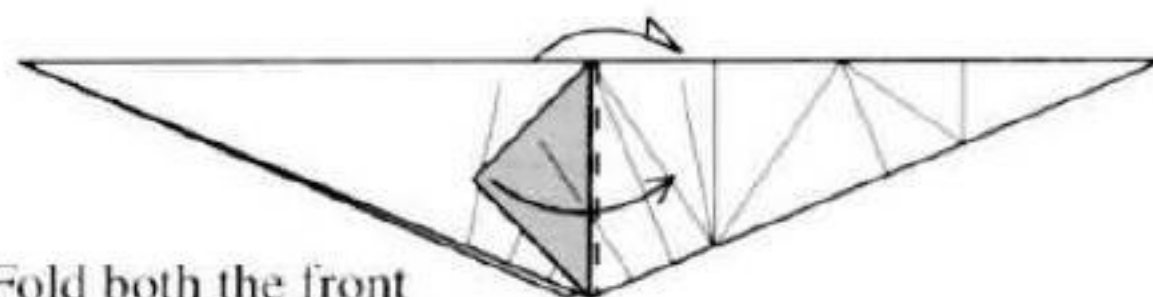


17. Fold and unfold.
角と角を結ぶ折り線をつける。



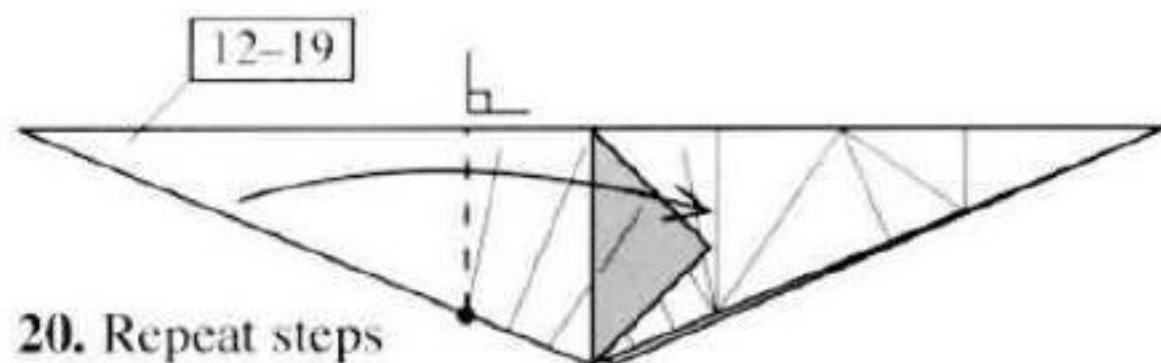
18. Unfold.

12の形まで戻す。



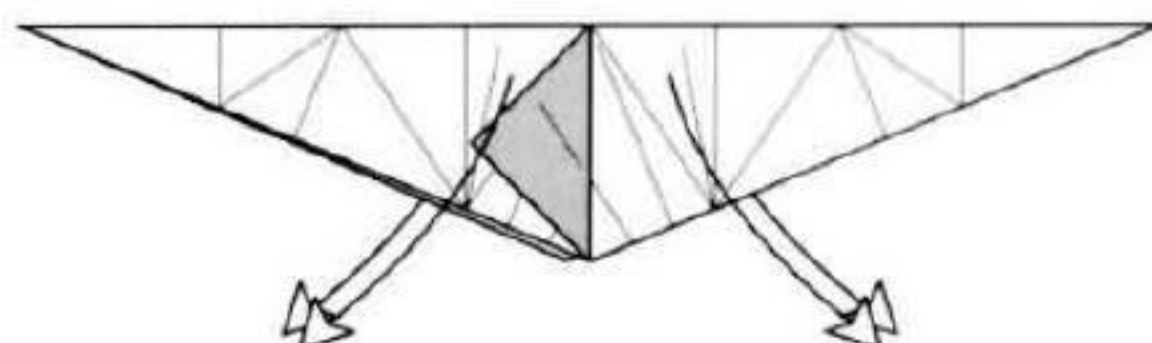
19. Fold both the front and rear flaps to the right.

色の付いた三角形を表裏とも右に折り返す。



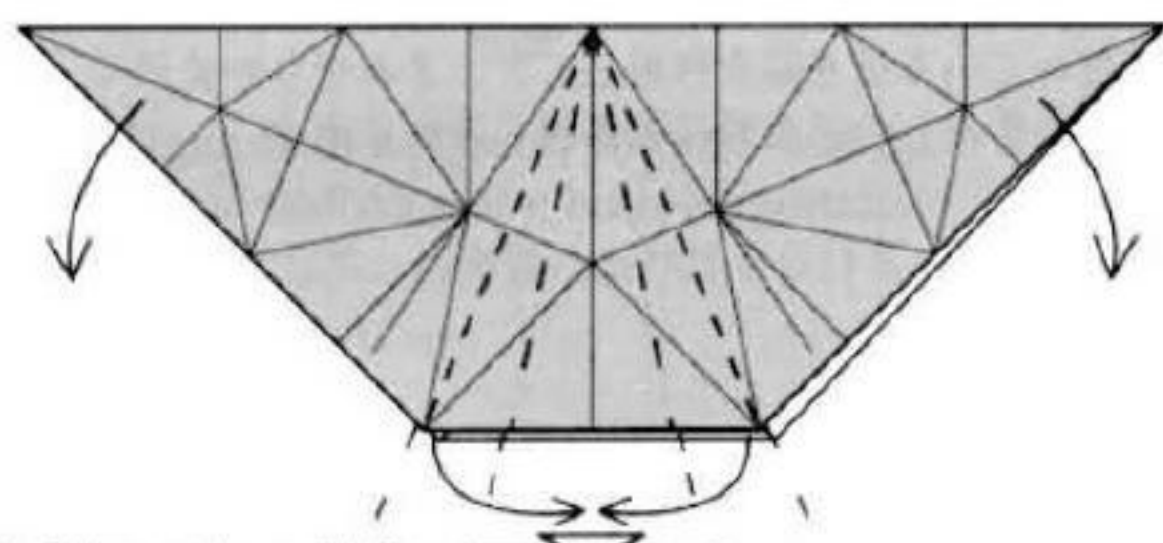
20. Repeat steps 12-19 on the left.

反対側で12-19をくり返す。



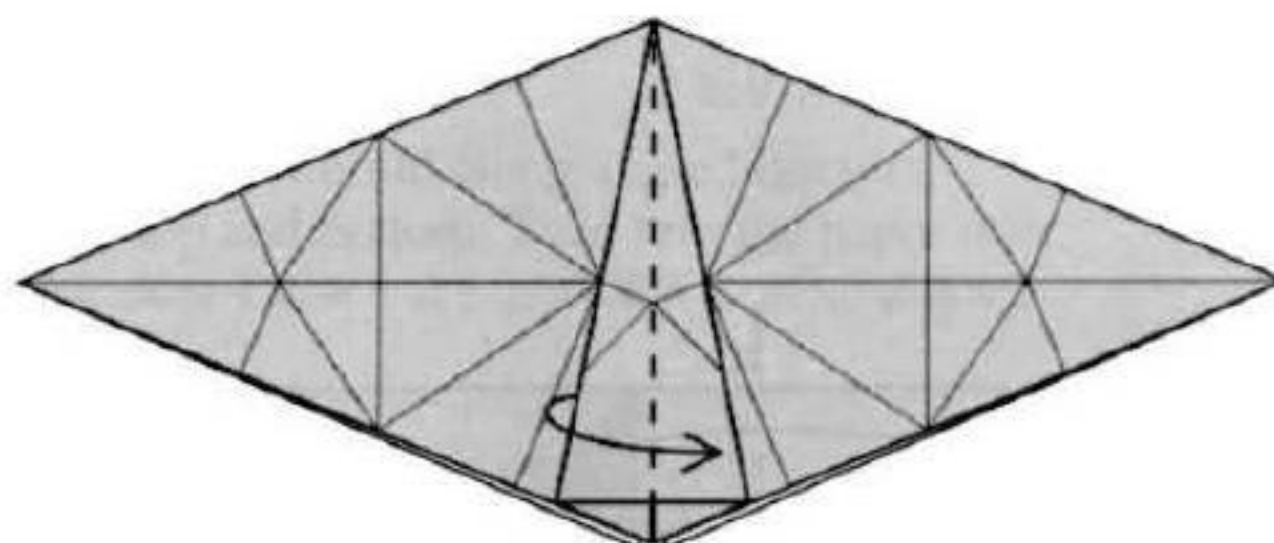
21. Unfold the rabbit ear. Repeat behind.

11の形まで戻す。



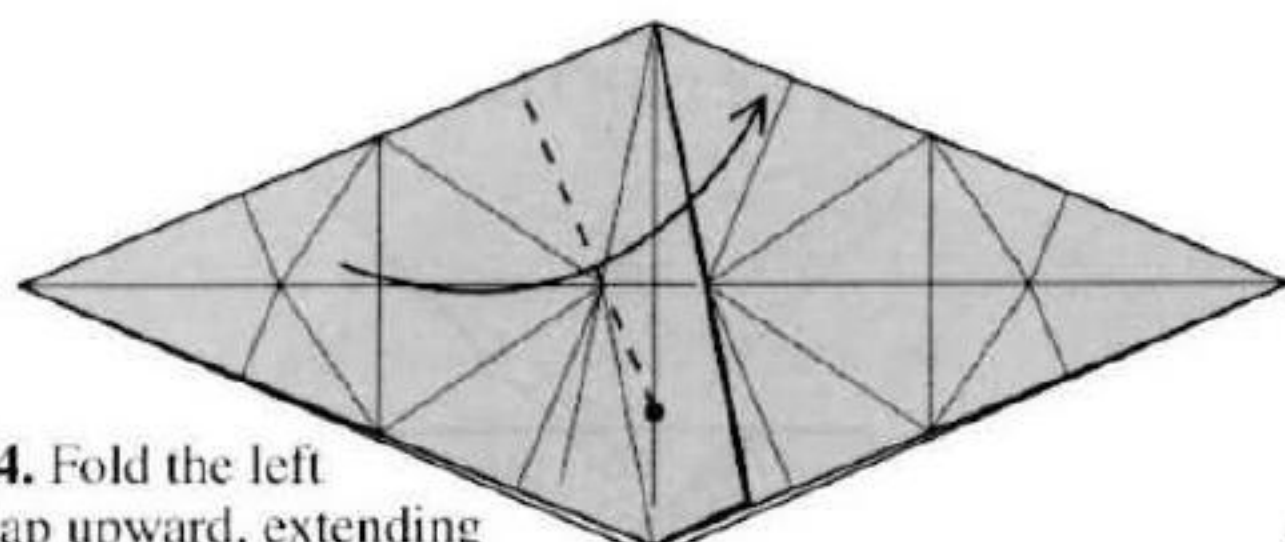
22. Crimp the middle of the model using the existing creases.

付いている折り線を使って段折り。



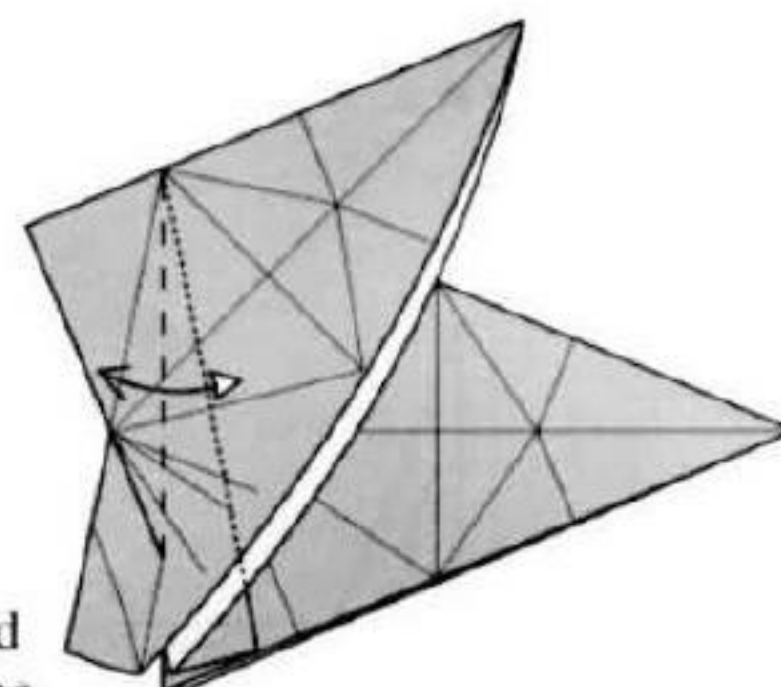
23. Fold one layer to the right.

一番上の層を右に折る。



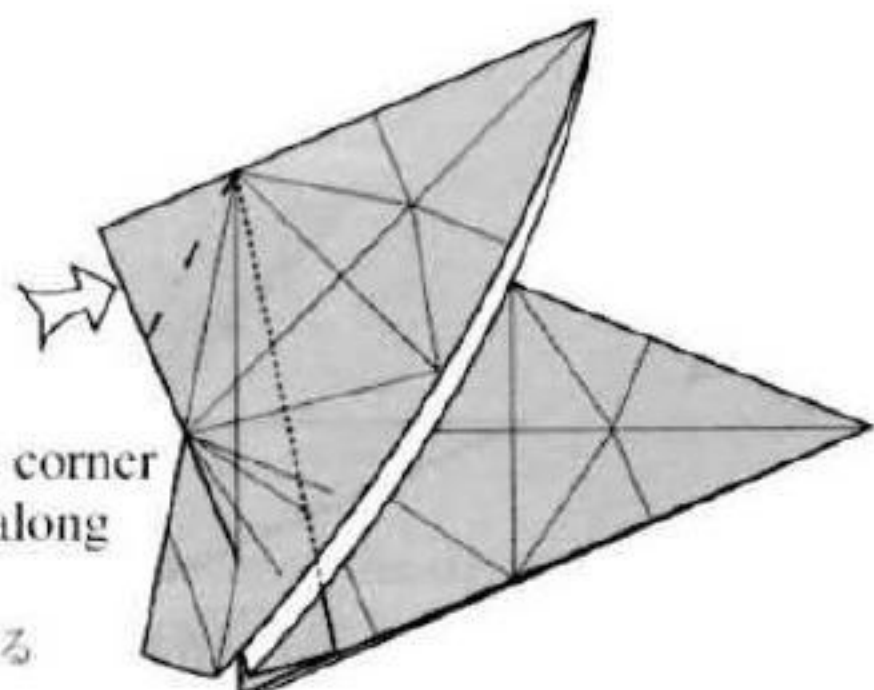
24. Fold the left flap upward, extending an existing crease to the center line.

The bottom of the model will not lie flat.
既にある折り線を使って、中線に接するところまで折る。下側は平面にはならない。



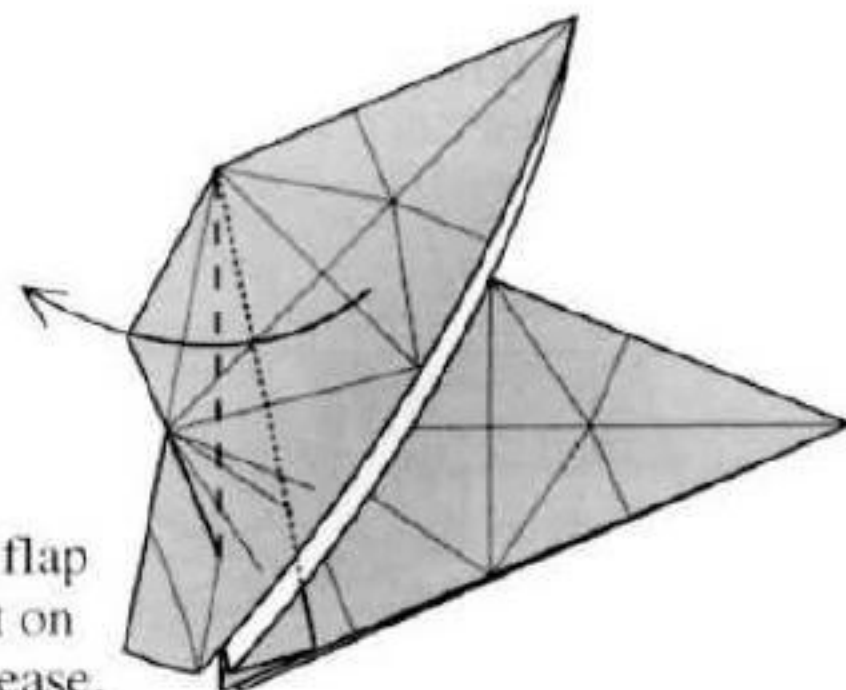
25. Fold and unfold along the center line.

中線のあったところで折り線をつける。



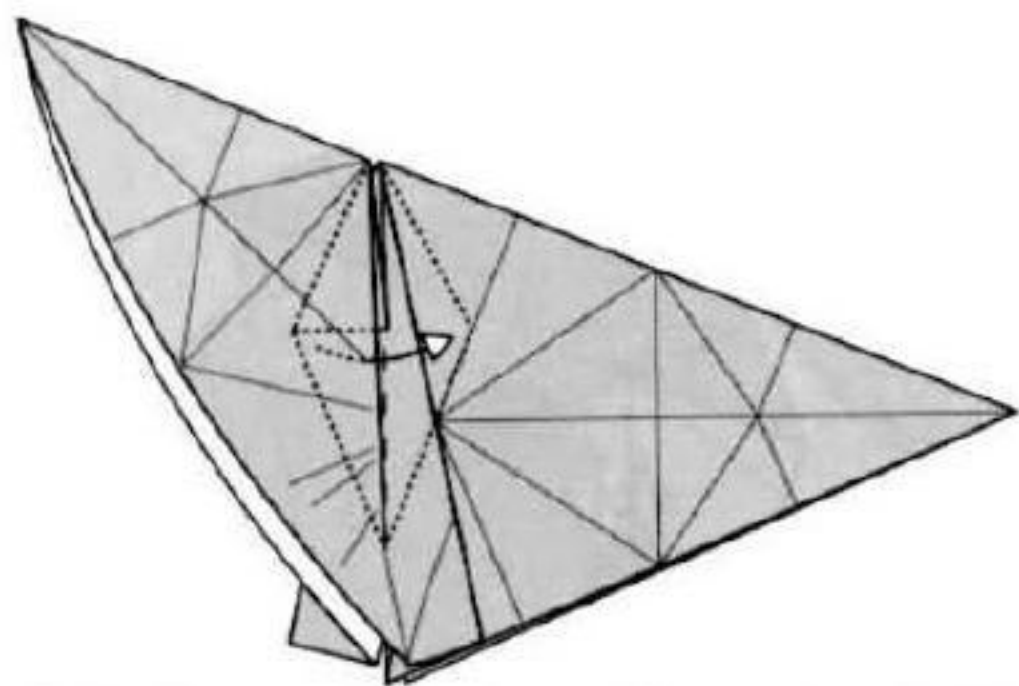
26. Reverse-fold the corner so that its edges lie along the center line.

縁が25の折り線に接するように中割り折り。

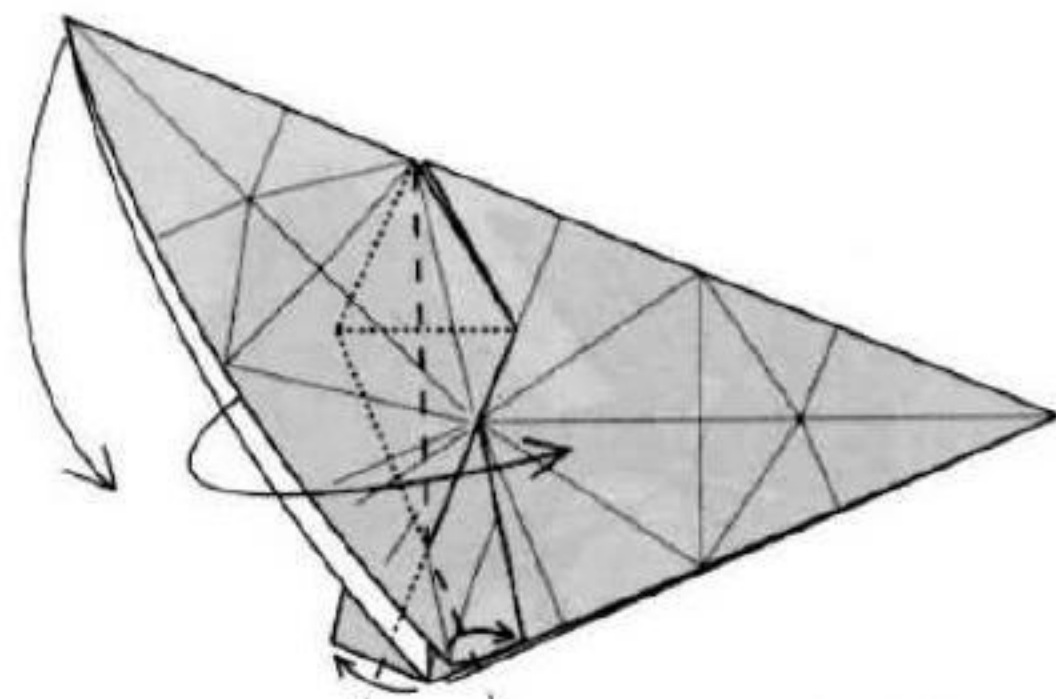


27. Swing the flap over to the left on the existing crease.

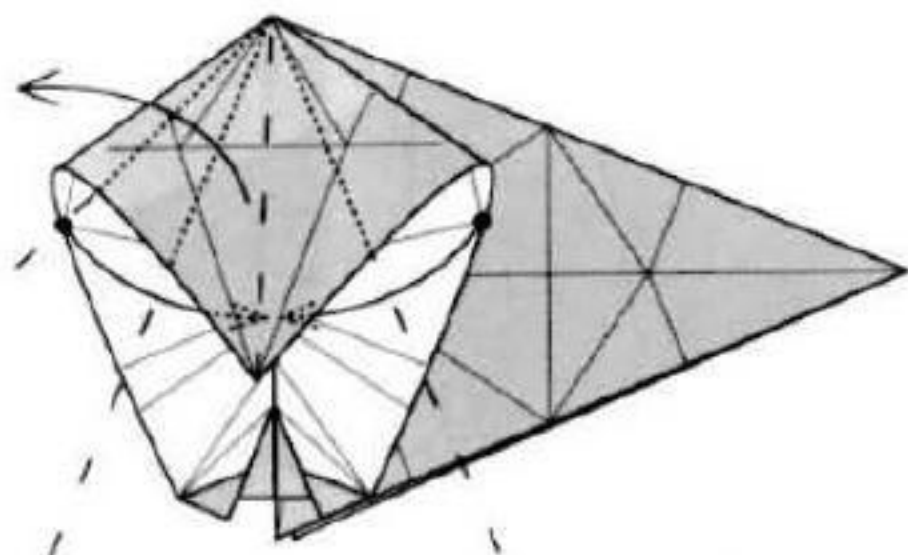
25の折り線で左に折り返す。



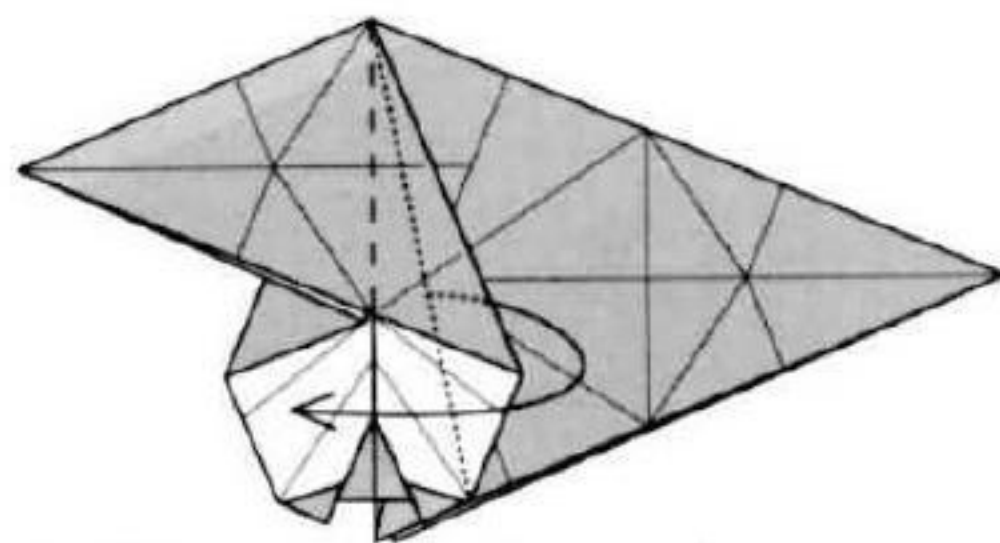
28. Pull out a single layer of paper(un-sink).
裏に隠れている紙を引き出す。



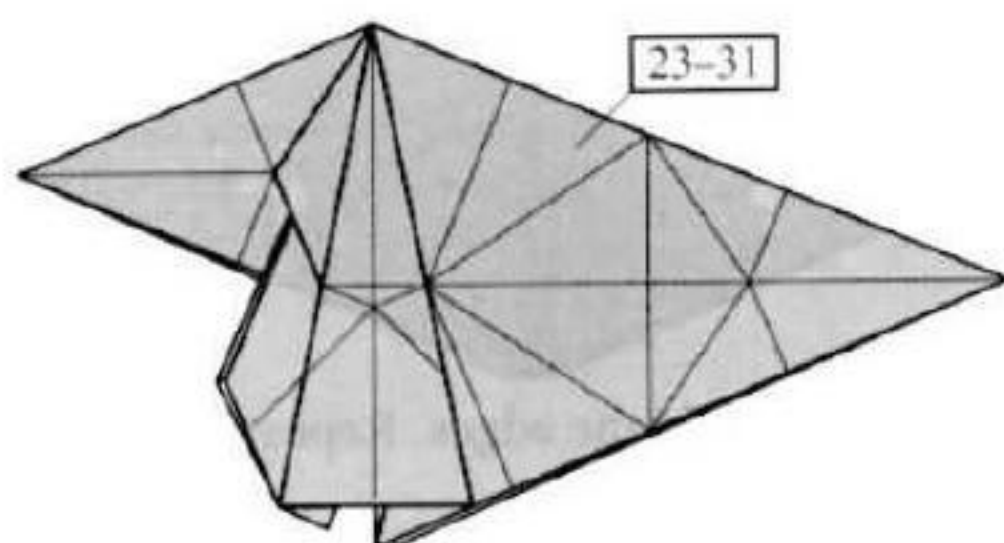
29. Spread the bottom corners to the sides and flatten them; simultaneously, partially squash-fold the upper flap downward, but don't flatten it.
下側の角を、折り返して、横の角に接するように開く。
上側は中線を軸にして開く。まだつぶさない。



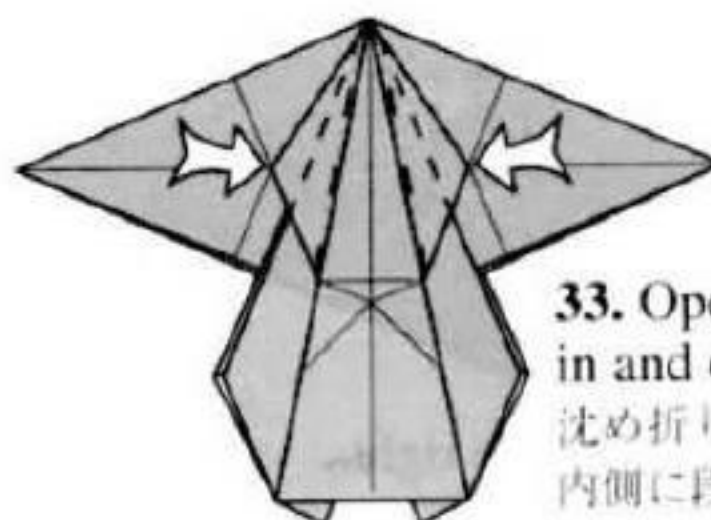
30. Mountain-fold the top flap in half and swing it over to the left which bringing the two marked points together in the middle of the model.
中線を出折りしながら、●の点が中央で接するように畳んで左側に畳んでつぶす。



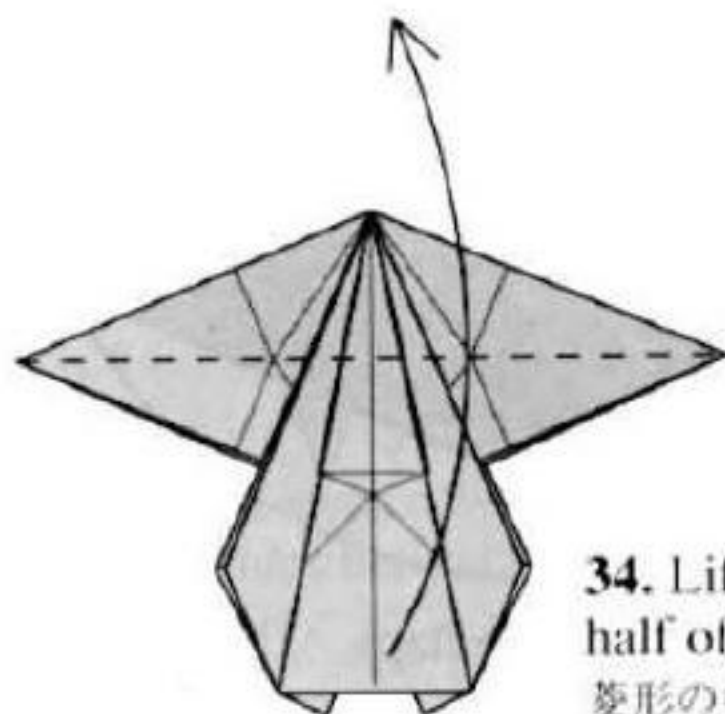
31. Fold two (of three) narrow layers over to the left.
2層分左に折り返す。



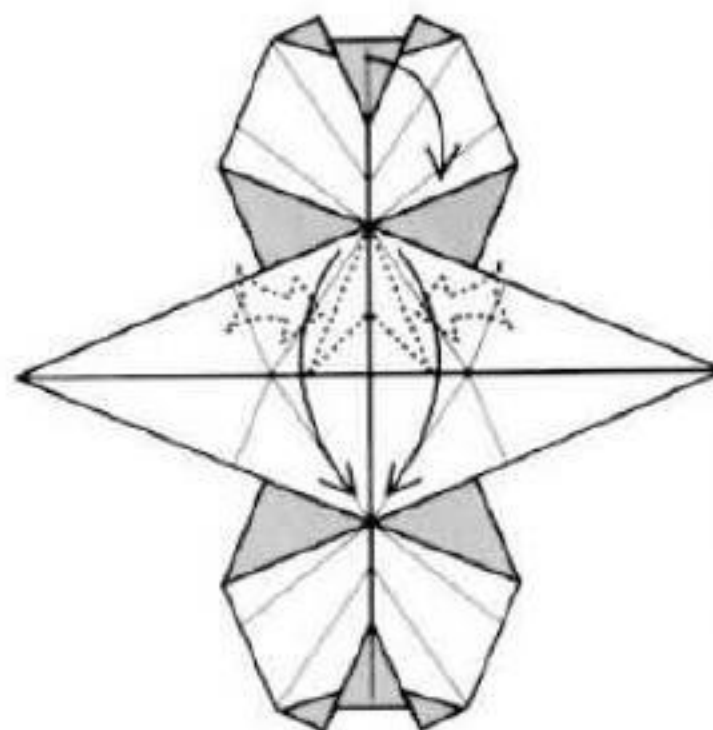
32. Repeat steps 23-31 on the right.
右側でも23-31をくり返す。



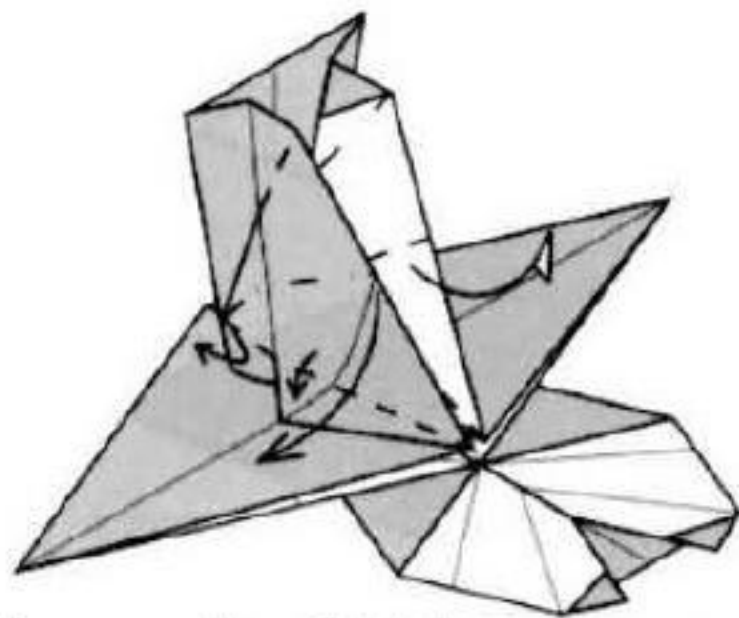
33. Open-sink the corners in and out. Repeat behind.
沈め折り(OPEN)をくり返して内側に段を作る。後ろ側も同じ。



34. Lift up the near half of the model.
菱形の中央で上に折る。

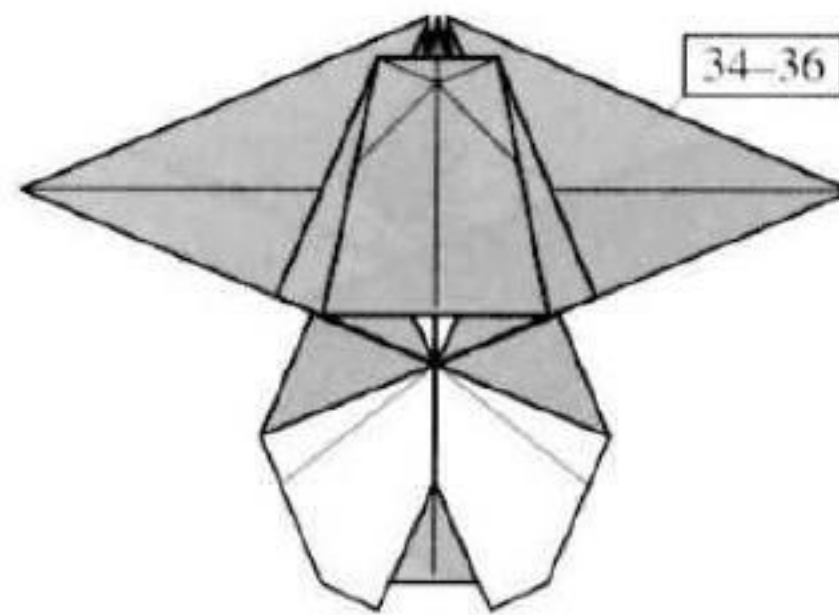


35. Fold two raw edges down and squash the edges underneath; the top flap will swing down to make a right angle with the rest of the model.
34で折った菱形の上半分の紙を下に折る。この時下にある部分をつぶして上半分が下半分に対して直角に立つようにする。

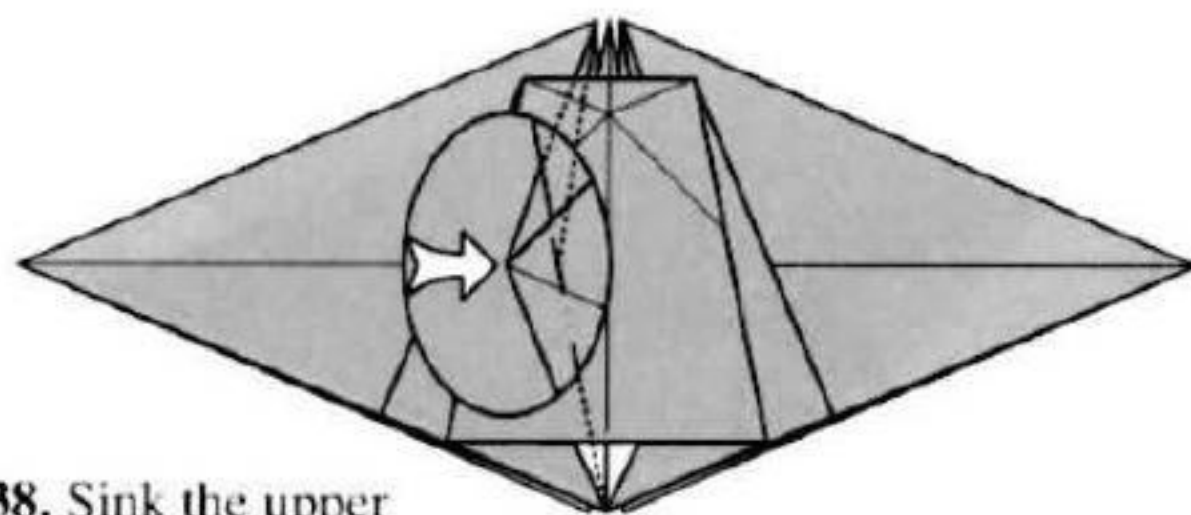


36. Form a valley fold along the center line on each side. Pull the sides out to the side and bring the upward-point flap down; the two top corners come together and all the edges align at the bottom. Flatten the model.

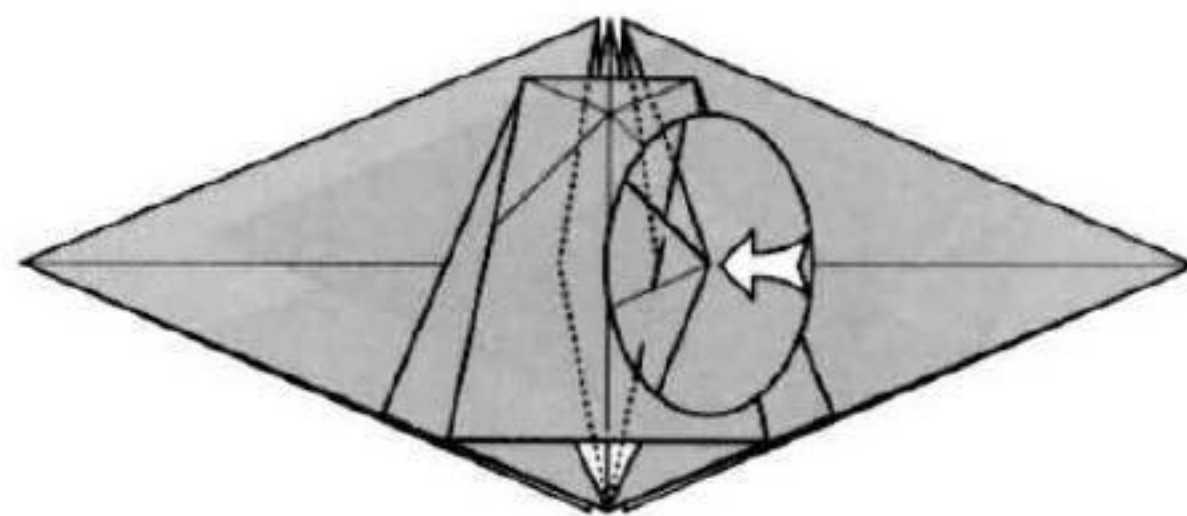
中線のところで谷折り。上側の2つの角を山折りして、中線で接するようにして、真ん中の紙を引き出してつぶす。



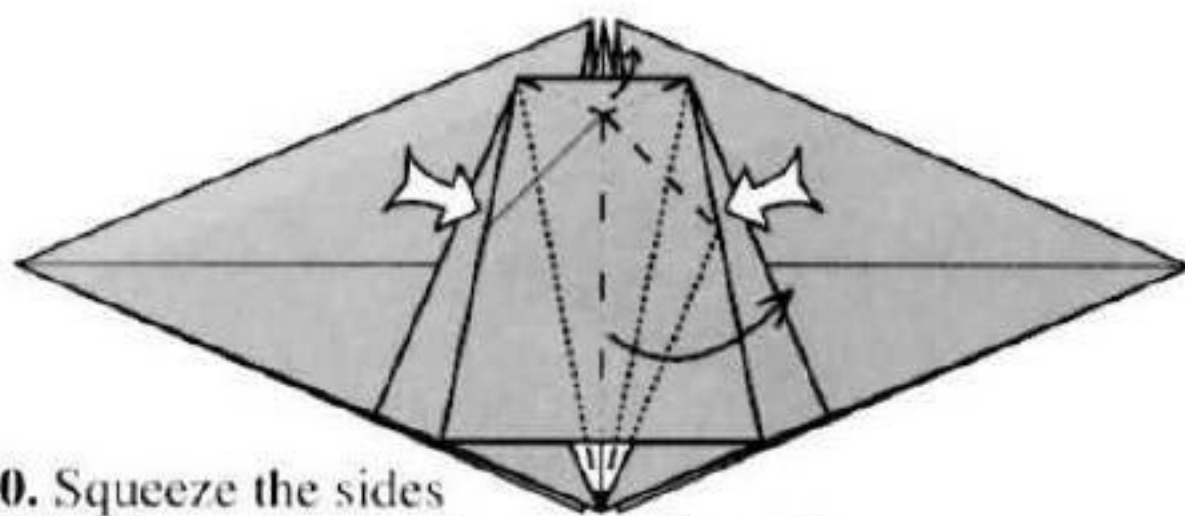
37. Repeat steps 34–36 behind.
後ろ側でも34–36をくり返す。



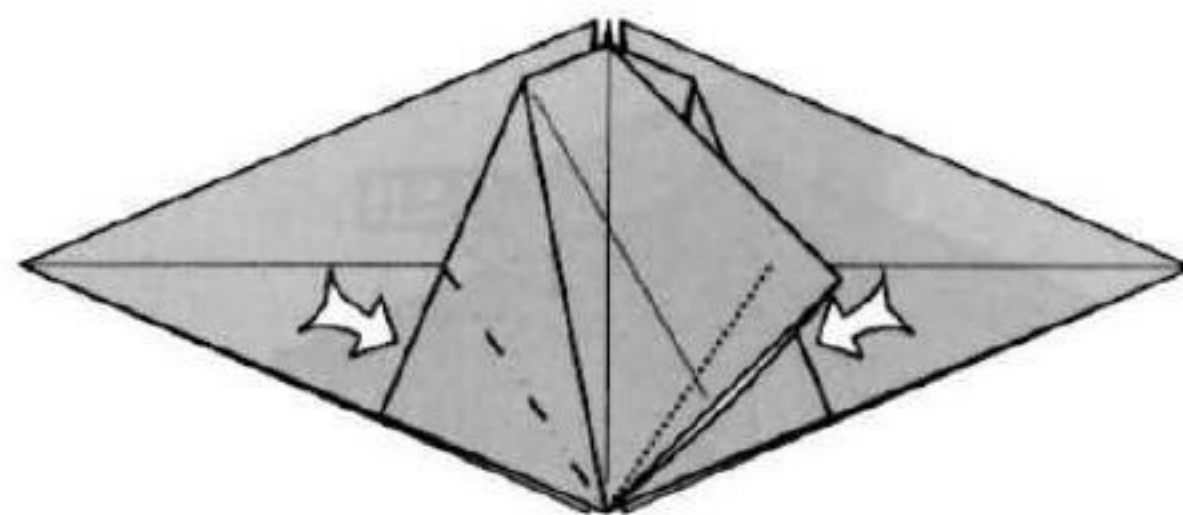
38. Sink the upper and lower edges of the hidden corner.
隠れている角を2等分するように沈め折り。



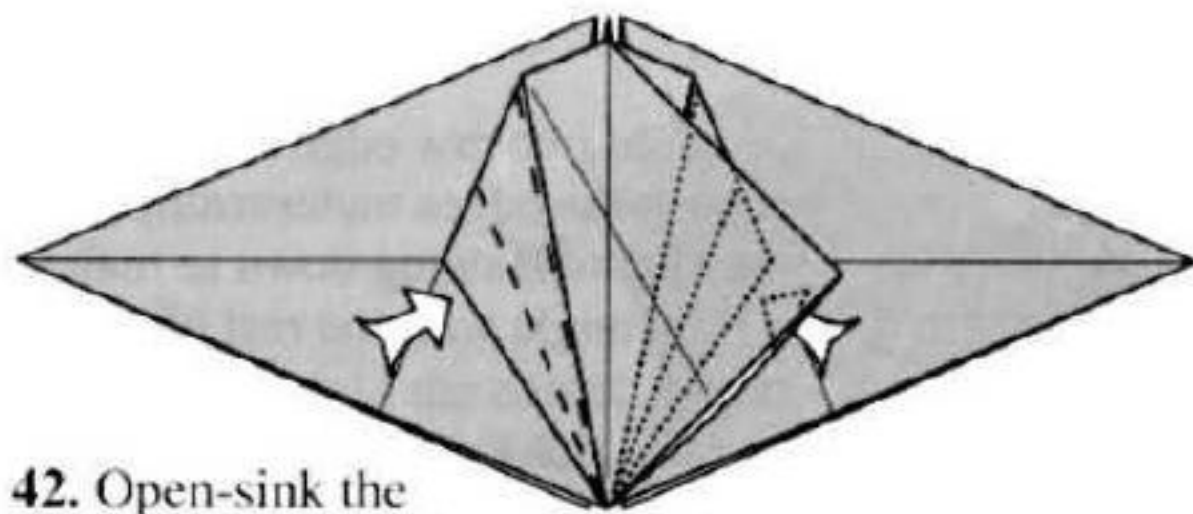
39. Repeat on the right and on both sides behind.
38を右側と後ろ側でもくり返す。



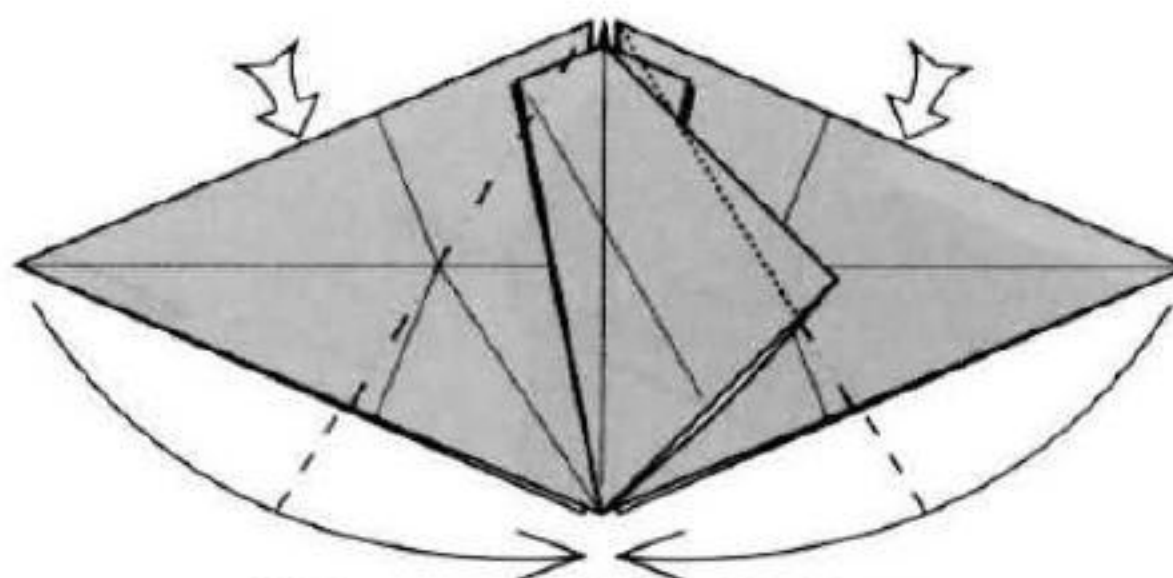
40. Squeeze the sides of the flap and swing it over to the right. Repeat behind.
台形の両端を引き寄せて右側に折り返す。後ろ側も同じ。



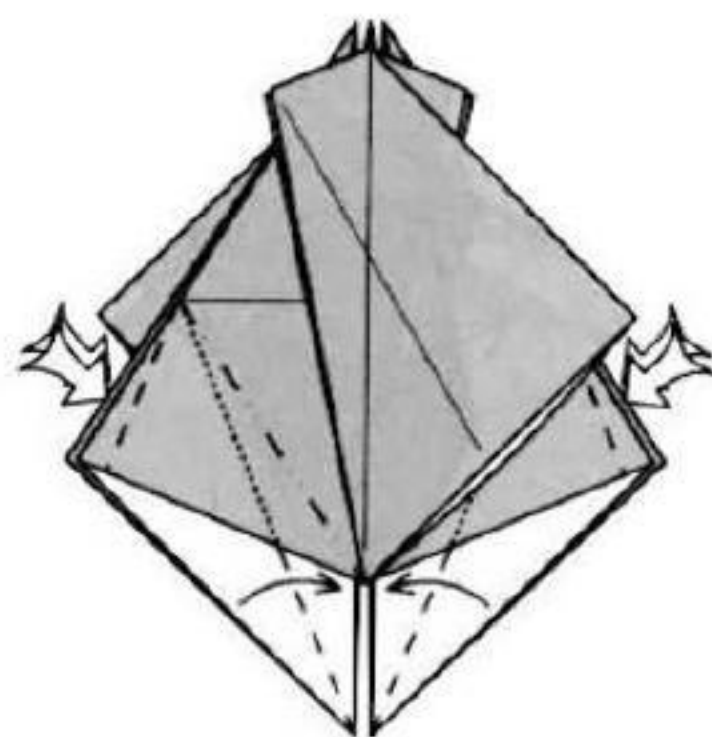
41. Reverse-fold the edges. Repeat behind.
中割り折り。後ろも同じ。



42. Open-sink the edges in and out. Repeat behind.
沈め折りをくり返してじゃばら状の形を作る。後ろ側も同じ。

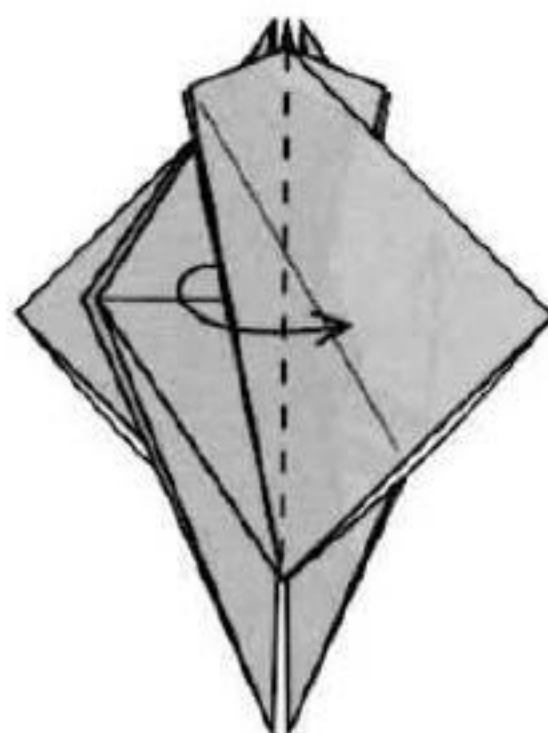


43. Reverse-fold the side flaps.
中央に寄せて中割り折り。



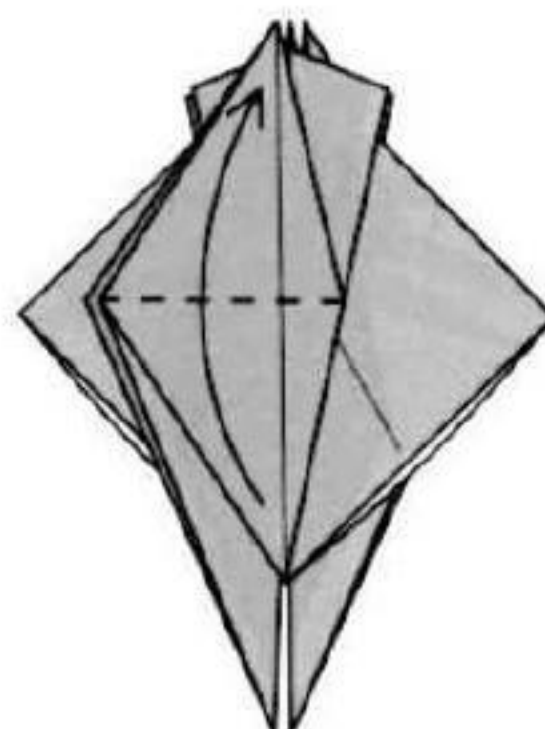
44. Reverse-fold the edges.

縁を中央に寄せて中割り折り。



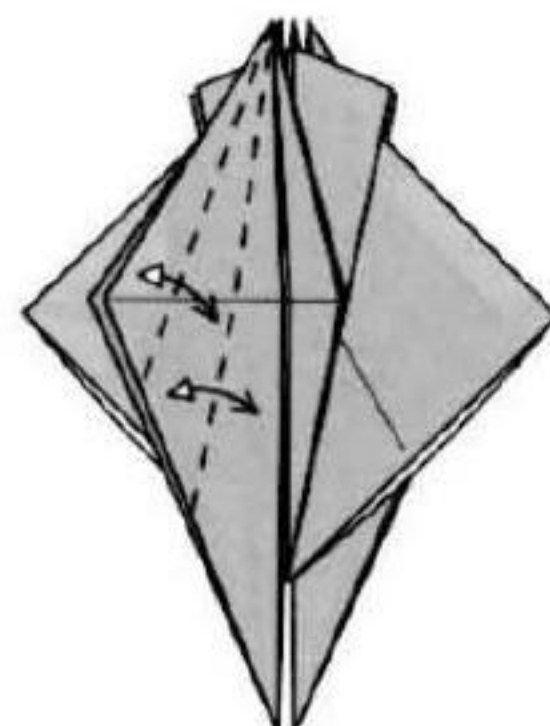
45. Fold a group of layers to the right.

右に折り返す。



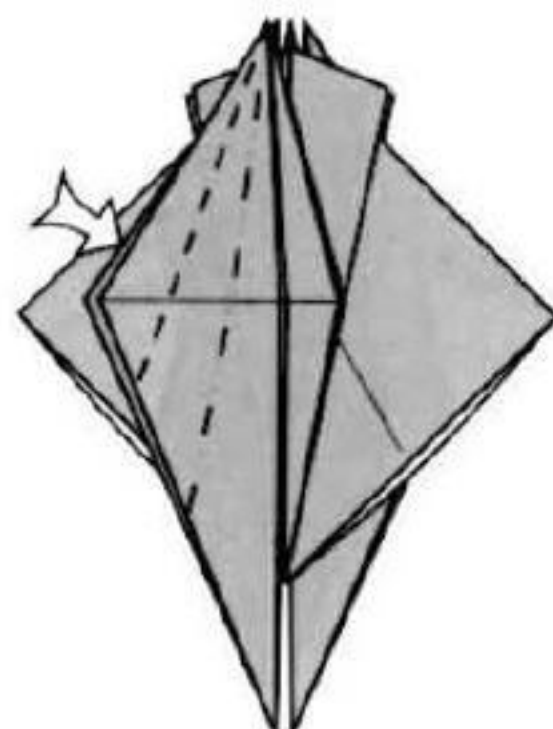
46. Fold one flap up.

折り上げる。



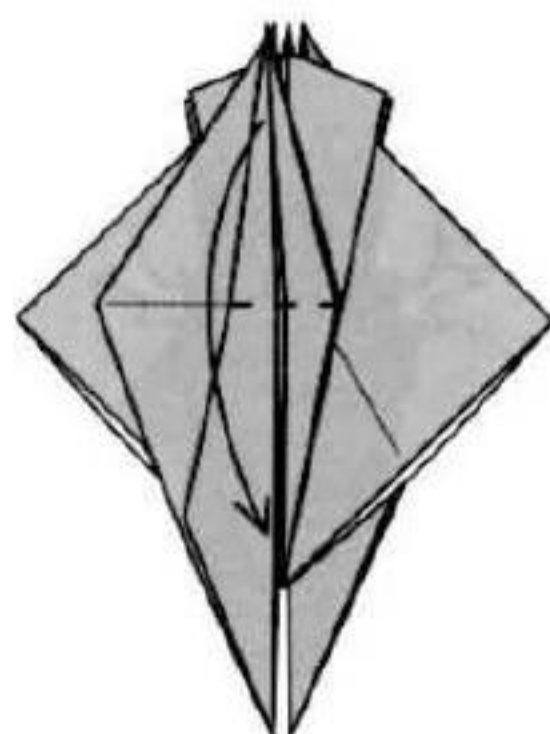
47. Fold and unfold in thirds.

角を3等分する折り目をつける。



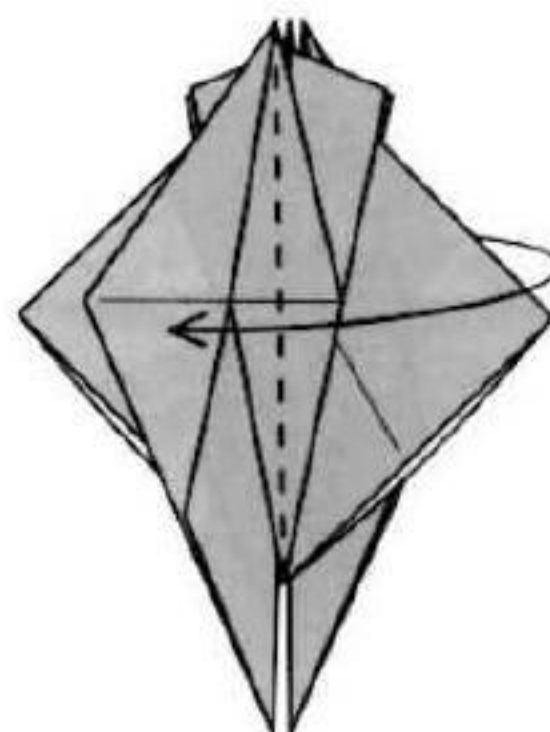
48. Open-sink in and out.

沈め折りをくり返してじゃばら状にする。



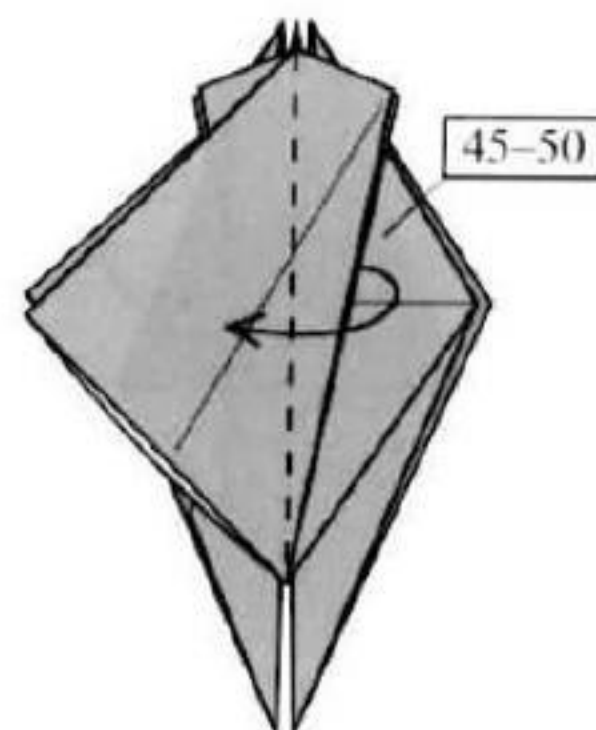
49. Fold the point back down.

折り下げる。



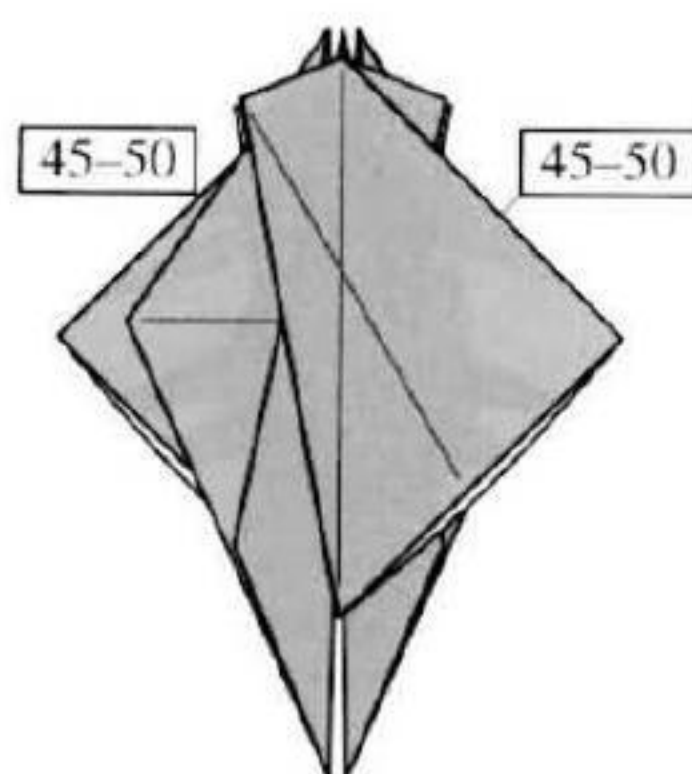
50. Fold the large flap and the bundle of layers in front of it to the left.

左にまとめて折り返す。



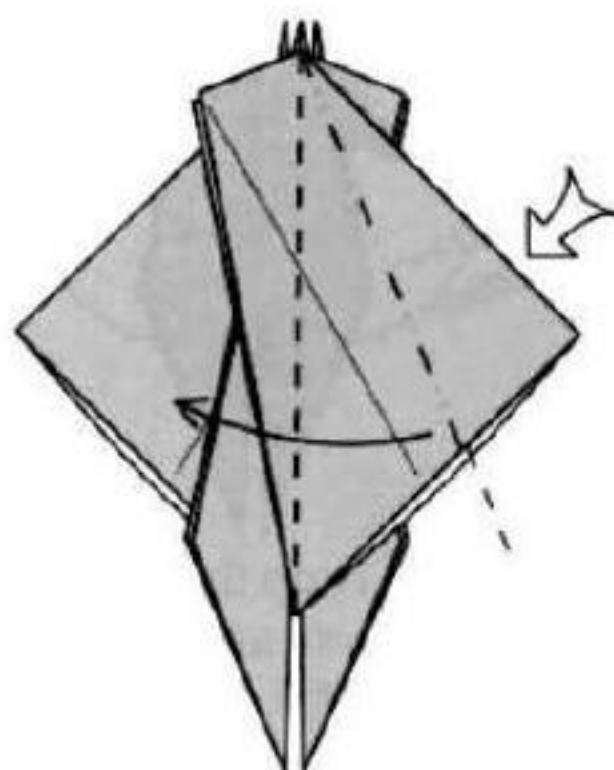
51. Repeat steps 45-50 on the right.

45-50を右側でもくり返す。



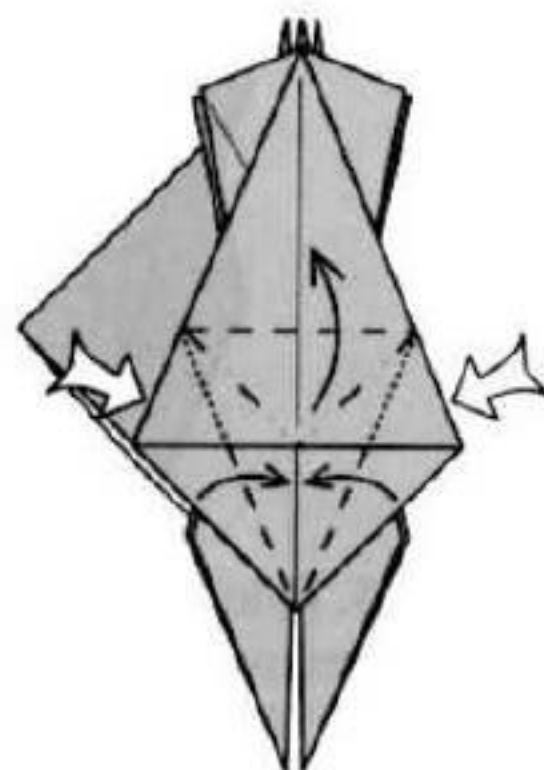
52. Repeat steps 45-50 on both sides behind.

後側も同様に。



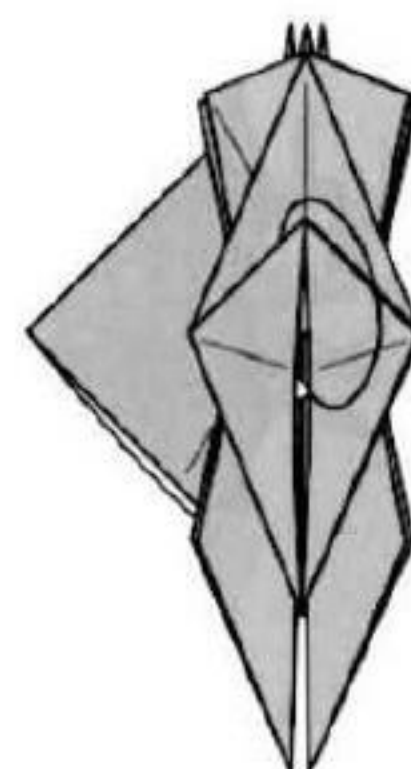
53. Squash-fold the flap.

開いてつぶす。



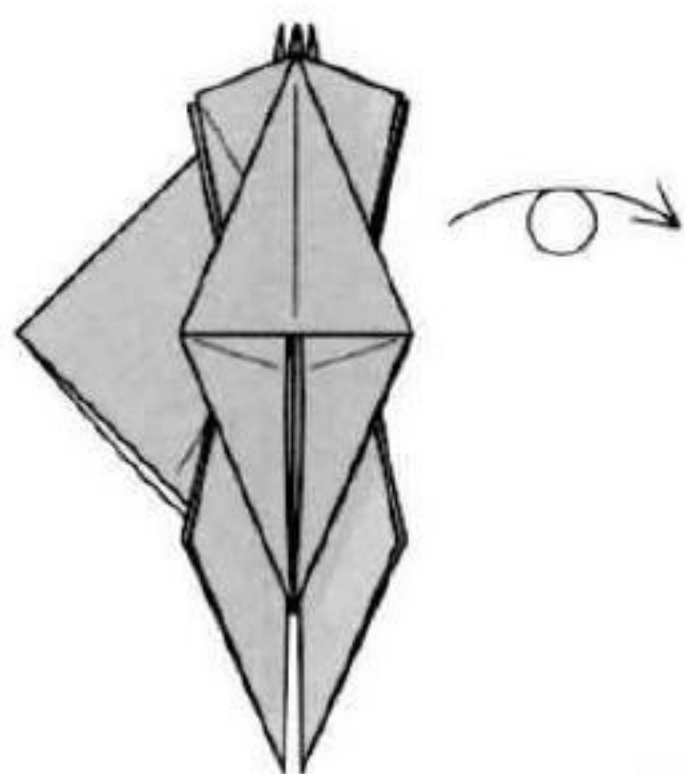
54. Petal-fold the flap.

花弁折り。



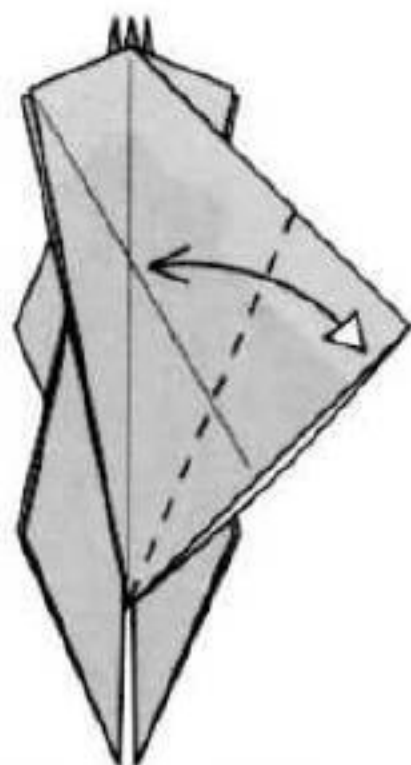
55. Tuck the flap inside.

内側に折り込む。



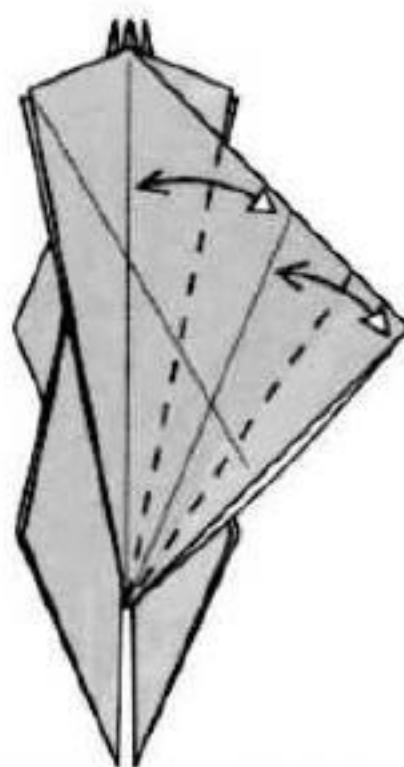
56. Turn the model over.

裏返す。



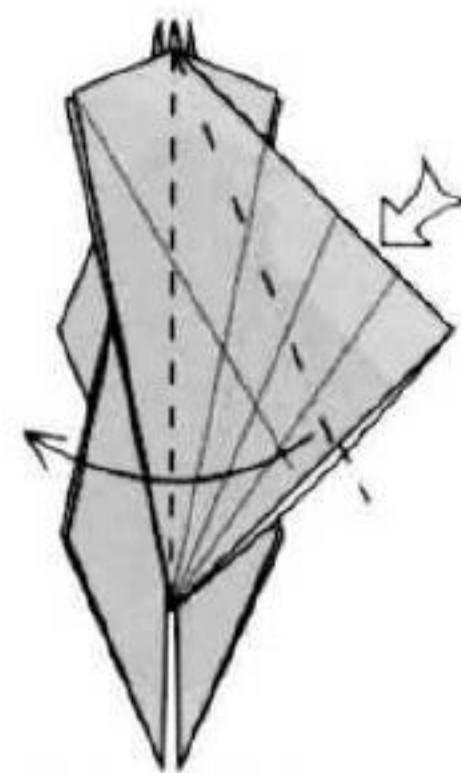
57. Fold and unfold along an angle bisector.

角を2等分する折り目をつける。



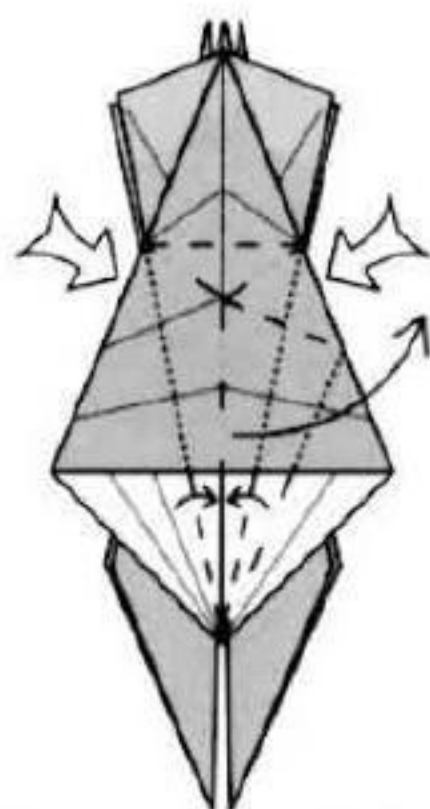
58. Fold and unfold along two angle bisectors.

角を4等分する折り目をつける。



59. Squash-fold the flap symmetrically.

開いてつぶす。



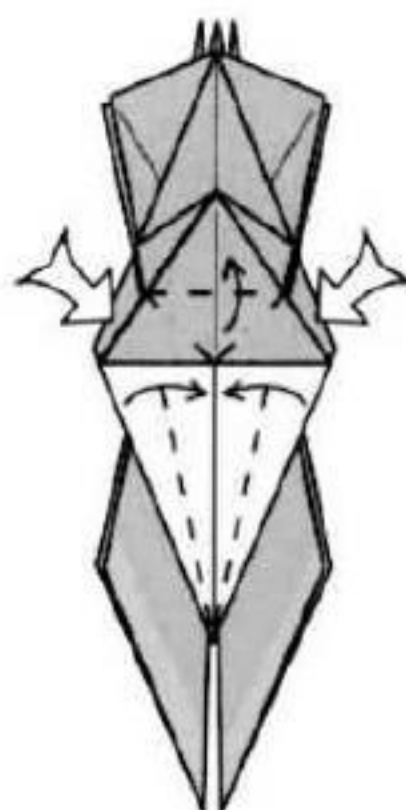
60. Squeeze the middle of the paper and swing the resulting flap over to the right.

58の折り線で中央に引き寄せて余った紙を右に畳む。



61. Squash-fold the flap.

開いてつぶす。



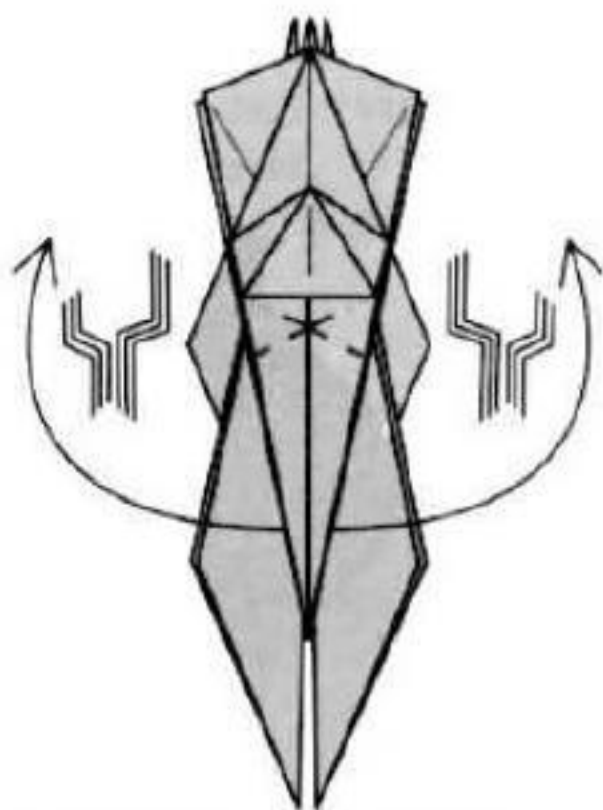
62. Petal-fold the edge.

花卉折り。



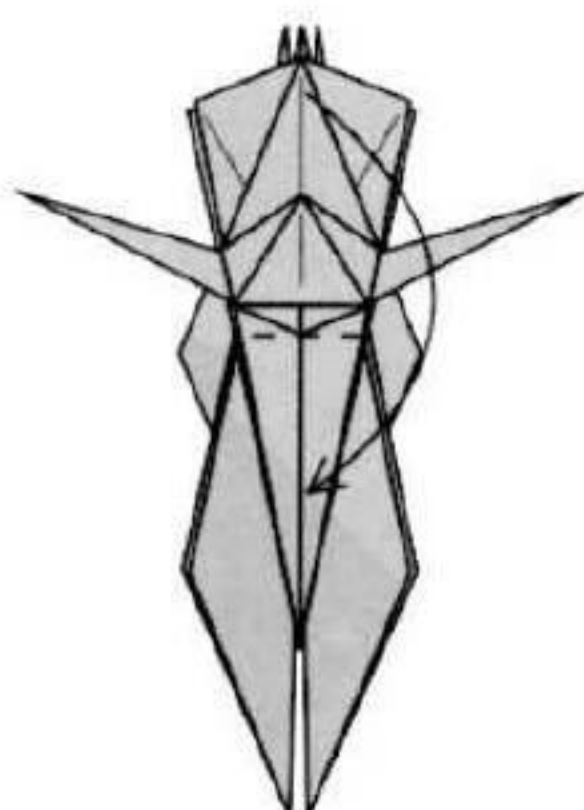
63. Tuck the point inside.

内側に折り込む。



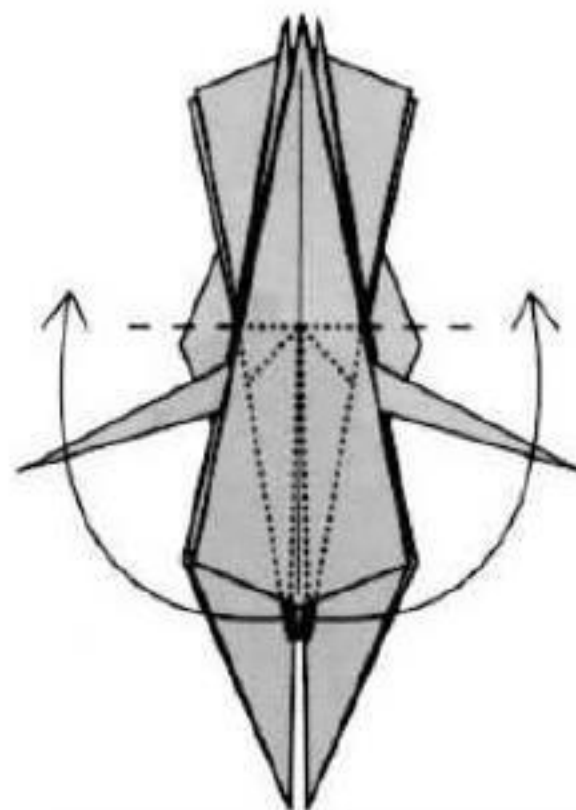
64. Crimp two points upward. Note that the six layers of each leg are spread symmetrically.

3層ずつまとめて中割り折りを繰り返す。



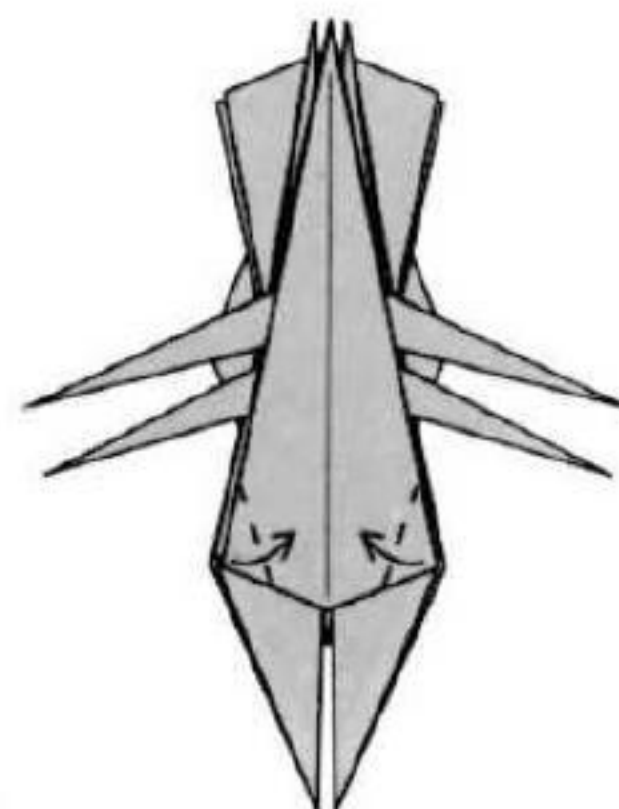
65. Fold the group of three points downward.

3つの先端をまとめて折り下げる。



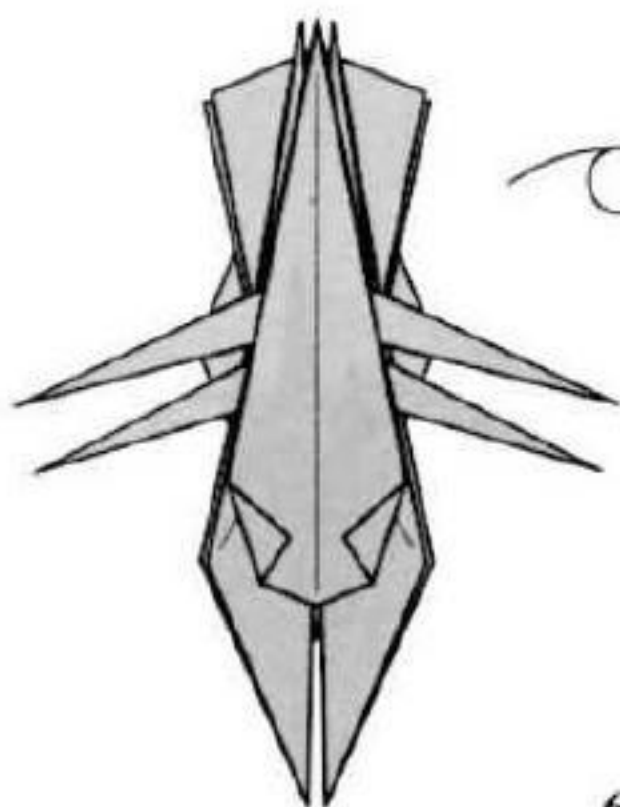
66. Crimp the next pair of points upward.

内側に隠れている足の中割り折りをくり返して出す。

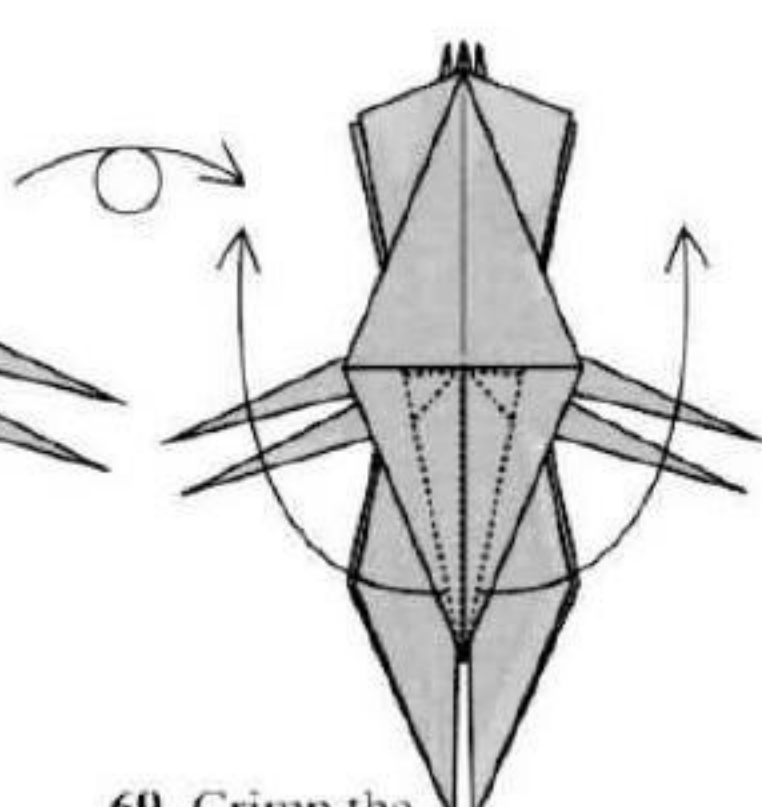


67. Fold the corners inward.

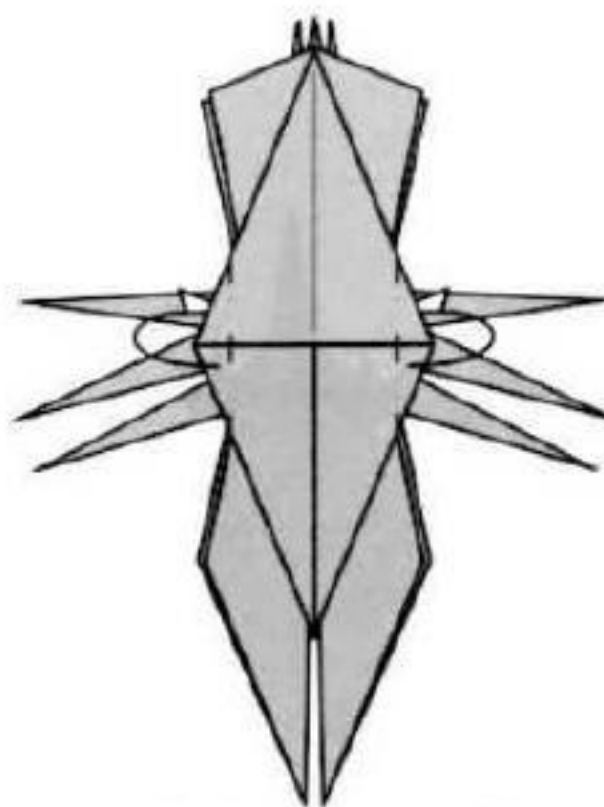
中心に向かって折り込む。



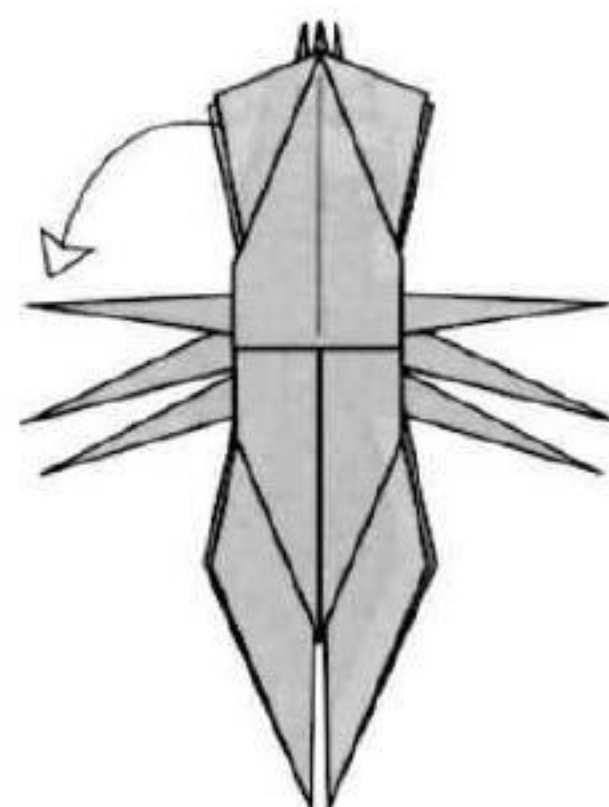
68. Turn the model over.
裏返す。



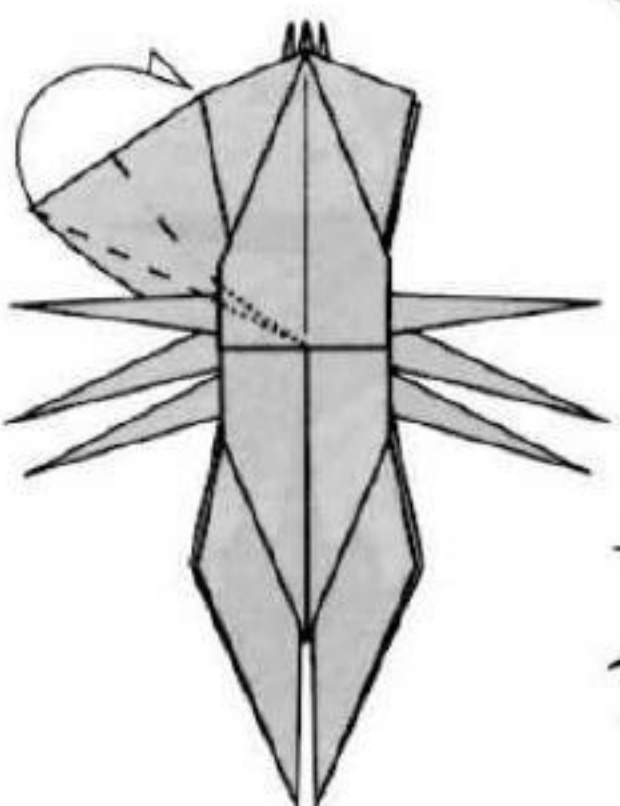
69. Crimp the remaining pair of narrow points upward, spreading their layers symmetrically.
もう1本の足も中割り折りをくり返して出す。上下の層の数が同じになるように。



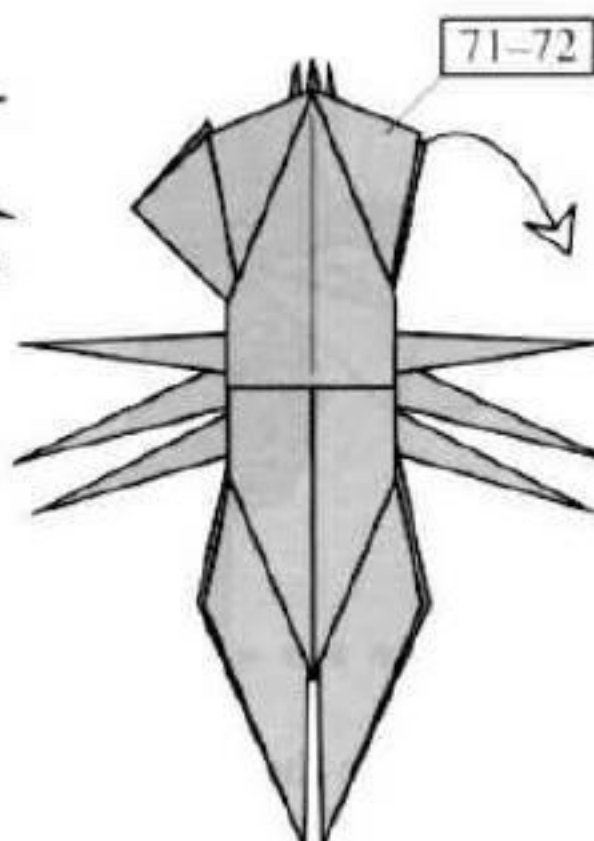
70. Mountain-fold the side corners.
横の角を山折り。



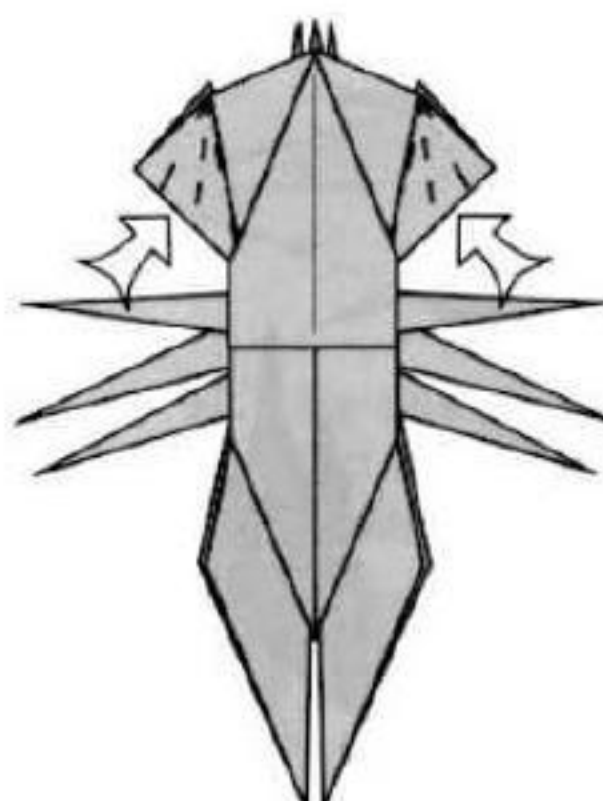
71. Carefully pull out a corner as far as possible. The model will not lie flat. 中の紙を引き出す。次の図は完全に平らにはならない。



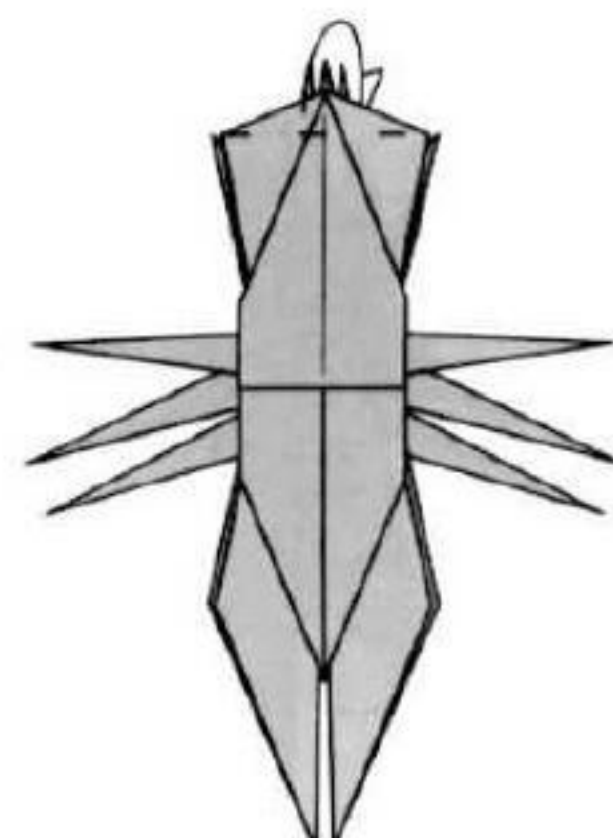
72. Mountain-fold the flap behind and flatten firmly.
山折りをして、平らにつぶす。



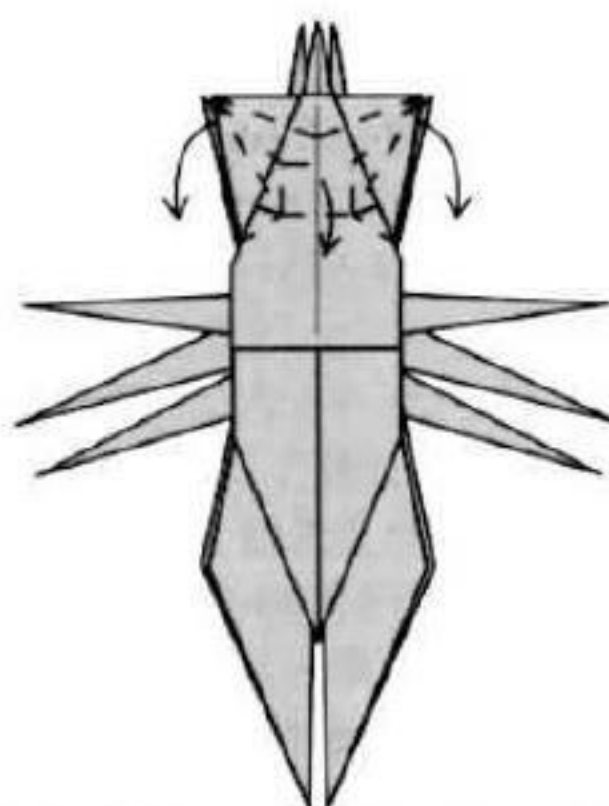
73. Repeat steps 71-72 on the right.
右側でも71-72をくり返す。



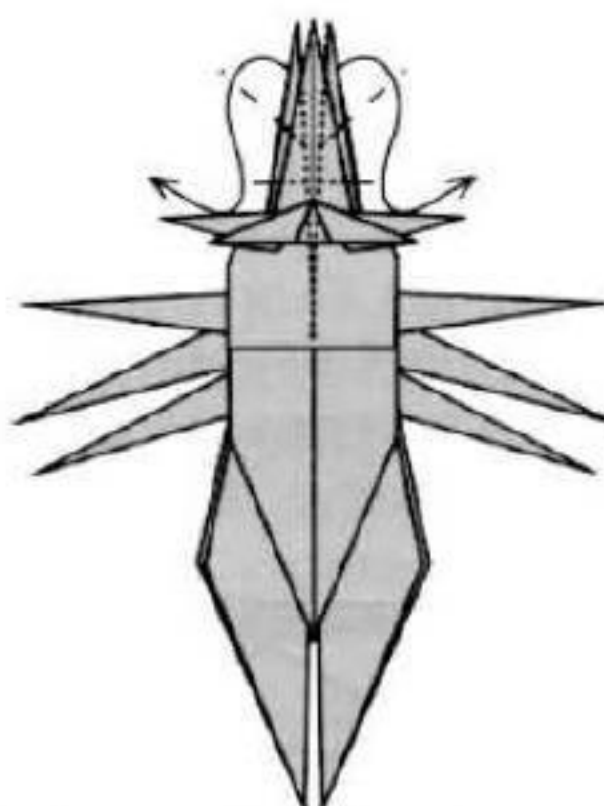
74. Reverse-fold the edges in and out.
中割り折りを3回ずつくり返す。



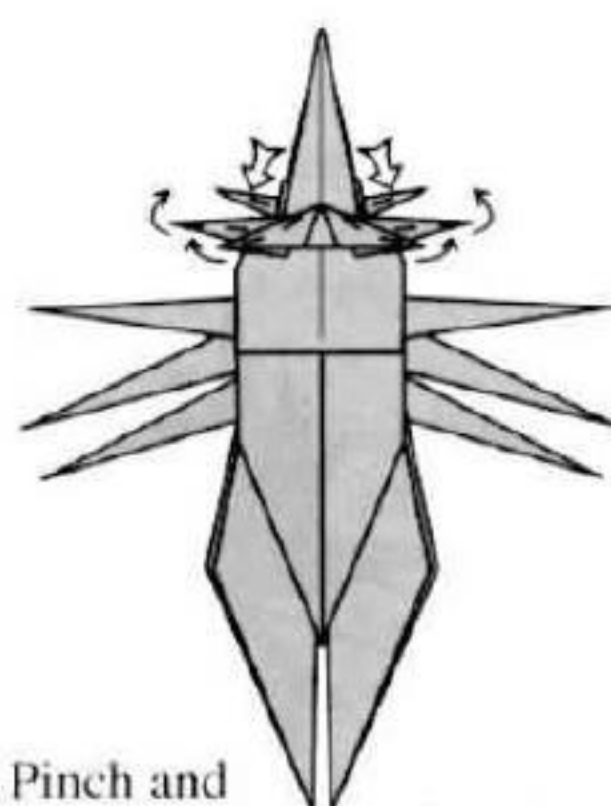
75. Mountain-fold the tip behind.
角を結ぶ線で山折り。



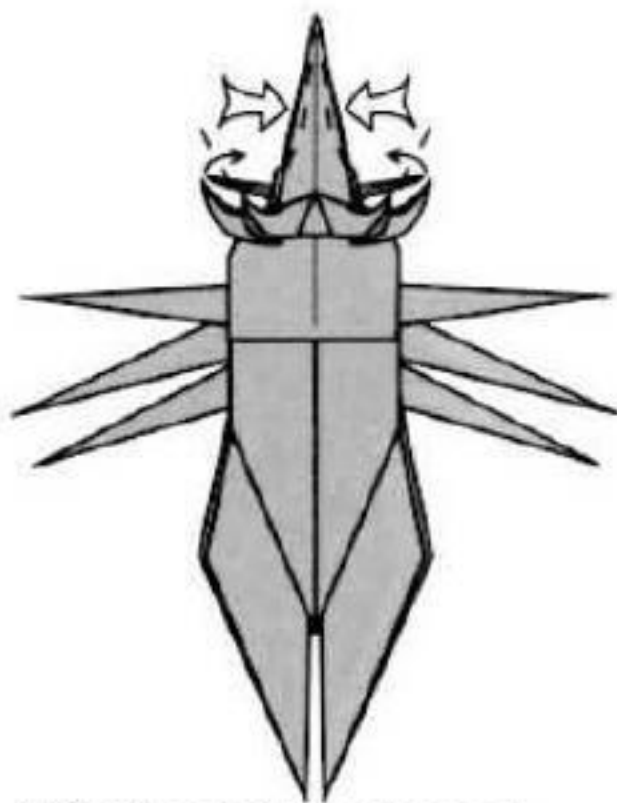
76. Collapse and narrow the top flap, allowing the longer pair of points to stand out to the sides. You do not need to completely flatten the model.
後ろに隠れている2本の突起が横に向くようにつまんで細くして折り返す。完全に平面にはならない。



77. Reverse-fold the antennae down and then out to the sides.
触角を下、そして横に中割り折りして外に出す。

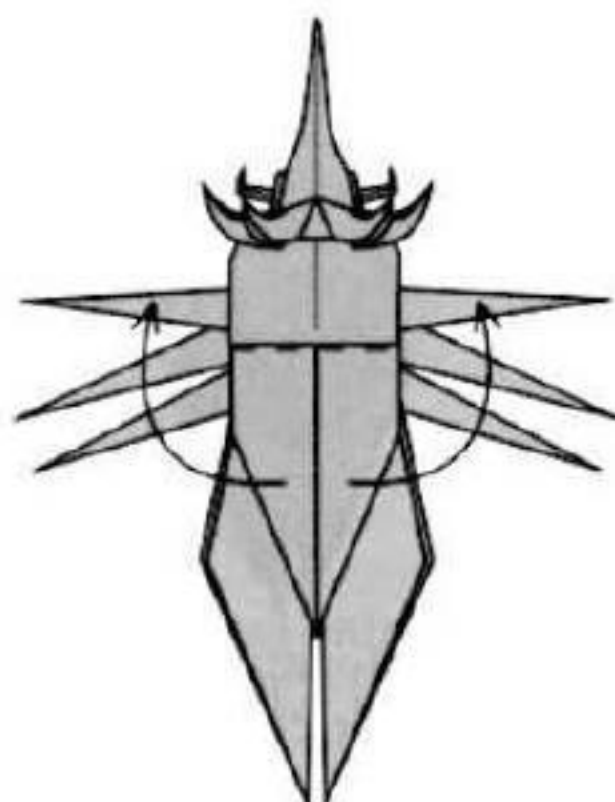


78. Pinch and narrow the antennae. Curl the four horns on the head forward.
触角をつまんで細く形作る。4本の角を前方向にカールして尖らせる。



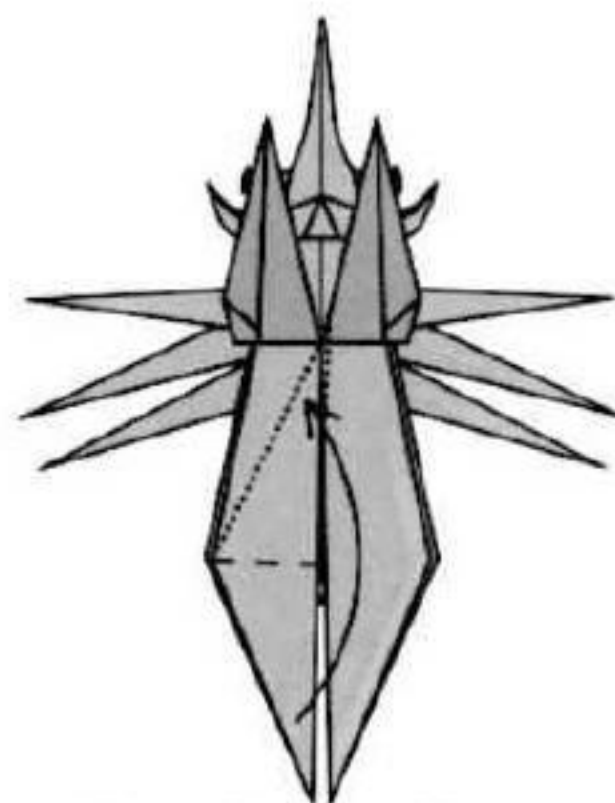
79. Bend the antennae tips forward. Narrow the top horn and curve it upward.

前方向に触角を曲げる。中央の角を細くして上向きに曲げて形作る。



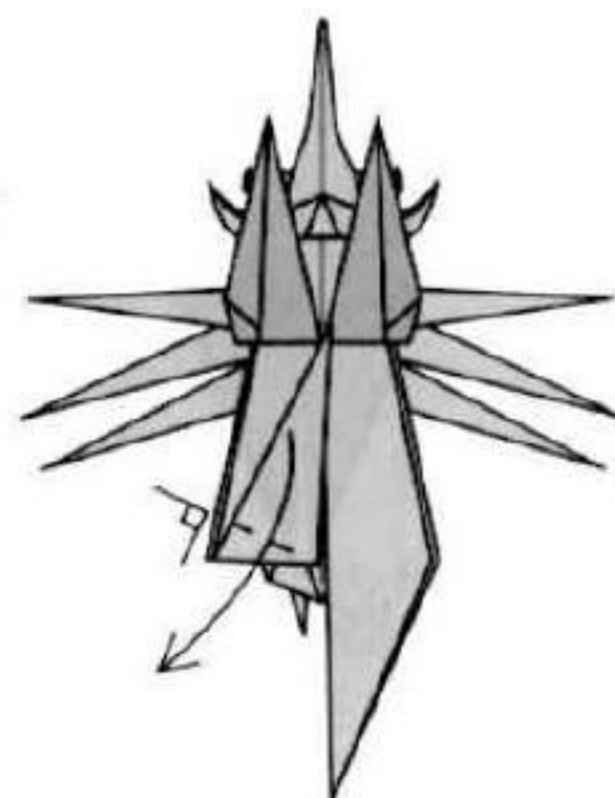
80. Lift two flaps up so that they stand up from the body.

折り上げる。完全に折り返す必要はない。



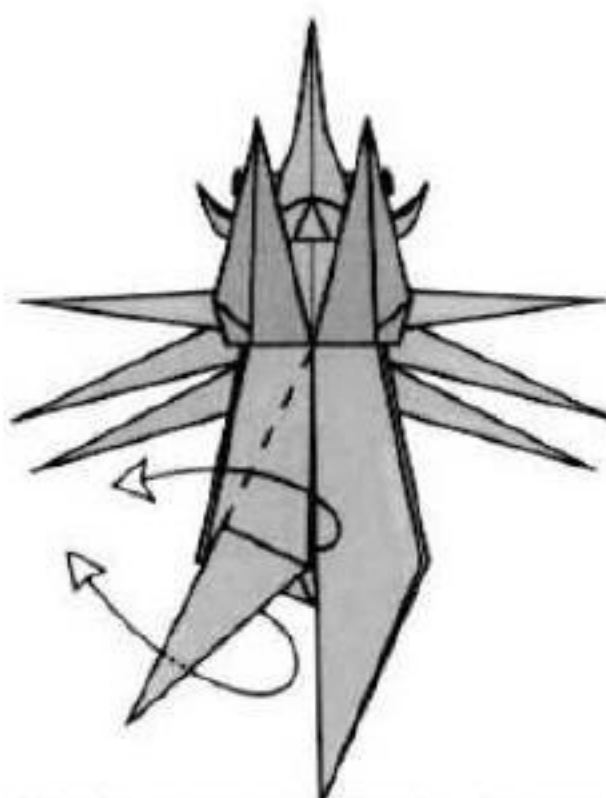
81. Fold up one flap so that its edge hits the junction of several edges.

下翅の下側を折り上げて、中央の交点に接するようにする。



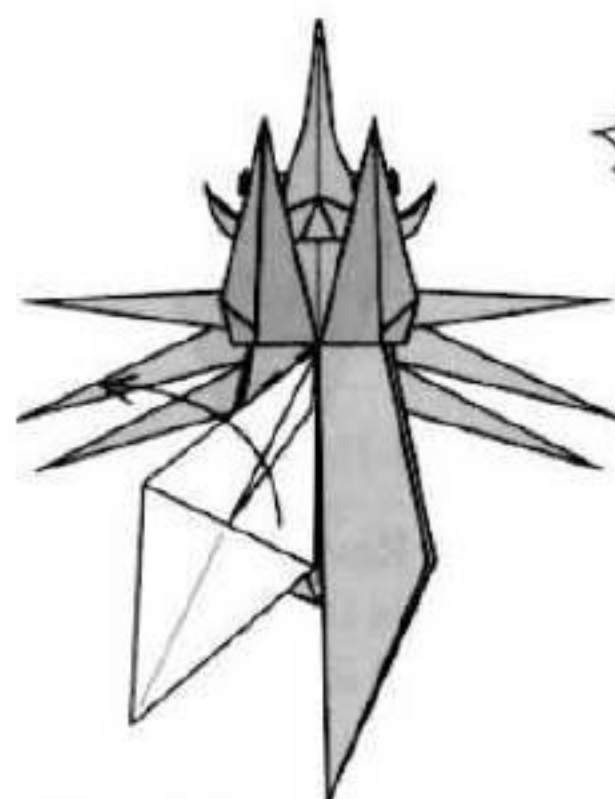
82. Fold the flap back down so that the edges are aligned.

左縁から90度の角度で折り下げる。



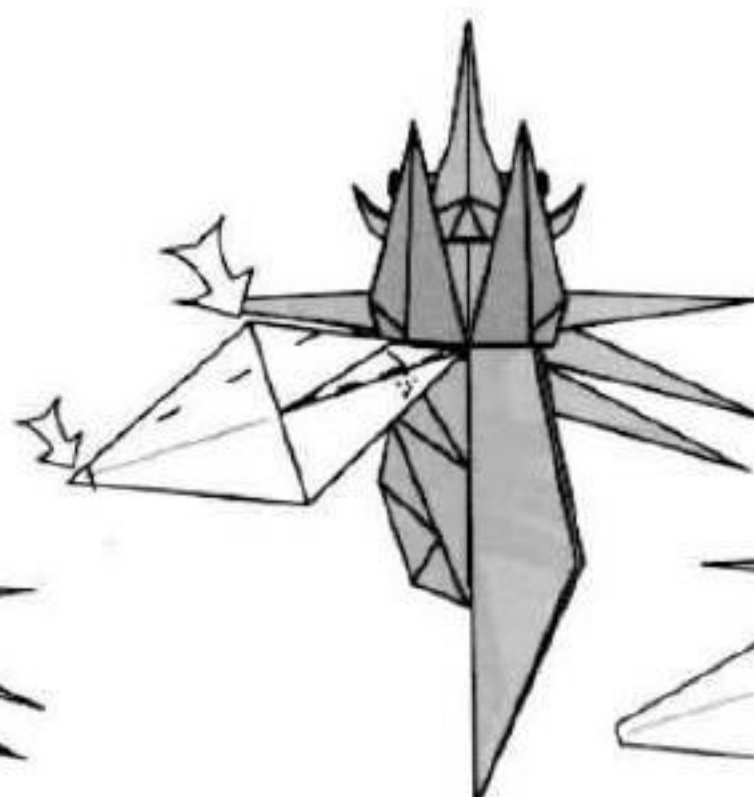
83. Unwrap a single layer from both front and back, disentangling the layers from both sides.

表裏とも紙を1枚はがして白い面を出す。



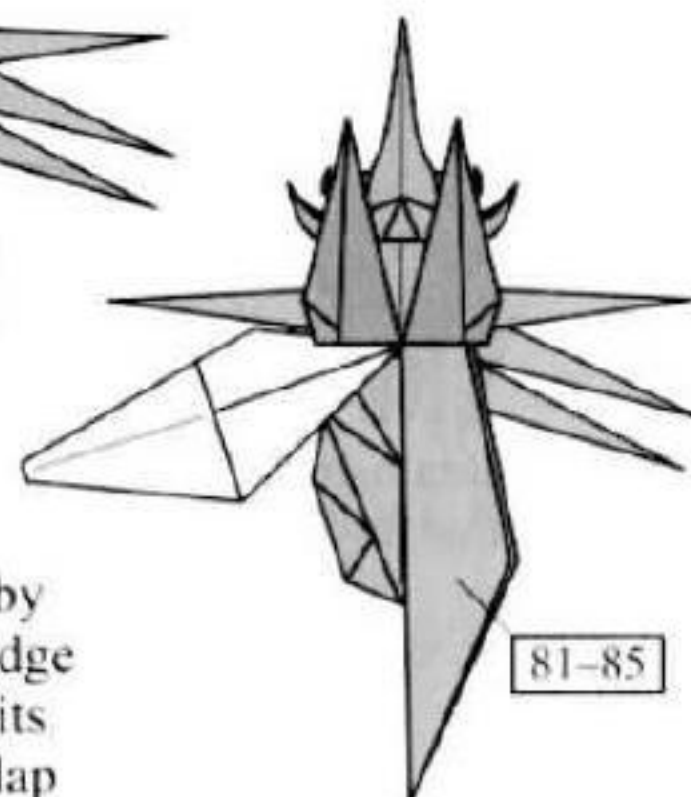
84. Valley-fold the wing out to the sides.

谷折りで翅を横に出す。



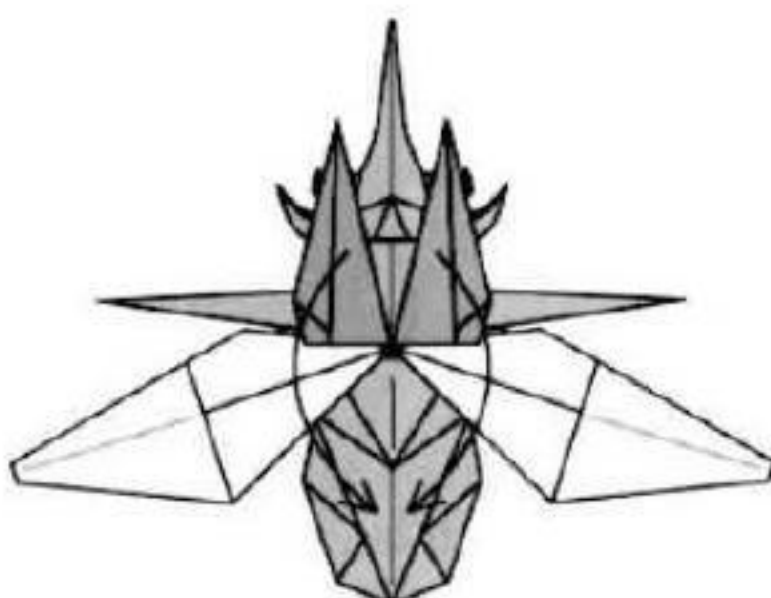
85. Shape the wing by sinking its leading edge and reverse-folding its tip. Hide the loose flap by tucking it into a pocket.

翅の上縁を沈め折り、先を中割り折りして形を整える。内側の余分な紙をポケットにしまう。



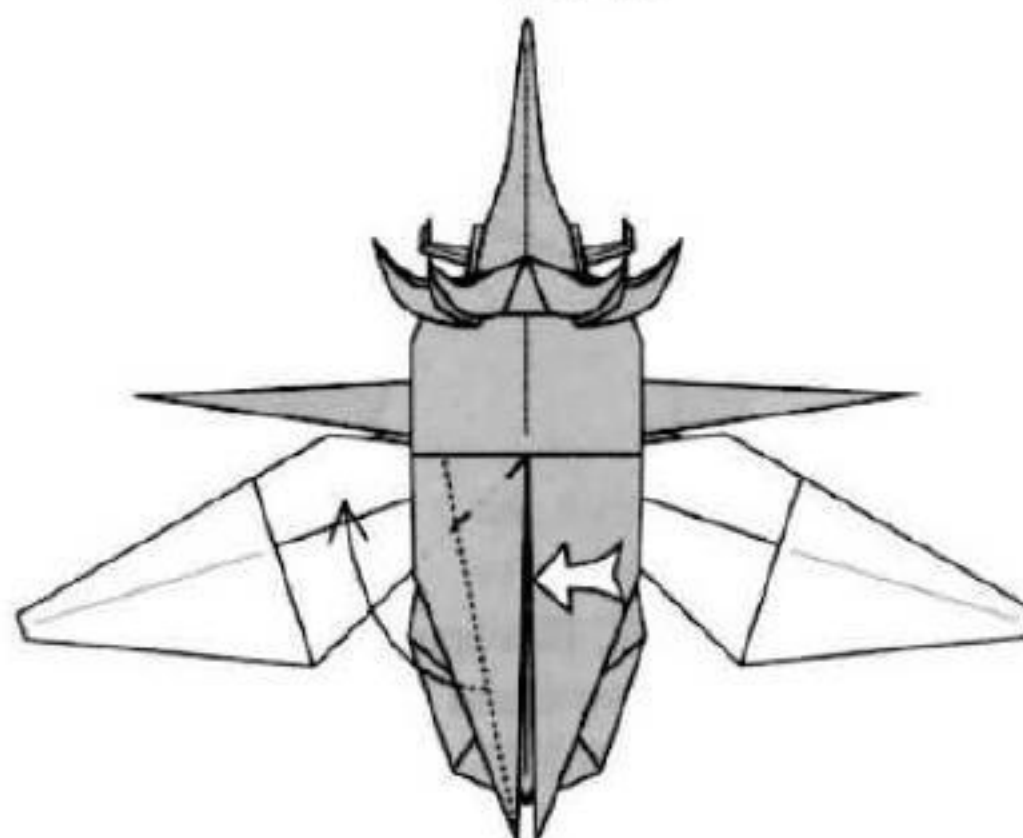
86. Repeat steps 81-85 on the right.

右側で81-85をくり返す。



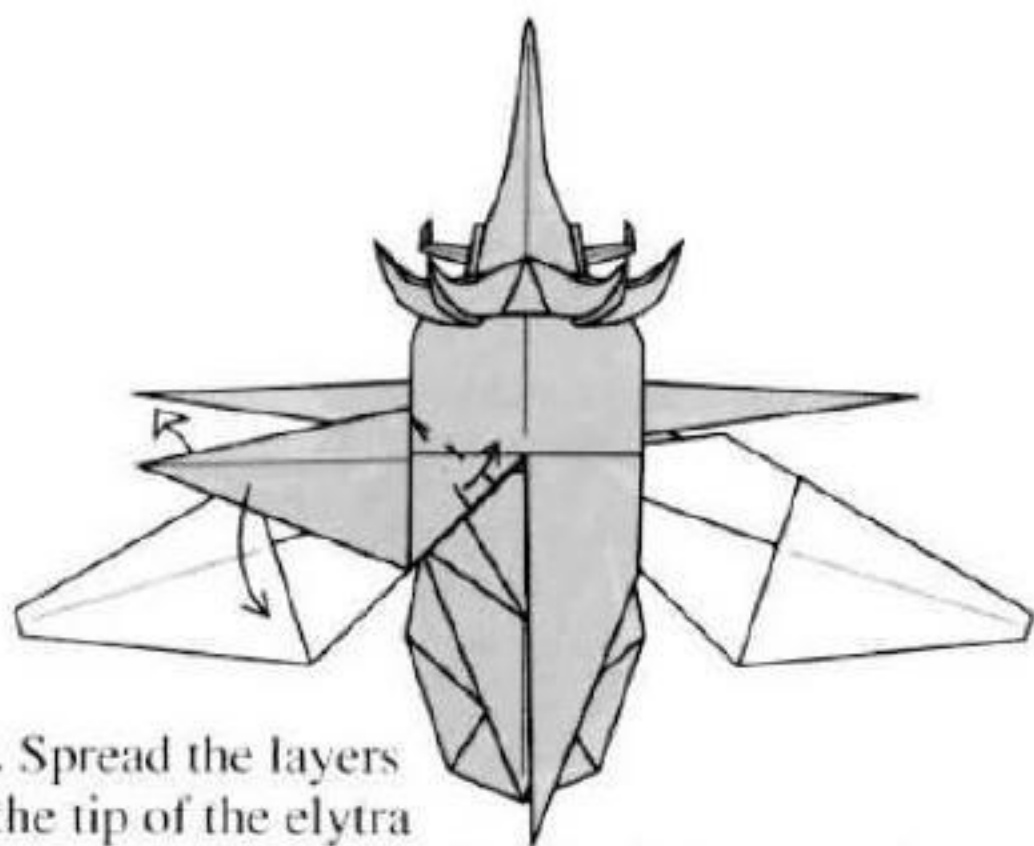
87. Fold the two flaps back down over the wings.

上翅を戻す。

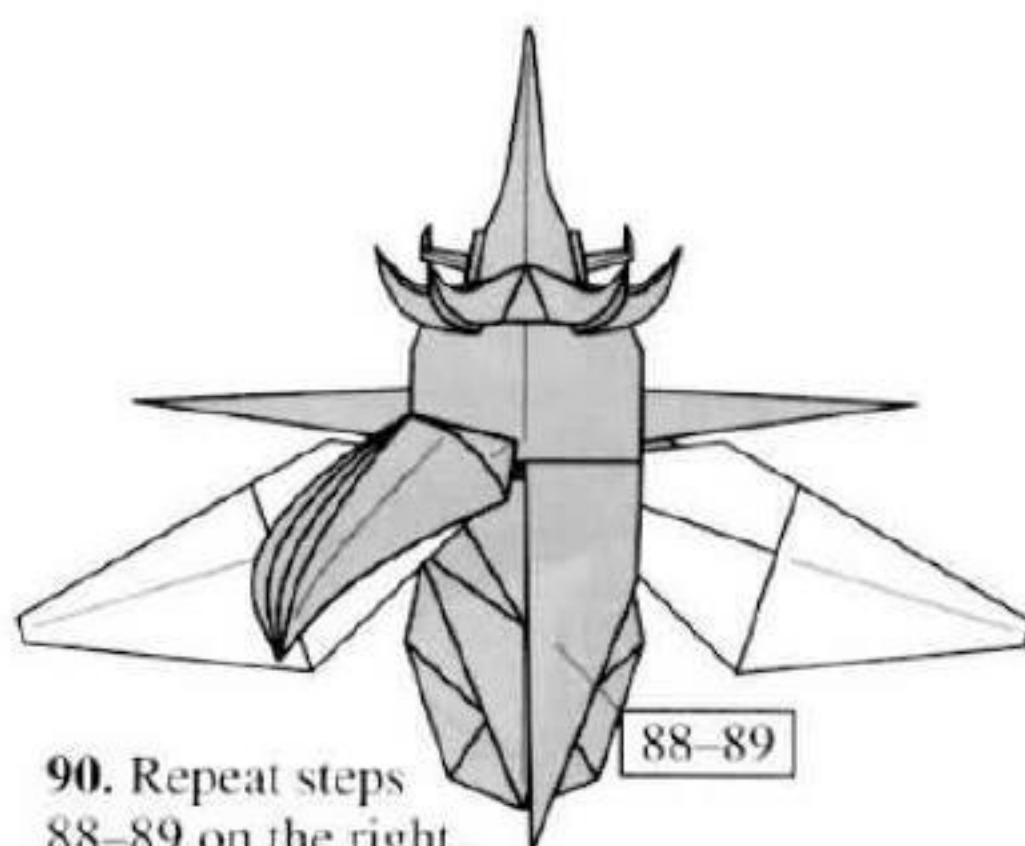


88. Reverse-fold the top flap out to the side, swinging the narrow edge underneath forward. Do not flatten the model.

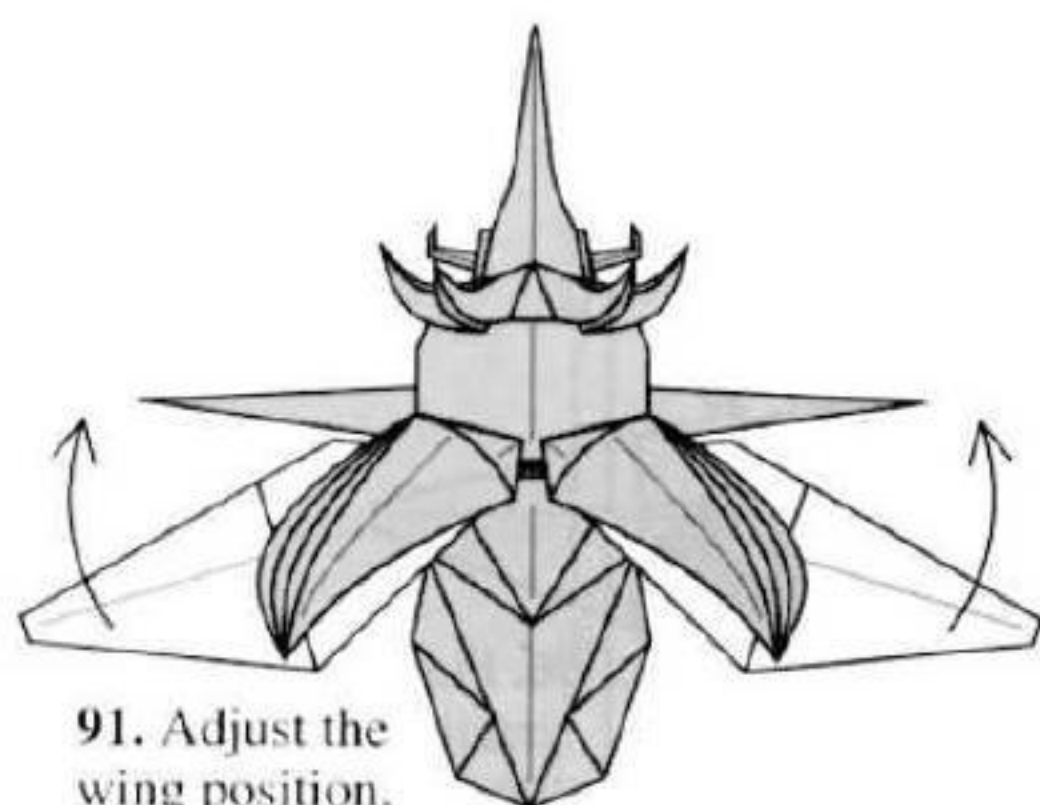
中割り折り、上翅を横に出す。完全に平面にはならない。



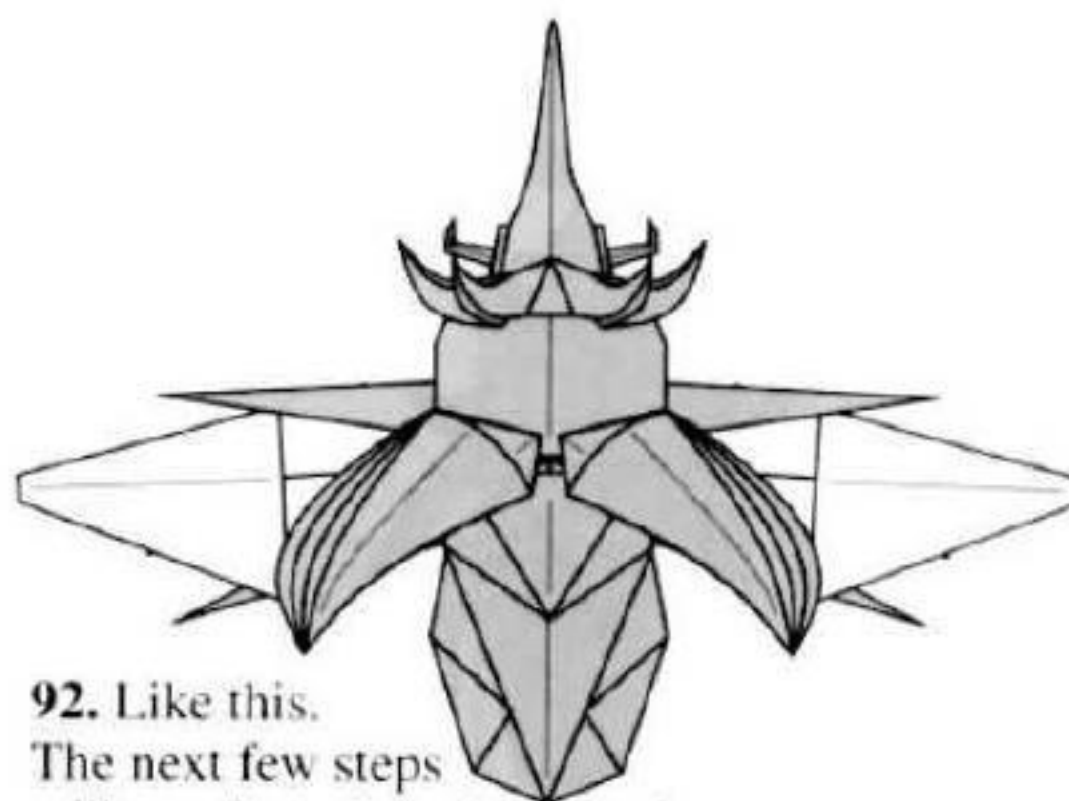
89. Spread the layers at the tip of the elytra to round it. Crimp it and swing it downward.
上翅の先端を広げて丸く形作る。段折りて下に向ける。



90. Repeat steps 88-89 on the right.
右側で88-89をくり返す。



91. Adjust the wing position.
翅の位置を調整する。



92. Like this.
The next few steps will not show the wings or elytra.
出来上がりはこのように。
次の図からは翅は書かない。



Orisuzi ("Fold-Creases")

変な?おじさん

A "Strange" Man

Muraki Yoko

村木 陽子

● 去年の夏、私たち親子は諏訪湖の湖畔にあるハーモ美術館で変なおじさんに会った。そのおじさんというのは、年齢は50歳くらいだろうか? 会社員風でもなく、自由業? とにかく私の考え付くような職業ではなさそうだった。TVチャンピオンで優勝した憧れの神谷さんを「神谷君」と呼び、記者風の人に取材を受けて展示作品の説明をしていたので折り紙に詳しくという事はなんとなく理解できた。でも、なんだか怪しそうだった。

● 私たちといえば、折り紙好きの長男が4年生までに次々に折り紙本をマスターしてしまい、折れない本がもうない? くらいのことを思って、この先どうしたらいいのだろうと道を探していたところだった(今から思えばお恥ずかしい)。そんな時、ハーモ美術館の「世界の折紙作家展」の

事を聞いたのである。

● そこには今までに見たことがないような折り紙作品が展示されていた。「お母さん、恐竜の化石の折紙があるよ。アッ、カブトムシもクワガタも!」私たちは人目も憚らず大はしゃぎだった。

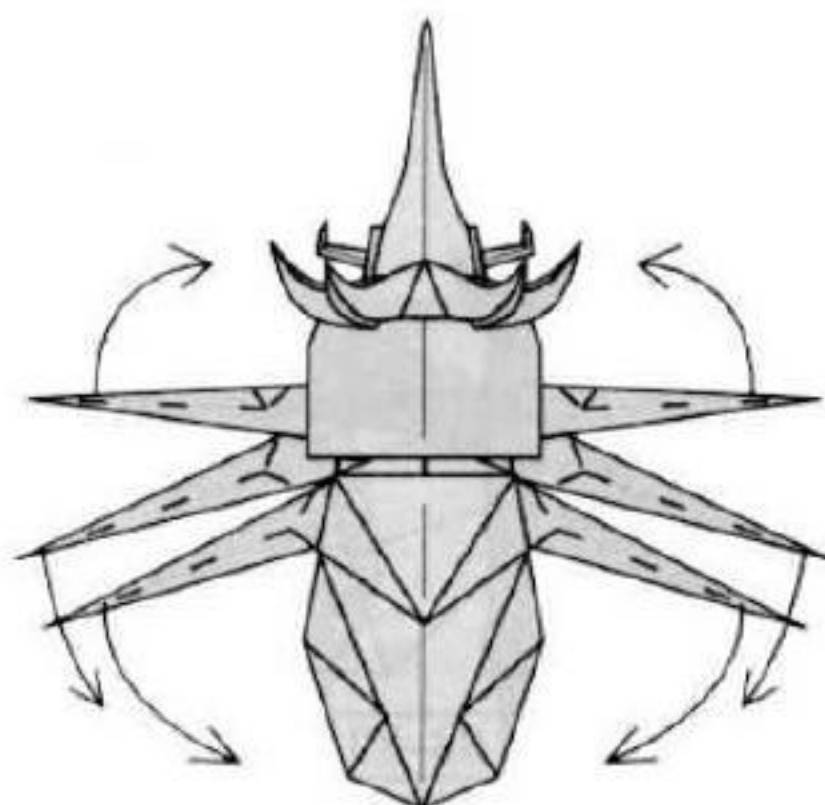
● そこへさっきの変なおじさんが近づいてきた。「あなた達も折り紙好きなの? だったらこれに入ったら。」と、何やら雑誌を見せてくれた。「でも私たち1ヶ月前に岐阜の折り紙会に入っただけで、、、いいのかなあ。2つも入っちゃって、、、」 「いいから、いいから。これ振込用紙ね。振り込んだらこの本送ってあげるから。ウチに入っておけば間違いないから。」 「(ウチに入っておけば間違いない?)」 このフレーズどこかで聞いた事がある。そうだ、最近来た教材のセールスマンもこんな事を言っていた。やっぱり怪しい。

「お母さん、あのおじさんって何者なんだろう? なんだか折り紙の事詳しくったよ。」 「あれはきっと山師か何かだと思うよ。」 「やましって、なに?。」 「神谷さんがあんまり凄いんでそれを利用して一儲けしようとしているような人の事だよ。」 「ふうーん。」 こんな話をしながら岐阜への帰路に着いた私達だった。

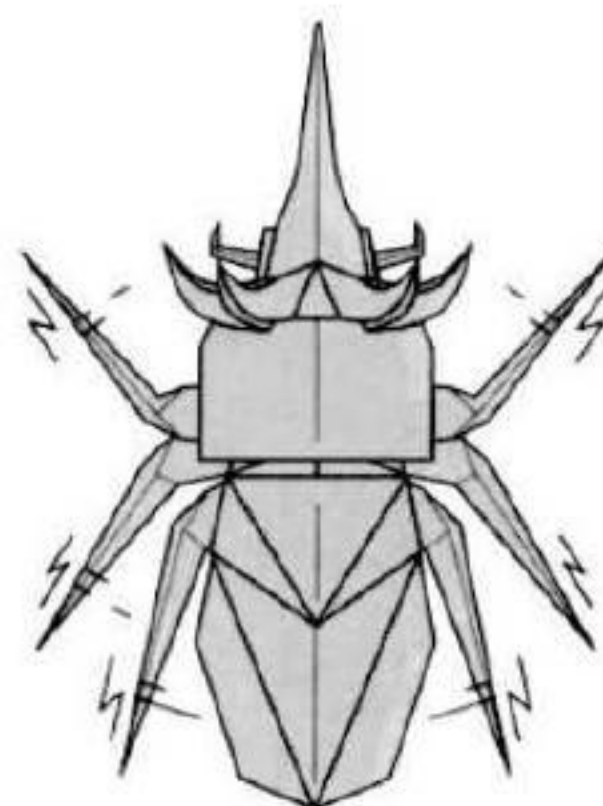
● 数日後、面白そうな雑誌の事が気になり、「まあ3600円位いいっか。」とお金を振り込んだ。

● 送られてきた雑誌の中にあのおじさんの顔と名前を見つけた私たちは、「ありゃーッ。」それはもう大騒ぎだった。ここまで書いてしまったらおじさんが誰だったか書けやしない。

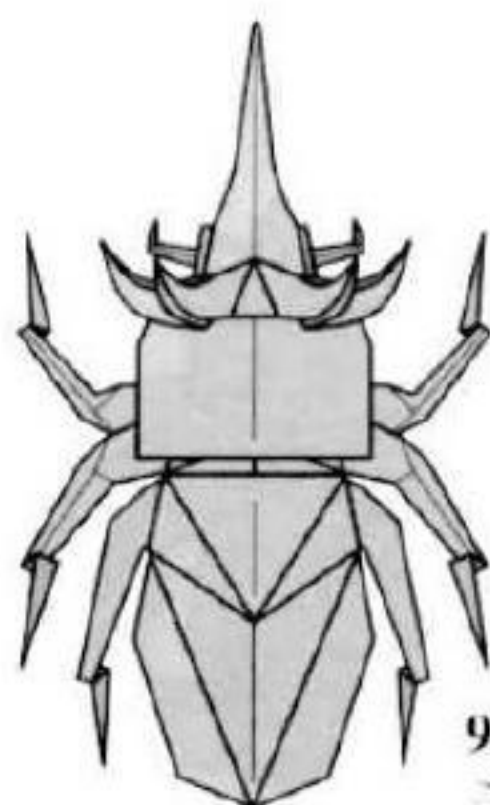
● とにかく、こうして私たち親子は折紙探偵団に入団したのである。



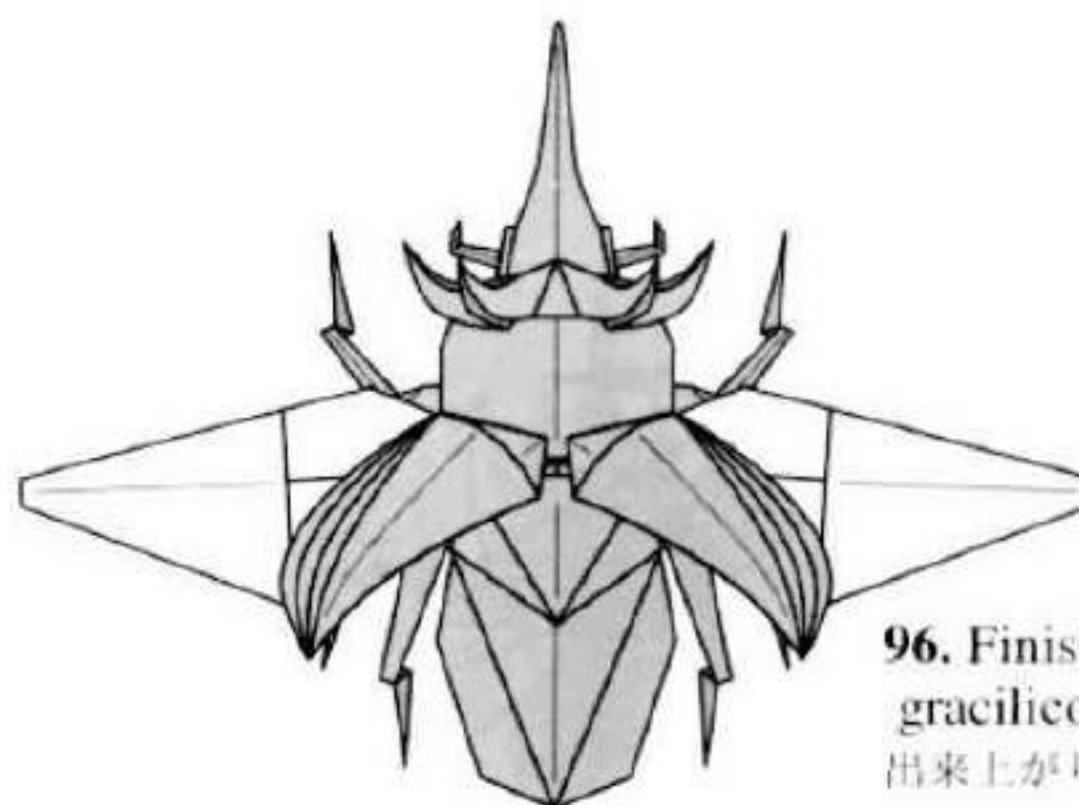
93. Rabbit-ear each of the legs. The forelegs point forward, the other two pair point backward. 脚をつまみ折りして細くする。前脚は前向き、あとの二対の脚は後向き。



94. Crimp the feet. 脚の先端を段折り。



95. Like this. こんな感じ。



96. Finished Eupatorus gracilicornus. 出来上がり。

折紙三昧 ⑨

Origami-Zanmai (This Origami and That)

タモリ倶楽部

A TV program "Tamori Club"

9月28日深夜(東京地方)に放映された“タモリ倶楽部”をご覧になった方はどれくらいいらっしゃるでしょうか。タモさん初め、鶴の折り方もどうだったかという幾人かのタレントさんが拙作“カミキリムシ”に挑戦するという、(完成を目指すなら)どう考えても無謀な企画。参画することとしましたが、タレントさんにからかわれるのがオチと、ほとんど前宣伝もせず居りました。ところが、この番組は意外に同世代人に視聴率が高く、仕事場や友人関係で少なからず波紋があります。その中の一つ、妻の友人のひとりMさんは大手建設会社に勤める建築士。どうしても「カミキリムシ」が折りたいとのこと。ガンバってくださいねと、「折紙図鑑 昆虫」を差し上げたのですが、

内心“無理かな”と思っておりました。さて、それから数日して、メールによる挑戦報告が始まります。「23番で止まった…」「んー、そこはマニアなら一目なのですが…」「折り図については専門家も頭の痛い問題でして…」などと通信教育となりました。妻とは「明日の為にその一、折るべし、折るべし」などと軽口をたたきながら、20工程分ずつ目標の形を折ったものを送っていきます。もともと、凝り性で建築士ということもあり、幾何学にも遠からず、ということもあるでしょう。けれども、なぜ彼女はこんなにはまってしまったのか。私の折ったのを見たのも初めてではないはずなのですが。

考えてみると、折り紙の折り方についてこんな風に時間をかけた番組はなかったのだと思います。一定時間で、ほとんどの人が完成しようとすれば、易しい作品にな

りますし、出来上がりの作品を見せるだけでは折り始めるきっかけにならないでしょう。番組を見ただけではまず折れないのに、苦勞して折っている人の反応から、なんとかなりそうになる。教育テレビのように、生真面目にステップごとに進んでいけば眠くなるばかりかも、全体を洒落のめしなから実質15分ほどの時間ですが、偶然にも“尾を引く”仕掛けとなっていたのかもしれない。

今日も、彼女が無事完成して、なにかしらの達成感を味わっていただきたいと願いつつ、次の目標ステップはどのあたりがいいか思案しています。

西川誠司 Nishikawa Seiji
日本折紙学会 評議員代表

展開図折りに挑戦!

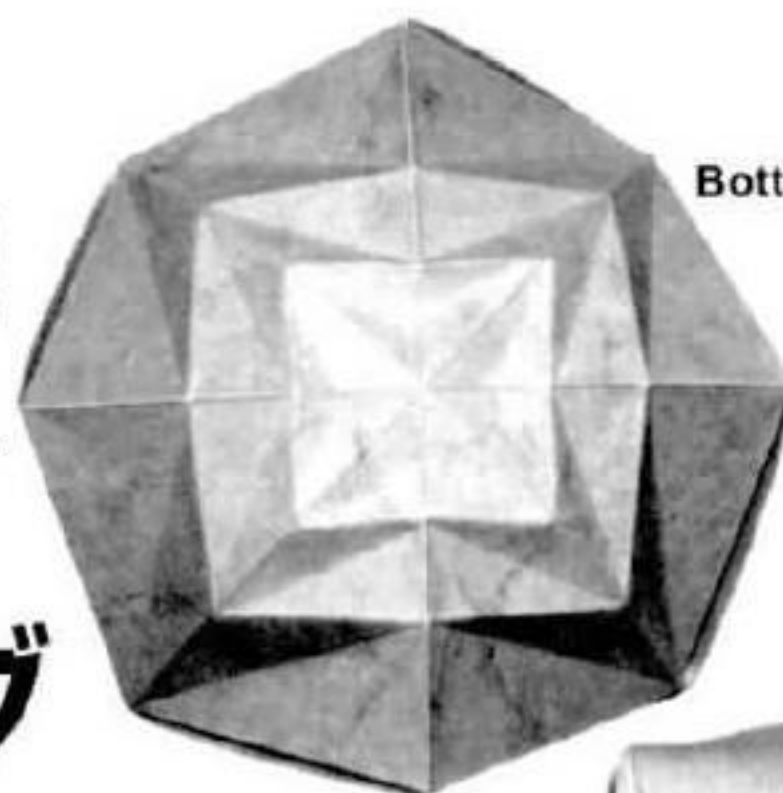
Crease Pattern Challenge

第16回 King PolyPouches
(Stellated Arches Recursion, 4-fold)

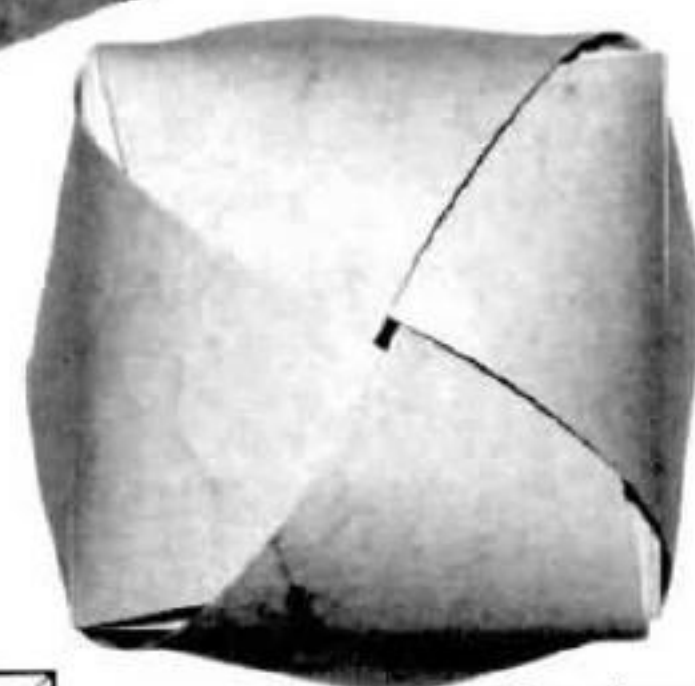
多面体ポーチ・キング (四放射星形アーチ反復型)

Chris K. Palmer

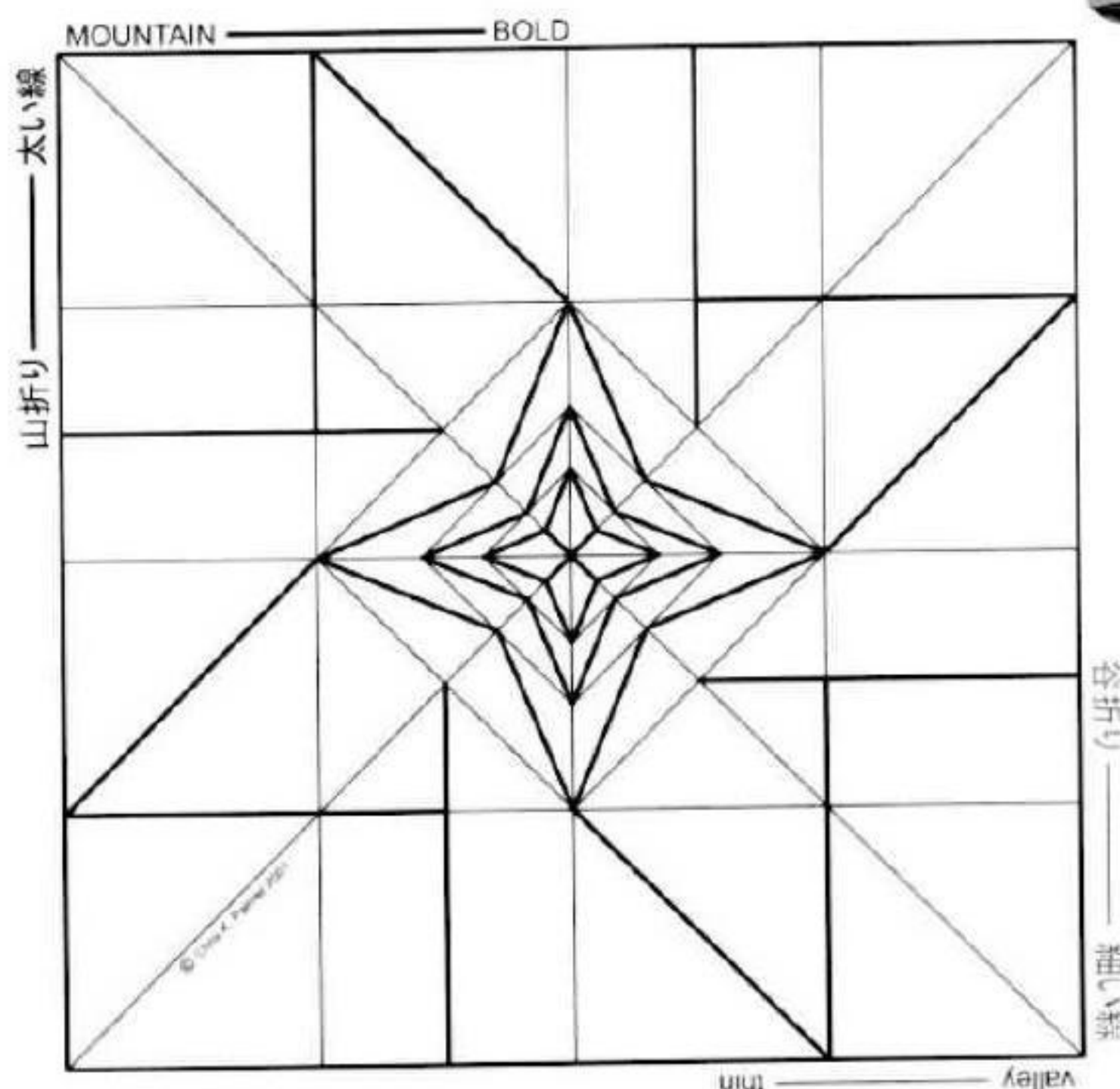
クリス・K・パルマー



Bottom view



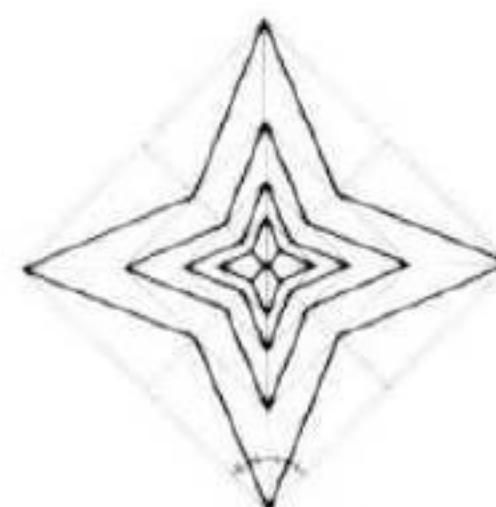
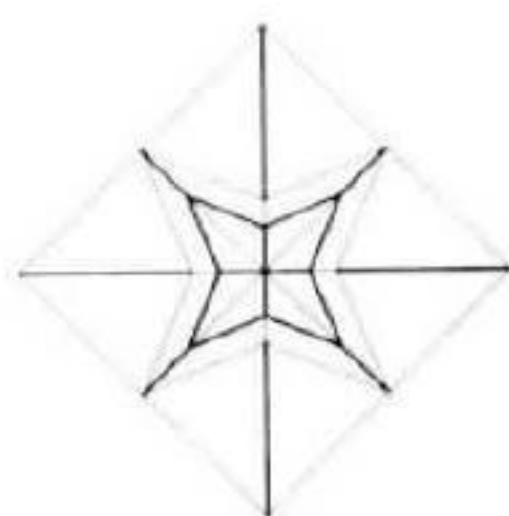
Top view



King PolyPouches

(stellated arches recursion, 4-fold)

Here is a challenging pattern that makes a pouch when finished. It is part of a large family of patterns with many variations; 5-fold, 6-fold etc. Fold the bold lines mountain and the thin lines valley. Fold the diagonals, book folds, and cupboard folds first then begin to add in the other lines and reverse the parts of the diagonal, book and cupboard folds as needed. The inner concentric four pointed stars will be in low relief and should be folded last. At the left and right are two centers that can be inserted in the pattern above as variations.



Four levels.

この図はやや難しいですが、きちんと出来上がるとポーチ型になります。同じパターンで、五放射形、六放射形など、変化形を作ることが出来ます。太線を山折り、細線を谷折りで丁寧に折り目をつけましょう。そのためには、まず、対角線で折り、辺の中点で半分に折り、さらに観音折りをした上で、他の線を折ら

す。そうした上で、対角線、中線、観音折りの折り目のうち、折り目が逆のものを折り返して折り目をつけます。内側の中心点の周りの四放射星形の浮き彫りパターンは最後に折ってください。浮き彫り部分を、左右にある展開図の形に折ると、変化形を作ることが出来ます。

アメリカは広い。面積は日本の25倍、人口も日本の2倍あります。なので、アメリカには、各地に折り紙団体がいます。Origami USAの地方団体として登録されているものだけでも、カナダにあるものを含めて48を数えます。

活動の内容はだいたい同じで、月に一回程度、図書館などの部屋を借りて集まり、折り紙を折ったりおしゃべりをしたりというものです。初心者から上級者まで、10人から20人ぐらいが集まるところが多いようです。図書館の部屋は無料で借りられるところが多いけれど、最近は有料のところも増えてきたとか。

アメリカの団体の特徴はといえば、名前のつけ方に工夫をこらしているところが多いこと。そこで、あえて名前が面白い団体に注目して、辞書風に紹介します。

BARF(バーフ)

【名】嘔吐。へど。

【動】吐く。戻す。

【略】Bay Area Rapid Folders。カリフォルニア州サンフランシスコの団体。名前の由来はサンフランシスコの通勤用高速鉄道Bay Area Rapid Transit。一説に、ジェレミー・シェーパー氏は折るのが速いから、ともいう。季刊紙を発行している。<http://www.barf.cc/>。

LIFE(ライフ)

【名】生命。人生。

【略】Long Island Folding Enthusiasts。ニューヨーク州ロングアイランド島の団体。毎年一回、小コンベンションを開いている。

LOVE(ラヴ)

【名】愛。



▲TOFUの会合風景



Regional Origami Groups and Circles in the United States (アメリカの地方団体)

文・羽鳥公士郎



▲小団体分布地図

【動】愛する。

【略】Lehigh Origami Valley Enthusiasts。ペンシルベニア州ベスレヘムの団体。ベスレヘムはリーハイ川の谷間にある。マーク・ケネディ氏の自宅で集まっている。Origami USAコンベンションの翌週には、コンベンション参加者のうち何十人かがニューヨークからやって来る。

OPOSD(オポウズド)

【形】反対の。正式にはopposedとつづる。

【略】Origami Paperfolders of San Diego。カリフォルニア州サンディエゴの団体。2003年には、ここでPacific Coast Origami Conference(太平洋沿岸折紙会議・略してピーコック)が開かれる。

PALM(パーム)

【名】手のひら。

【略】Paperfolders Around the Lower Mainland。カナダのブリティッシュ・コロンビア州の中でも、バンクーバー周辺をLower Mainland(本土南部)という。ジョセフ・ウー氏を中心。<http://www.origami.as/Info/palm.html>。

www.origami.as/Info/palm.html。

PAPER(ペーパー)

【名】紙。

【略】Puget Area Paperfolding Enthusiasts Roundtable。ワシントン州シアトルの団体。ピュージェット湾に面する。地域で折り紙教室を開いたり、折り紙作品の展示をしたりと、積極的に活動している。<http://www.eskimo.com/~marmonk/origami.htm>。

TOFU(トーフ)

【名】豆腐。アメリカではどここのスーパーでも売っている。

【略】Triangle Origami Folders United。この団体名は、ノースキャロライナ州ローリー、ダーラム、チャペル・ヒルの三市に囲まれた地域をTriangle area(三角地帯)ということに由来する。メッテ・ペデルソン氏が三角の紙しか使わないから、という説は誤り。<http://mette.pederson.com/TOFU.htm>。

ほかにも、CAFE・CO-OP・FOLD・OH!・UFO・WOWなど、面白い名前の団体がありますが、紙面の都合でこれくらいにします。なお、Origami USAも、ニューヨーク州ニューヨークで、毎月会合を持っています。

そうそう、私が住んでいるワシントン特別区にも、Capital Foldersという団体があります。ジョン・モントロール氏もこの会の常連です。

Bay Area Rapid Folders Newsletter



▲BARFの季刊紙

Rabbit Ear つまみおり information



メッテ・ペデルソン氏



ペーター・ブダイ氏

'01 Tanteidan Convention Report as an Invited Guest of the Yoshino Issei Fund

'01 探偵団コンベンション吉野基金招待者レポート

'01 Tanteidan Convention Report

by Mette Pederson

For years I have dreamt of attending an origami convention in Japan.

Finally, my dream came true! To make it even more special, I enjoyed sharing the honor of being an invited guest of the Yoshino Issei fund at the 2001 Tanteidan Convention with Peter Budai. I would like to say "Thank you very much!" (Doomo arigatoo gozaimashita!!!) to the Yoshino fund committee and JOAS. I enjoyed every minute of my visit!

It was fun experiencing origami in a different culture, and making so many new friends. At the same time, it was comforting to see how the Tanteidan convention is run similarly to the OUSA convention in New York. Without having to understand Japanese, I was able to choose classes from the model menu and get tickets for my classes. We all know that you don't need to be able to understand a teacher to learn an origami model. You just have to watch carefully. But, it didn't hurt that someone was always willing to do a little translating for me. Also, most of the models that were taught were in the convention book. Besides attending classes, I enjoyed sharing and teaching my origami models with many of the attendees.

It always seems like conventions end too quickly. So, going on a two day excursion

to the Mt. Fuji area after the convention made the convention last a little longer. Visiting paper factories, both traditional and modern, was fascinating. And, what could be more perfect than being on Mt. Fuji with a bus full of your origami friends? I'm afraid it doesn't get much better than that! Unless, of course, we could actually see Fuji-san through the fog. I guess I'm going to have to visit Japan again!

コンベンションレポート

メッテ・ペデルソン

探偵団コンベンション参加は私の長年の夢でした。そして、ついにその夢がかなったのです。しかも、ブダイさんと一緒に栄誉ある2001年吉野一生基金の招待者として！吉野基金の委員の皆様及び日本折紙学会に「どうもありがとうございます」と、心から申し上げたく思います（メッテさんはわざわざ日本語で「どうもありがとうございます」と書いてくださいました：訳者注）。

違う文化の中で折り紙を体験し、多くの新しい友人を得ることは、何よりの喜びでした。また、探偵団コンベンションがニューヨークのOrigami USAコンベンションと同じような形式であることが私には心地良かったです。日本語がそれほど分からなくても、教室を作品展示から選んで決めることはさほど難しくありませんでした。折り紙の作

品を習うには教師を理解する必要はありません。ただ注意深い観察が必要なのですが、参加者の皆さんが私に日本語の通訳をしてくれたことはありがたく思いました。折り図集のおかげで、実際の講習外でも私の作品を皆さんに伝えることが出来、楽しかったです。

コンベンションはあっという間に過ぎましたが、その後の富士山周辺の旅行がコンベンションの終わりを少し伸ばしてくれました。製紙工場の見学は大変興味深いものでした。また、何よりも、折り紙仲間たちと富士山にいることそれ自体が何よりも満ち足りたものでした。富士山が霧で見えなかったことはともかく、これほどの経験はそうそう出来るものではないような気がします。いつかまた日本を訪れるような気がしてなりません。

My Japan Adventure

by Peter Budai

Every origamist's dream to get to Japan one day. Well, this dream came true for me: I could participate the Tanteidan convention as an invited guest of the Yoshino Issei fund. Moreover, I could exhibit my folds the Origami Gallery House. This seemed so impossible several years ago but now became reality. It is hard to explain in words how big honour this invitation meant to me.

The Japanese people are very kind. Right on my arrival at the airport I had a very nice experience, when I got asked by the immigration officer why I came to Japan. I told him I came for doing origami and opened the box full with models. He smiled and immediately let me through. The first few days before the convention

our hosts, lead by Yamaguchi-san, showed us around paper shops in Tokyo. Really wonderful papers! I bought as much as possible, as I guess, anybody would have done being there. So many fine places with a multitude of various papers I wouldn't imagine to exist. In Japan they do exist!

About the folding. At the convention I taught my centaur and stag beetle models. Regarding the latter, I was very curious, because I have never taught such a complex model before. Well, I learned by experience what I was told before: the attendees were very good and fast folders! They were very skilled indeed. It was nice to see that more than half of the class finished the model before the 2 hours were over, even so that this was the first time they folded it.

After the convention I participated a very pleasing trip to Mt. Fuji with several other folders. We got insight to the traditional techniques of handmade paper and a very special visit to a paper factory, this time having a peek how industrial paper is made in Japan. However, what impressed me most in this trip, was the Japanese countryside. It was so interesting to see the difference between the city and the country. I saw a couple of

interesting insects as well!

I will never forget these marvelous 2 weeks in Japan. I recommend everybody to visit this country, both for the sake of origami and for the sake of nature as well.

私の日本探検

ベーター・ブダイ

折り紙に携わるものすべての夢、日本訪問がついにかないました。吉野一生基金招待者として探偵団コンベンションに参加がなかったのです。その上、おりがみはうすで私の作品の展示までさせていただき、私にとってこの名誉は、筆舌につくがたいものでした。

日本の人たちは皆私に大変親切でした。空港に着いたとたん、いいことがありました。入国管理官の方が私になぜ日本にやってきたのか聞いたとき、私は折り紙をしに來たと答え、私の作品が入った箱を見せたのです。管理官の方は、微笑んで何も言わずに私を通してくれました。

コンベンションが始まる前の数日間は、山口さんをはじめとする皆さんに東京のいろいろな紙を売っている店に連れて行ってもらいました。本当にすばらしい紙ばかりで、沢山の紙を買ってしまいました

(皆さんそうしておられますよね?)。

今までこれだけ沢山の種類の紙を見つけられる場所など想像したこともありませんでした。日本の人たちがうらやましいです。

さて肝心の折り紙です。コンベンションではケンタウロス(Centaur)とクワガタ(Stag Beetle)を教えました。クワガタを教えるのは大変楽しみでした。今までこれほど複雑な作品を教えたことが無かったからです。コンベンションの参加者は皆大変上手で、しかも速く折ると聞いていましたが、実際その通りでした。教室の半分以上の人が2時間以内に完成させるのを見て大変うれしかったです(しかもそのうちのほとんどはクワガタをはじめて折ったんですよ!)

コンベンションの後で、皆さんと一緒に富士山へ楽しい旅行をしました。和紙の技術を学び、製紙工場でどのように紙が生産されるのかを見学しました。それよりも、私が最も面白かったのは日本の田舎の風景です。都市と田舎のあまりの違いに、私は大変興味を惹かれました。面白い昆虫も見つけました!

日本でのこの2週間は決して忘れないでしょう。折紙と美しい自然を楽しむなら、私は皆に日本を訪れるよう勧めます。

◆ミンゲイ インターナショナルミュージアム: 折り紙展示作品募集

アメリカから、折り紙作品を募集する次のような案内が届いた。Origami USA共催で、かなり大がかりなものになるようだ。

2003年10月10日から、米カリフォルニア州サンディエゴのミンゲイ インターナショナルミュージアムは、25周年記念企画の一環として、Origami USAと共催で折り紙作品の展示を大々的に行う運びとなりました。4ヶ月の展示と同時に、図録なども発刊を計画しております。そこで、ロバート・ラング氏と山口貞氏を審査委員として迎え、2002年の春より折り紙作品の審査を開始する予定です。

展示を希望する方は、審査委員2名の推薦を受け、ミンゲイミュージアムの学芸員が最終選考を行いますので、スライドか写真をお送りください。

その際以下のきまりを守ってください。

1. スライド、4×6inch (10×15cm)以上の写真、またはEメールにてJPEG画像をお送りください。これらの画像がコンピュータ処理の上、匿名審査用のWeb

ページ上に表示され、審査の対象になります。

2. 審査の段階では作品を直接送らないでください。
3. 画像に添えて、別紙に英文で以下の内容を記してください。
*名前 *住所 *電話番号 *Eメールアドレス *短い作品の紹介文
4. 作品はオリジナル作品か、創作者の文書による許可を得た作品に限ります。創作者・製作者以外の方が提出されても構いません。
5. 作品は、紙を折ったものに限ります。
6. 採用が決定した場合、2作品あたり登録料30米ドルと返信料金(国際郵便クーポン(郵便局で手に入ります))をお支払いいただくことになります。
7. 応募締め切りは2002年4月2日(必着)です。

くれぐれも、応募段階で作品を直接送らないようにしてください。

十分なスペースがありますので、大きな作品も大歓迎です。

写真またはスライドは次の住所へお送りください。

Masterworks Exhibition
c/o V'Ann Cornelius
1828 Dora Drive
Cardiff, CA 92007-1442
USA

JPEG(コンピュータ画像)はEメールに添付して以下のアドレスへお送りください。
vann@ifold.org

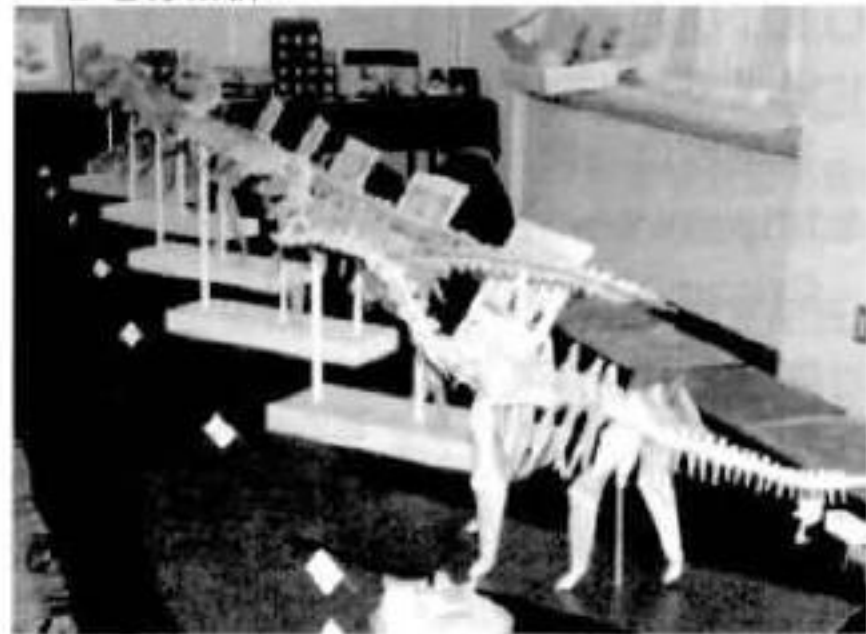
作品採用の際には、応募者はミンゲイミュージアムのLoan Agreement(作品貸借同意書)に署名いただいた上、作品に30ドルの登録料(お返しできません)、及び返信料金(国際郵便クーポン)を添えて、ミンゲイミュージアムにお送りいただくことになります。採用作品の締め切りは2003年5月1日(必着)です。展示終了の際には、作品は応募者に返却されますが、常設展示として、ミュージアムに御寄贈されても結構ですし、その方が作品を作る甲斐があるかもしれません。

ぜひ皆さんも、作品をお送りいただき、このすばらしい企画に参加されますようお願いしております。(原文英語/訳:立石浩一)

◆第4回折紙探偵団静岡コンベンションレポート

折紙探偵団静岡友の会の主催による「折紙探偵団静岡コンベンション」も回を重ねて4回目となった。今年は、昨年の教訓を得て、忙しい12月を避け、開催日を11月に戻して行われた。今回は、ちょうど仕事のために来日していたピーター・エンゲル氏の忙しいスケジュールを縫っての参加もあり、突然のゲストに会はおおいに盛り上がった。氏は教室の講師も快く引き受けてくれ、前川、西川両氏がアシスタントを務めての講習に受講者は皆満足していたようだ。

▼小学5年～中1のこども6人がそれぞれ製作した恐竜骨格群



作品展示

展示作品で目立ったのが、恐竜骨格群。永井奈子氏率いる静岡県掛川市の少年5人が、吉野一生氏の「ティラノサウルス全身骨格」5体と「トリケラトプス全身骨格」1体を持参。さらに岐阜県の村木厚紀君も川畑文昭氏の「ブラキオサウルス全身骨格」を持参して、展示スペースは迫力のあるものとなった。また、小笹径一氏の怪獣群はいつも少年達の人気の的。さらに、2ヶ月ほど前にネット上で勃発し、一部の作家の間で繰り広げられているオリゾル戦争。静岡の地でも、折り鶴のパロディ作品がそのバカバカしさを競っていた。

▼笹出晋司氏による奇妙な折り鶴たち



▲実用的な作品をのんびり教室で教える静岡友の会の前島さん

▼エンゲル氏の作品「鯨」



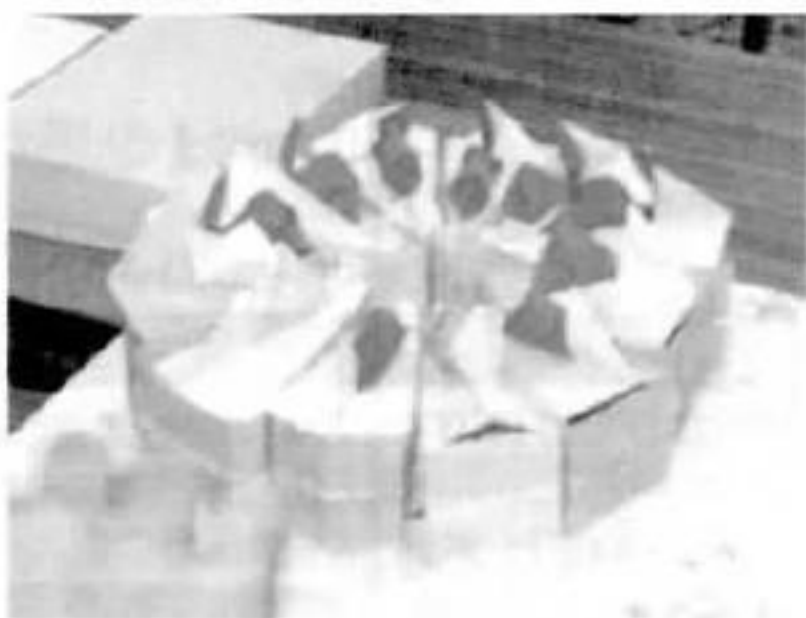
▼恐竜骨格群を製作した静岡折紙少年団5人組



折り紙教室

さすが女性が中心になって運営されている大会だけあって、実用的な作品や初心者の方々に易しくて楽しめる教室が多く用意されていた。木村良寿氏の「ショートケーキ」にはベテラン愛好家も参加。全員分を集めたら1ホール分になって参加者を楽ませた。他にも綾辻行人氏の小説「時計館の殺人」に登場する前川淳氏の「元祖三ツ首の鶴」や、本誌63号でも話題となった、静岡県の秋葉神社で売られている根付けの原型モデル、西川誠司氏の「天狗」など、いわくつきの作品も講習された。

▼木村教室で作られたショートケーキは皆で1ホールになった



昨年より1ヶ月早いことから、準備がいつになくばたついてしまい、参加人数も当初伸び悩んだが、なんとか例年並の95名を超えた。「折紙探偵団」購読者以外の地元の参加者も目立ち、初心者向けの教室がやはり喜ばれていたようだ。折り紙愛好者となるきっかけをつくっていくのも、地方コンベンションの役割の一つではないかと感じた。

ピーター・エンゲル氏は久しぶりの日本で、大勢の折り紙仲間と語り合い、折り合い、折って、とてもエンジョイしているようであった。彼も「グッドタイミングでコンベンションに参加でき、とてもラッキーだった。また、2日目には岸沢啓介美術館にも行けてとても印象的な滞在になった。」と語っていた。



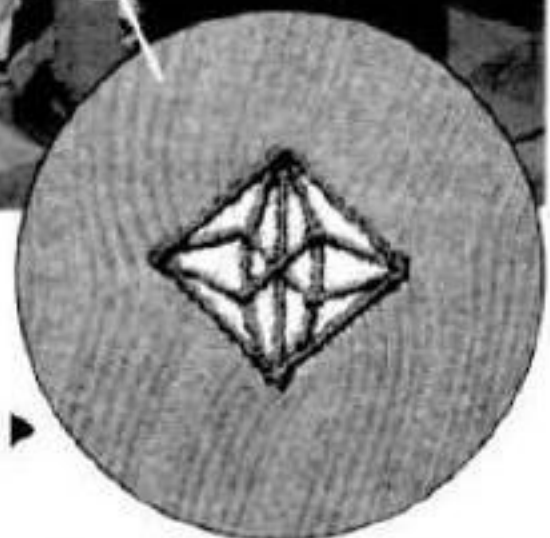
▲エンゲル氏の講習風景

懇親会

ついに恒例となってしまう前川淳氏の靴下一発芸。今年は前川氏がメーカーにオーダーメイドしたという、鶴の基本形の展開図柄で、ビンゴの景品分まで持参。見事獲得したのは、今回のおしりすじ原稿も書いて頂いている村木陽子氏だった。



来年は悪魔の展開図か？



◆折り紙作品データベースがインターネットに

5,000点を超える折り紙作品のデータベースがウェブで閲覧できる。福岡県在住の岡 雅夫氏が運営するウェブサイト「NOAちくご」内の「おりがみ「あいうえお」」がそのデータベースで、2001年10月30日現在、雑誌「折紙探偵団」、月刊「おりがみ」、季刊「をる」と日本折紙協会発行の「ア・ブックス」に掲載の5,460点が「50音順」で登録されている。例えば50音のボタンの「あ」を押すと、「アーミーナイフ」「(おりがみ)アルファベット」「アイスキャンディ」等の作品名が表示され、作者名、掲載雑誌(書籍)が分かるという仕組みだ。雑誌

(書籍)名からの検索も可能で、西暦何年、何月発行、通巻号数など分かりやすい一覧表が用意されている。

制作のきっかけとなったのは、知り合いの折り紙愛好家に「今アイウエオ順に作品を折っているが、当てはまる作品が見つからない頭文字がある」と言われたことだとか。

今後は書籍のインデックス化を実現していきたいそうだ。膨大な作品をどのようにまとめていくか、原作者が不明確な作品をどう扱うかなど課題は山積みのようなが、他に類を見ないこの取り組み、これからの発展におおいに期待したい。

◆「も少し折紙散歩」の前川さんへ 読者からのお便り

いつも楽しく読ませてもらっています。前川さんの影響で、私も外を出歩く時、折り紙的なものを探すクセがついてしまいました。

だいたい前ですが、家族で「風の国」(鳥根県桜江町にある温泉宿泊施設)に行った時、売店で折り紙をモチーフにしたアクセサリーを見つけました。それが同封の写真の、だまし舟と紙ひこうきとかざぐるまの3点です。

これらは石見銀山のある太田市大森町代官所横の「銀の店」(銀のアクセサリー専門店)でつくられたもので、そこに行けばおりづるもあるかもしれないと、家族でドライブがてら行ってみました。でも残念ながらおりづるはありませんでした。

それともう一つ、やはり鳥根県内ですが、邑智(おち)郡川本町川本というところ



▲だまし舟とかざぐるまのアクセサリー

ろに、なんと「川本おりづる薬局」があるのです。一体何故おりづると名付けたのか気になりますか?

私もすごく知りたいので、今度主人に連れてってもらおうと思っています(我が家より車で1時間位)。写真もとってまた送ります。楽しみに(してなくても送ります。)待っててください。(今谷百合子=鳥根県浜田市)

◆例会のお知らせ ※おりがみ用紙は各自持参をお願いします。

東京友の会

参加費=300円(中学生以下100円)
講習会=午後2時~ 研究会=午後4時~
●12月15日(土) 会場=文京区民センター3C / 講師:山田勝久 / 作品:動物作品
(※その後、6時から忘年会が開かれます。)
●2002年1月12日(土) 会場=文京区シビックセンター・地下1階生涯学習センター「学習室」 / 講師・作品:未定
最寄り駅:都営三田線・大江戸線=春日駅、丸の内線・南北線=後楽園駅

おたより大募集 E-mail: webman@origami.gr.jp
113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216
ギャラリー・おりがみはうす内 折紙探偵団編集部

静岡友の会

やさしい折り紙の好きな主婦を中心としたグループです。気軽に遊びに来て下さい。
●12月の例会はありません
●1月28日(月) 13時~15時
お問い合わせは16時以降(20時まで)、054-254-4541(増武内 山口)
会場=増武ビル 静岡市呉服町1-3-6

関西友の会

12月15日(土) 14:00~17:00
●1部=長岡京市産業文化会館
参加費:500円 講師:未定
●2部=17:00から場所を変えて懇親会
参加費:4,000円程度

◆第3回折紙探偵団 関西コンベンション 日程決まる

第3回折紙探偵団関西コンベンションが2002年4月20日(土)・21日(日)の両日に開催される。場所は昨年と同じキャンパスプラザ京都に決定している。詳細未定であるが、決定事項は順次ウェブ上でアナウンスしていくとのこと。もちろん次号以降、本誌上でもお知らせする予定。

折紙探偵団関西友の会ホームページ:
<http://www.nn.ij4u.or.jp/~tatekoo/OrigamiKansai/index.shtml>

◆東京友の会忘年会 参加者募集中

折紙探偵団東京友の会恒例の忘年会が例会と同じ日に開かれます。まだ一度も例会やコンベンションに参加したことがないという方でも大歓迎です。参加希望者は日本折紙学会事務局までご連絡下さい。

●12月15日(土) 会場=文京区民センター3C ●参加費=4,500円(予定) ●6時~

◆おりすじ原稿募集中

「おりすじ」は本誌の前身である「折紙探偵団新聞」創刊号から続いているエッセイ・コーナーです。このおりすじ用の原稿を本誌読者からひろく募集します。

テーマは、折り紙を始めたきっかけ、折り紙にまつわる思い出……などなど折り紙に関することならなんでもOKです。過去の「おりすじ」も参考にして下さい。本文700~800字程度で、必ずタイトルを付けて、折紙探偵団編集部までお送り下さい。eメールでの投稿も歓迎します。

折紙探偵団ホームページ公開中

<http://www.origami.gr.jp/>
団員パスワード/Pyramid(大文字・小文字別)

折紙探偵団

2001年11月25日発行 第12巻4号通巻70号
発行所/日本折紙学会

〒113-0001

東京都文京区白山1-33-8-216

Phone & Fax / 03-5684-6080

発行人/西川誠司

編集人/山口 真

編集スタッフ/田尻敦士 松浦英子

デザイン/おりがみはうす

翻訳/立石浩一

発売元/おりがみはうす

●本誌掲載記事の無断転載を禁じます。

定価 600 円

I♥ORIGAMI おりがみはうす商品案内

※このページの商品の取扱いはいすべて おりがみはうす です。折紙探偵団の口座とは別になります。



第7回折紙探偵団 コンベンション 折り図集VOL.7

B5判/256ページ
定価：2,000円(税込)
送料：420円(梱包込)

※郵便振替の場合は、用紙の「通信欄」に「第7回折り図集」と必ずご記入下さい。

神谷哲史氏「ユニコーン」、川畑文昭氏「リュートを弾く天使」、小松英夫氏「狐」、芳賀和夫氏「くるくる回るかざぐるま」、前川淳氏「T. Rex」、宮島登氏「フロベラ機」、メッテ・ペダーソン氏「リング1」「7角形リング」、ペーター・ブダイ氏「クワガタムシ」「ケンタウロス」などなど国内・外の51作品を収録。

折り紙色紙百花 (しきしひゃっか) 田中具子・著

女性に大人気! 色紙折り紙のバイブル

B5判/全120ページ/カラー口絵8ページ/31作品収録
定価：2,500円(税込)/送料：390円(梱包込)

面～The Mask～ 布施知子・著

作者がまだユニット折り紙に出会う前の、面ばかりを集めた作品集

B5判/全200ページ/全27作品カラー写真紹介
定価：3,300円(税込)/送料：460円(梱包込)

折紙図鑑「昆虫I」 川畑文昭、西川誠司・共著 山口 真・編

B5判/全200ページ/カラー口絵4ページ/17作品収録
定価：3,100円(税込)/送料：460円(梱包込)

一生スーパーコンプレックスおりがみ

B5判/全200ページ/カラー口絵8ページ 吉野一生・著
トリケラトプス全身骨格を含む14作品収録
定価：2,900円(税込)/送料：460円(梱包込)

折るころろ 指導：岡村昌夫 残部僅少!

A4判/全108ページ/フルカラー48ページ
定価：1,400円(税込)/送料：420円(梱包込)

折紙の貴重な歴史的資料満載の一冊

第6回折紙探偵団コンベンション

折り図集VOL.6 残部僅少!

B5判/256ページ/66作品収録
定価：2,000円(税込)/送料：420円(梱包込)

只今制作中 一所懸命制作しています。気長に待っていて下さい。

西川誠司作品集/西川誠司 著・西川折り紙の集大成
折紙図鑑「昆虫II」/北條高史、前川 淳、目黒俊幸共著
折紙図鑑「犬」/佐野康博・著 犬折り紙第一人者の作品集

GALLERY ギャラリー おりがみはうす

〒113-0001 東京都文京区白山1-33-8-216
TEL:(03) 5684-6040 FAX:(03) 5684-6080
E-mail: origamih@remus.dti.ne.jp

たのしいおりがみドールハウス 山口 真・著 ナツメ社刊

B5判/全312ページ/
カラー口絵16ページ
定価：1,260円(税込)
送料：420円(梱包込)
これ1冊でうちも家具も小物も全部作れる!一般書店でも好評発売中。
ISBN4-8163-3082-8



たのしいおりがみドールハウス専用 うち用クラフト用紙

新発売

張りがあって折りやすい、正方形の筋入りクラフト紙。実用小物の制作にも最適。全て単色のセットで、赤・紺・緑・茶・こげ茶の5種類を揃えました。片面にそれぞれの色が印刷されています。おりがみはうすオリジナル商品。



15cm×15cm / 50枚入
定価：250円(税込)
送料：4～6セット=390円、
7～9セット=580円、10～
12セット=700円

※一度のお申し込みは4セット(1,000円)以上でお願いします。
※お申し込みの際、ご希望の色とセット数をお忘れなく書き下さい。

恐竜柄おりがみ

好評発売中

35cm×35cm / 10枚入
定価：1,000円(税込)
送料：1セット=200円

折りやすいと人気の70kgコルキーの表面に恐竜模様を深緑色で印刷しました。



模様原寸

『折紙探偵団』専用ファイル

変形B5判/箔押しロゴ入
定価：750円(税込)/送料：250円(梱包込)
雑誌「折紙探偵団」1年分(6冊)収録可能

●商品の申し込み方法●

先に郵便振替か現金書留で料金(商品価格+送料)をお送り下さい。入金を確認後、商品を発送させていただきます。ご希望の商品名と連絡先の記入(郵便振替の場合は振替用紙の「通信欄」に記入)をお忘れのない様お願いします。

郵便振替番号 00120-9-715400

加入者名 おりがみはうす

※折紙探偵団の購読申込みとは別の口座です。くれぐれもご注意ください。
※郵便振替用紙は郵便局備え付けのものをご利用ください。
※現金書留の場合は左記の住所へお送りください。
※商品のお届けは通常、送金から約1週間～10日です。(お盆・年末年始等を除く)
※書籍は冊子小袋で発送している為、本とそれ以外の商品(ファイル・紙)を同時にご注文の場合、基本的に送料は別々に頂いております。ご了承ください。

■複数商品ご注文の場合は、送料が変わってきます。電話又はメールでお問い合わせください。

大韓折紙

● 上質片面単色折紙

※ 紙厚・材質は通常市販されています
上質折紙と同じです。

サイズ **35×35cm**

1箱入数30枚。 ¥700

各配色30枚単位となっております。 品番 002100 表示価格に消費税は含まれています。

サイズ **75×75cm**

1箱入数10枚。 ¥1,000

各配色10枚単位となっております。 品番 002200 表示価格に消費税は含まれています。

御注文は色名を指定して下さい。

	あか		くろ		ピンク		コバルト		うすおうど		あかちゃ
	き		ちゃ		ねずみ		ベニ		せいじ		オリーブ
	むら		みず		うすだいだい		しゅ		スカイブルー		こげちゃ
	きみどり		ぼたん		あお		きだいだい		うすピンク		
	だいだい		ふじ		もも		やまぶき		ローズ		
	うすみず		しろ		クリーム		うすみどり		ページ		
	はだ		みどり		おうど		うすねず		うすきみどり		

38色

● 両面色付折紙

※ 紙厚・材質は通常市販されています
両面折紙と同じです。

サイズ **35×35cm**

1箱入数30枚。 ¥1,000

各配色30枚単位となっております。 品番 002300 表示価格に消費税は含まれています。

サイズ **75×75cm**

1箱入数10枚。 ¥1,500

各配色10枚単位となっております。 品番 002400 表示価格に消費税は含まれています。

特選15配色の中からお選びください。



赤/黄 牡丹/ピンク 青/黄 緑/黄緑 黄緑/薄橙
肌/黒 茶/薄緑 緑/赤 茶/黄 紫/鼠
緑/黄 赤/黒 鼠/茶 橙/黒 白/黒

※特注製品の為ご注文に際しては下記条件となります。

従来商品制作専科おりがみとは出荷場所が違いますのでこの商品の送料は別になりますご了承ください。

お問い合わせは **TEL 03-5244-6061**
03-5244-6065



専攻：日・美工・色票・装演・撮影・手藝・各類圖書期刊

・古瓏驛企業有限公司 高雄市新興區興華路42-1號
郵政特約：41980159 戸名：古瓏驛企業有限公司
TEL(07)3358840 FAX(07)3358836
E-mail: jade.ford@msa.hinet.net

・台 南 店 台南市長榮路二段54號1樓
TEL(06)2752759 FAX(06)2753938

・古通今股份有限公司 台北市重慶南路一段63號4樓
郵政特約：19178347 戸名：古通今股份有限公司
TEL(02)23145603 FAX(02)23618508
E-mail: ewgbooks@ms10.hinet.net

・社 ポップ・アイ 制作専科
〒100-0044 東京都足立区千住緑町2-10-7

(03) 5244-6061

(03) 5244-6065